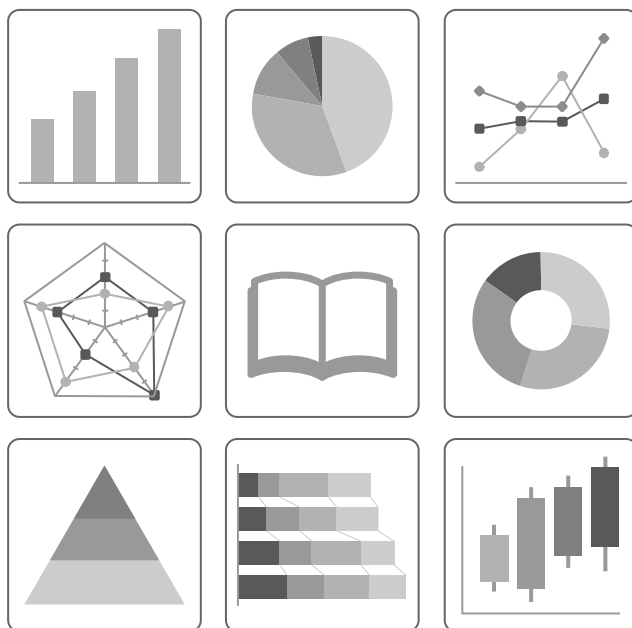


宝塚市
第3次たからづか食育推進計画策定のための
アンケート調査
調査結果報告書



令和4年2月

宝塚市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	調査結果	2
1	子ども	2
2	成人	33

I 調査の概要

1 調査の目的

市民の食育に対する意識や取り組み状況について、実情を把握するための調査・分析を行い、第3次たからづか食育推進計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

子ども：宝塚市在住の3・4・5歳児、小学5年生、中学3年生の保護者の方1,500人を無作為抽出

成人：宝塚市在住の満20歳以上の方1,500人を無作為抽出

3 調査期間

令和4年1月5日から令和4年1月18日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	回収数	無効回答数 (白票)	有効回答数	有効回答率
子ども	1,500通	821通	4通	817通	54.5%
成人	1,500通	693通	1通	692通	46.1%

6 調査結果の表示方法

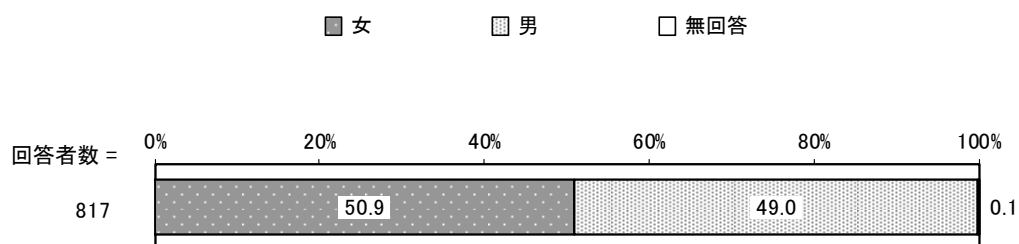
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

II 調査結果

1 子ども

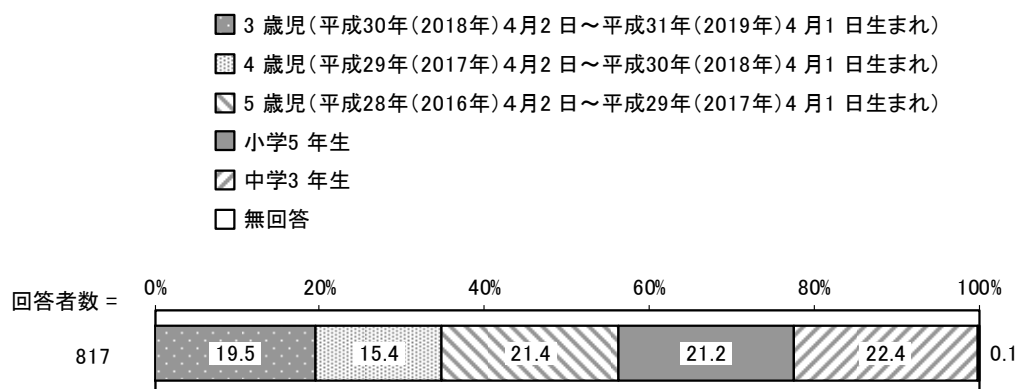
問1 調査票の届いたお子さんの自認する性をお答えください。(統計上必要となります) (○は1つ)

「女」の割合が50.9%で、「男」の割合が49.0%となっています。



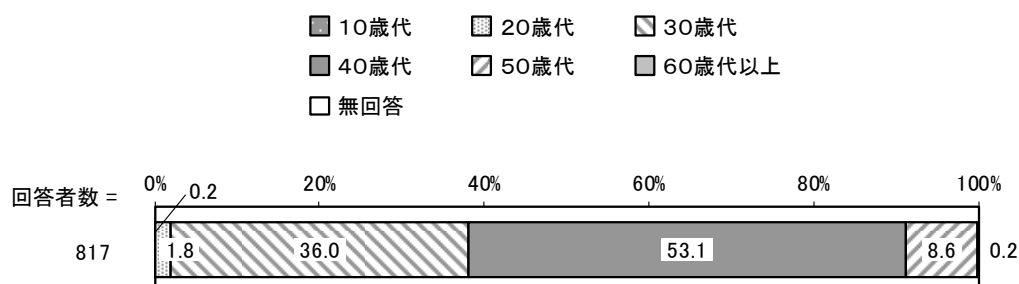
問2 調査票の届いたお子さんの年齢・学年をお答えください。(○は1つ)

「中学3年生」の割合が22.4%と最も高く、次いで「5歳児(平成28年(2016年)4月2日～平成29年(2017年)4月1日生まれ)」の割合が21.4%、「小学5年生」の割合が21.2%となっています。



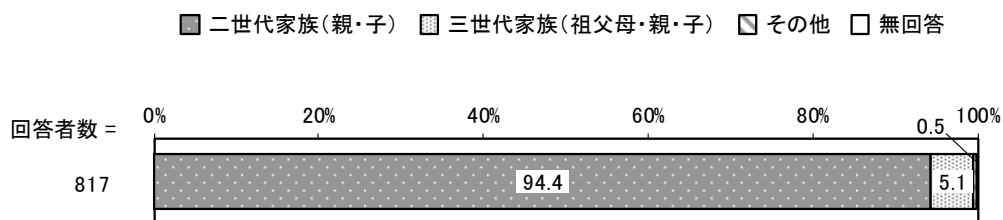
問3 あなた(保護者)の年齢をお答えください。(○は1つ)

「40歳代」の割合が53.1%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が36.0%となっています。



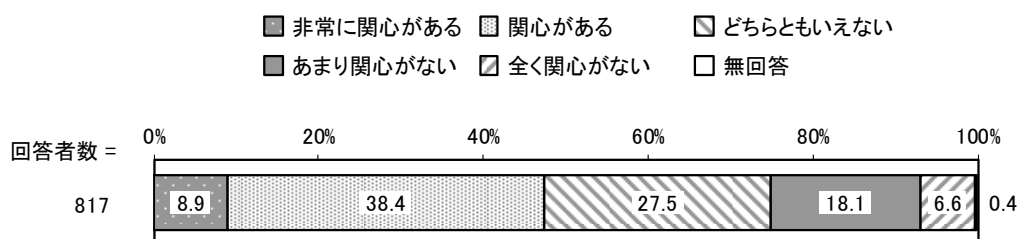
問4 調査票の届いたお子さんを中心とした家族構成（同居）をお答えください。（〇は1つ）

「二世世代家族（親・子）」の割合が94.4%、「三世世代家族（祖父母・親・子）」の割合が5.1%となっています。



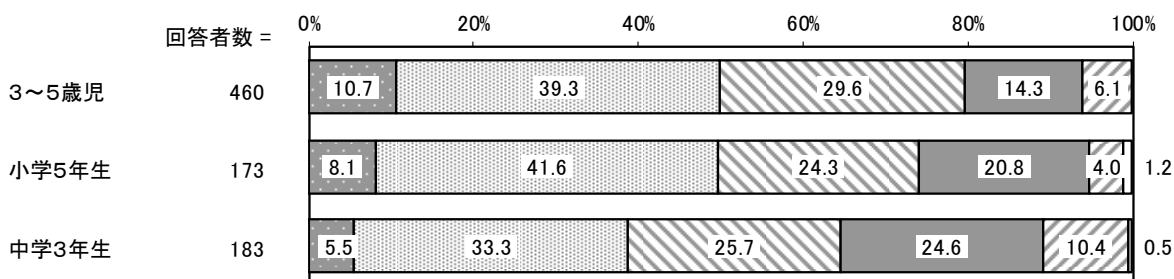
問5-① あなた（保護者）のお子さんは、食育に関心がありますか。（〇は1つ）

「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が47.3%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が24.7%となっています。また、「どちらともいえない」の割合が27.5%となっています。



【子どもの年齢・学年別】

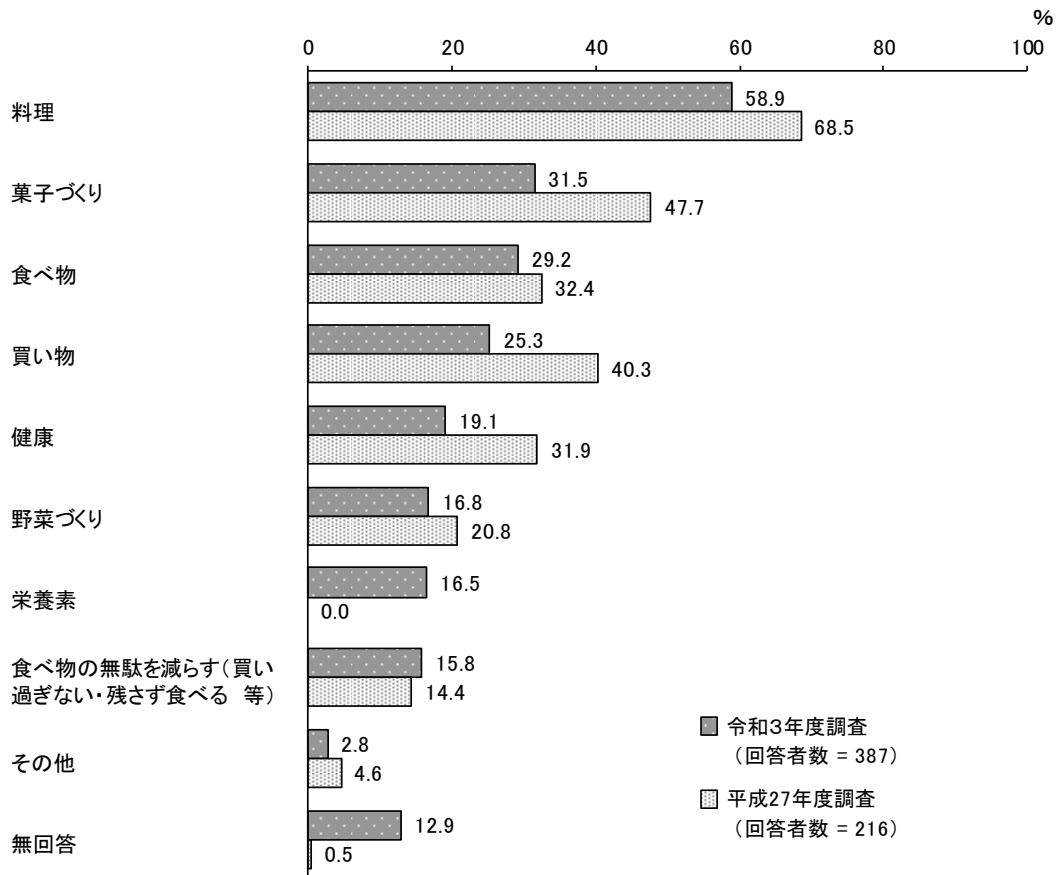
子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、中学3年生で“関心がない”の割合が高くなっています。



問5-② あなた（保護者）のお子さんが関心を持っているものは、何ですか。
（関心のあるものに3つまで○をつけてください）

「料理」の割合が58.9%と最も高く、次いで「菓子づくり」の割合が31.5%、「食べ物」の割合が29.2%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「栄養素」の割合が増加しています。一方、「菓子づくり」「買い物」「健康」「料理」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

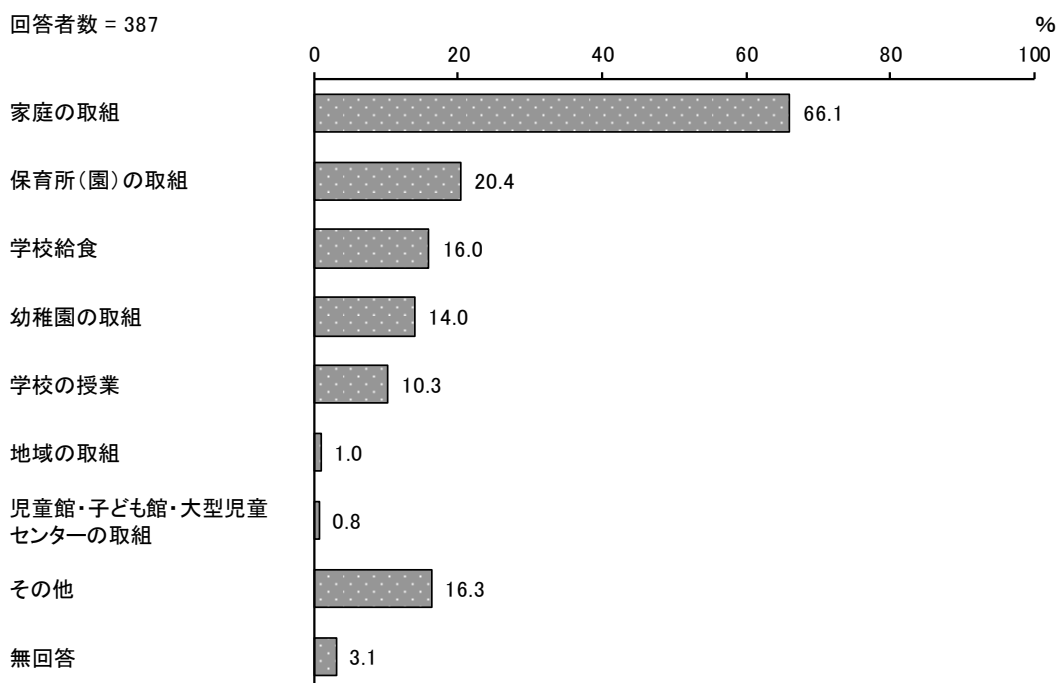
子どもの年齢・学年別で見ると、他に比べ、3～5歳児で「買い物」「野菜づくり」の割合が、小学5年生で「料理」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「食べ物の無駄を減らす（買い過ぎない・残さず食べる等）」「健康」「栄養素」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	料理	菓子づくり	食べ物	買い物	健康	野菜づくり	栄養素	食べ物の無駄を減らす(買い過ぎない・残さず食べる等)	その他	無回答
3～5歳児	230	60.9	32.6	27.0	32.6	10.4	22.6	10.0	7.4	2.6	17.8
小学5年生	86	67.4	34.9	31.4	16.3	26.7	12.8	18.6	24.4	3.5	5.8
中学3年生	71	42.3	23.9	33.8	12.7	38.0	2.8	35.2	32.4	2.8	5.6

問5-③ あなた（保護者）のお子さんが「食育」について関心を持ったきっかけは、何ですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

「家庭の取組」の割合が66.1%と最も高く、次いで「保育所（園）の取組」の割合が20.4%、「学校給食」の割合が16.0%となっています。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、3～5歳児で「保育所（園）の取組」「幼稚園の取組」の割合が、小学5年生で「学校給食」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「学校の授業」の割合が高くなっています。

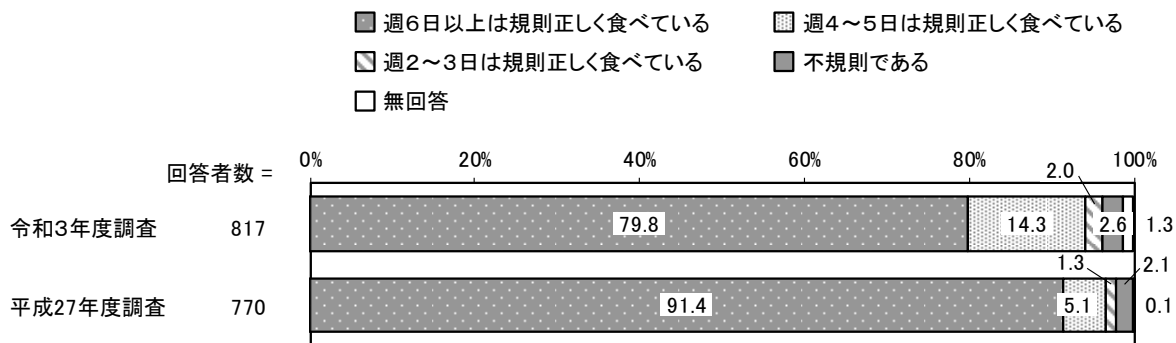
単位：%

区分	回答者数（件）	家庭の取組	保育所（園）の取組	学校給食	幼稚園の取組	学校の授業	地域の取組	児童館・子ども館・大型児童センターの取組	その他	無回答
3～5歳児	230	68.7	30.9	2.6	19.6	—	1.3	1.3	15.2	2.2
小学5年生	86	65.1	7.0	38.4	3.5	22.1	—	—	15.1	5.8
中学3年生	71	59.2	2.8	32.4	8.5	29.6	1.4	—	21.1	2.8

問6 あなた（保護者）のお子さんは、3食を規則正しく食べていますか。（○は1つ）

「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が79.8%と最も高く、次いで「週4～5日は規則正しく食べている」の割合が14.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「週4～5日は規則正しく食べている」の割合が増加しています。一方、「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が減少しています。

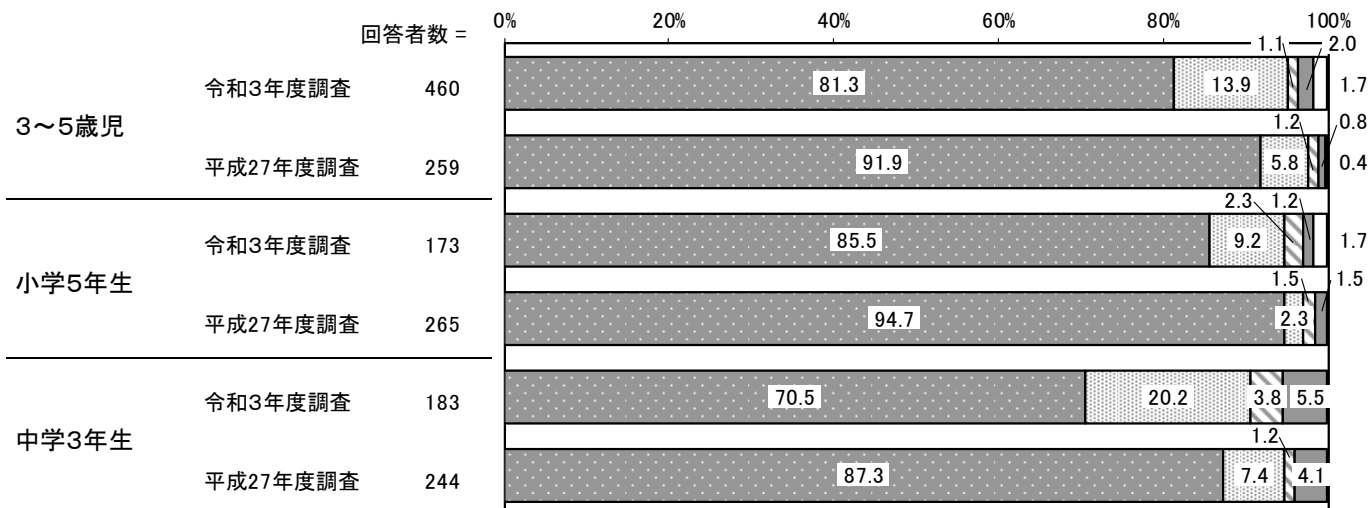


※「週6日以上は規則正しく食べている」は、平成27年度調査では、「ほぼ毎日規則正しい」となっています。

【子どもの年齢・学年別】

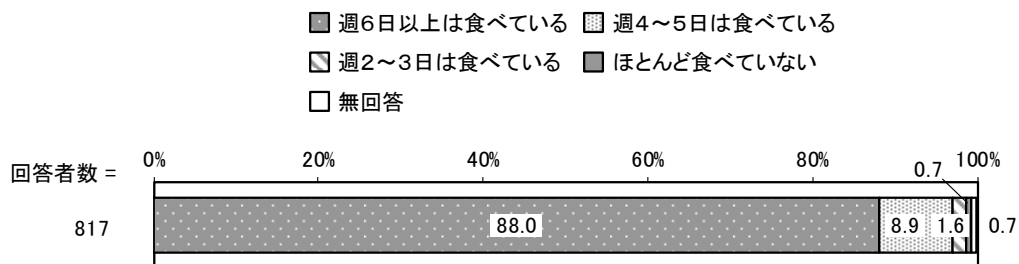
子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、中学3年生で「週4～5日は規則正しく食べている」の割合が高くなっています。

平成27年度調査と比較すると、すべての年齢・学年で「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が減少しています。



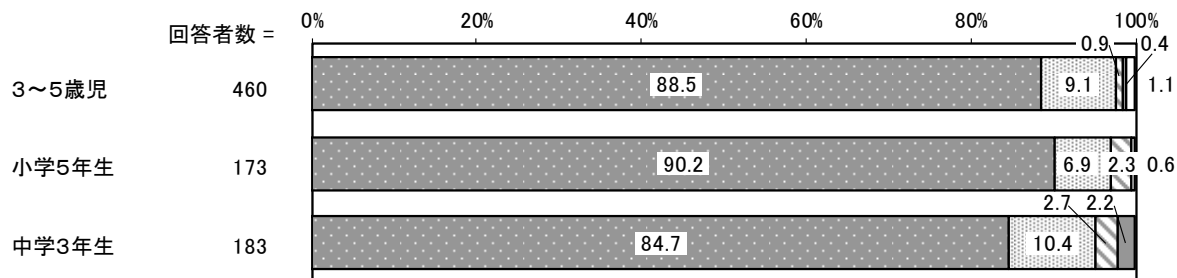
問7 あなた（保護者）のお子さんは、3食を欠食せずに食べていますか。（○は1つ）

「週6日以上は食べている」の割合が88.0%と最も高くなっています。



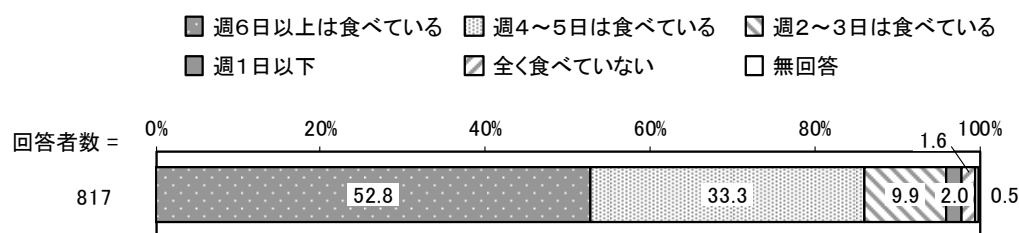
【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、大きな差異はみられません。



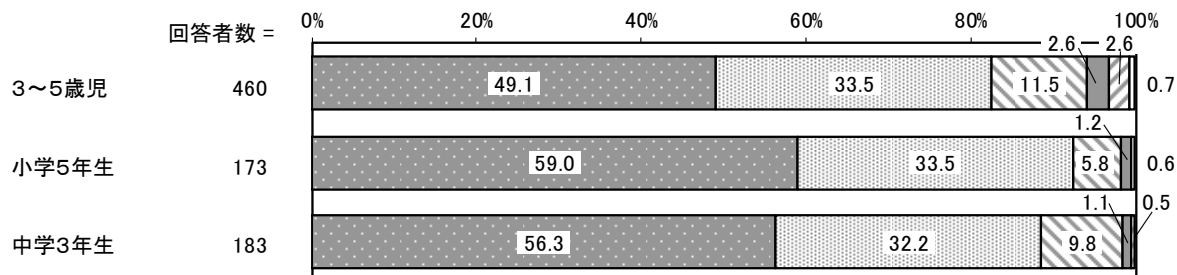
問8 あなた（保護者）のお子さんは、1日に2回以上、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べていますか。（○は1つ）

「週6日以上は食べている」の割合が52.8%と最も高く、次いで「週4~5日は食べている」の割合が33.3%となっています。



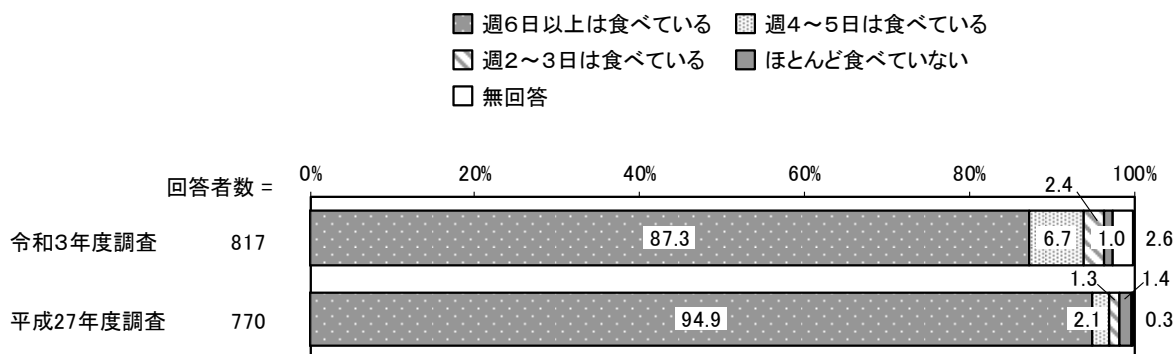
【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、大きな差異はみられません。



問9-① あなた（保護者）のお子さんは、朝食を食べていますか。（○は1つ）

「週6日以上は食べている」の割合が87.3%と最も高くなっています。
 平成27年度調査と比較すると、「週6日以上は食べている」の割合が減少しています。

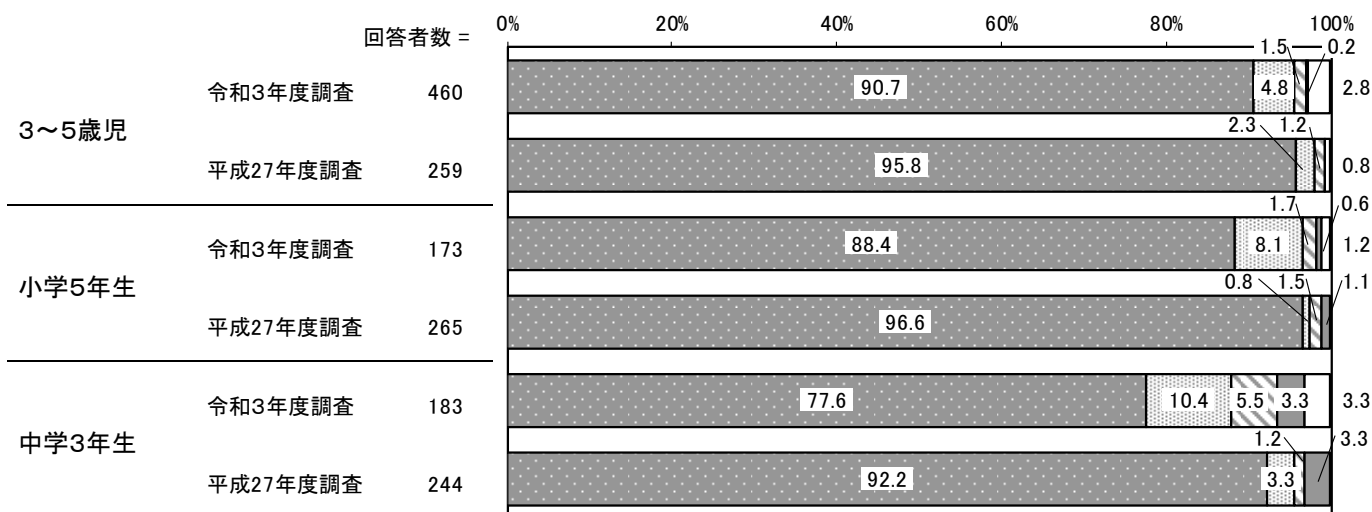


※「週6日以上は食べている」は、平成27年度調査では、「ほぼ毎日食べている」となっています。

【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、中学3年生で「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が低くなっています。

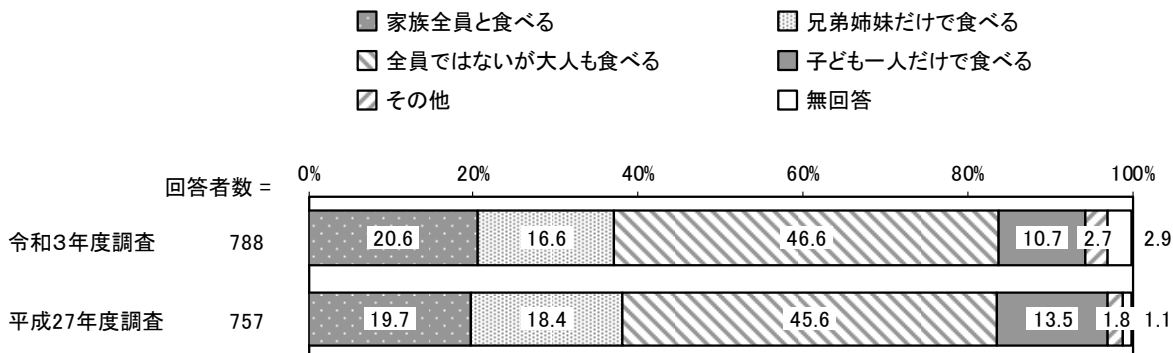
平成27年度調査と比較すると、すべての年齢・学年で「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が減少しています。



問9-② あなた（保護者）のお子さんは、主に誰と一緒に朝食を食べますか。
（〇は1つ）

「全員ではないが大人も食べる」の割合が46.6%と最も高く、次いで「家族全員と食べる」の割合が20.6%、「兄弟姉妹だけで食べる」の割合が16.6%となっています。

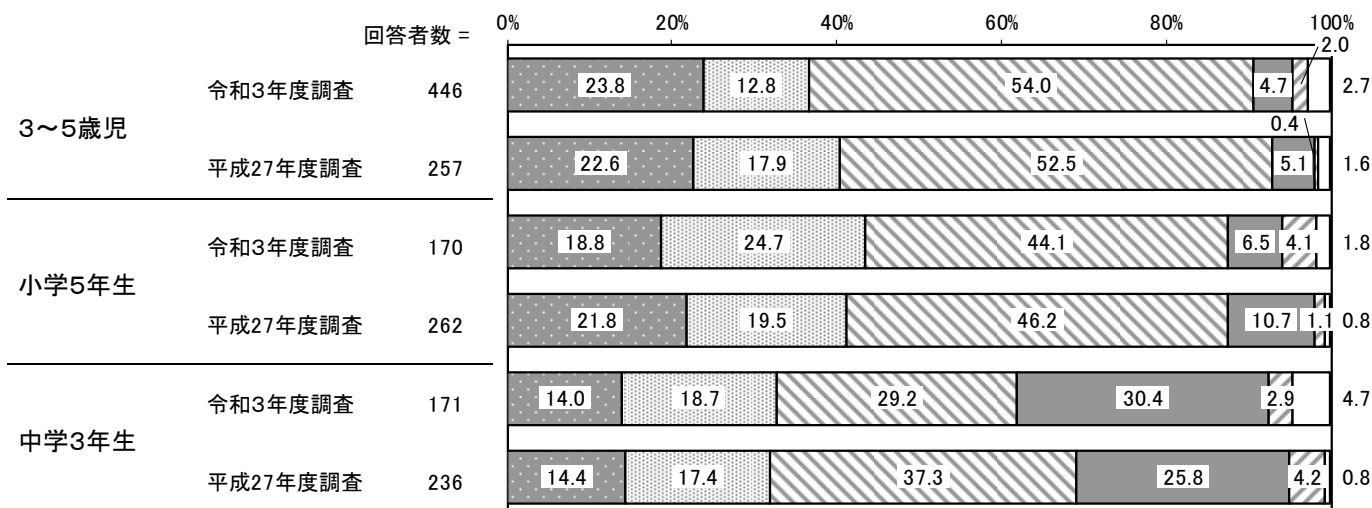
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、3～5歳児で「家族全員と食べる」「全員ではないが大人も食べる」の割合が、小学5年生で「兄弟姉妹だけで食べる」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「子ども一人だけで食べる」の割合が高くなっています。

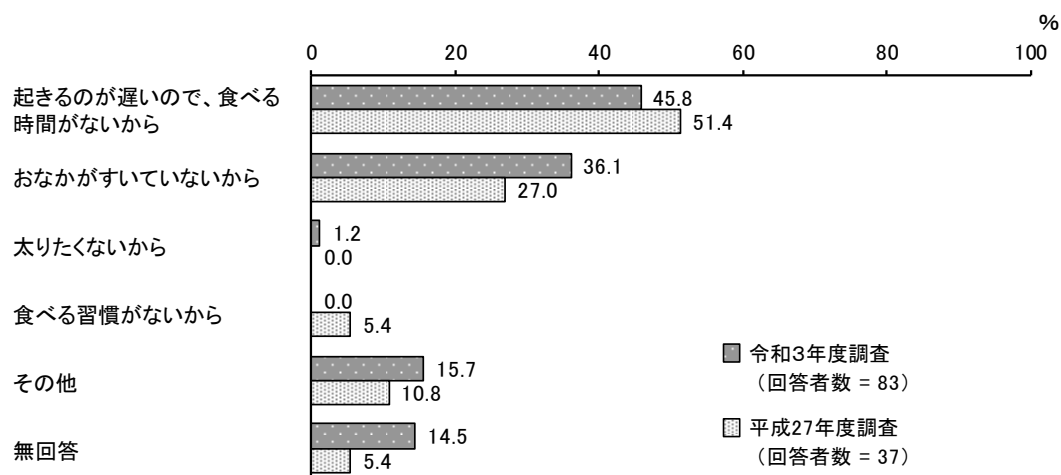
平成27年度調査と比較すると、3～5歳児で、大きな変化はみられません。小学5年生で「兄弟姉妹だけで食べる」の割合が増加しています。中学3年生で「全員ではないが大人も食べる」の割合が減少しています。



問9-③ あなた（保護者）のお子さんが、朝食を食べない理由は何ですか。
（あてはまるものすべてに○をつけてください）

「起きるのが遅いので、食べる時間がないから」の割合が45.8%と最も高く、次いで「おなかがすいていないから」の割合が36.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「おなかがすいていないから」の割合が増加しています。一方、「起きるのが遅いので、食べる時間がないから」「食べる習慣がないから」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

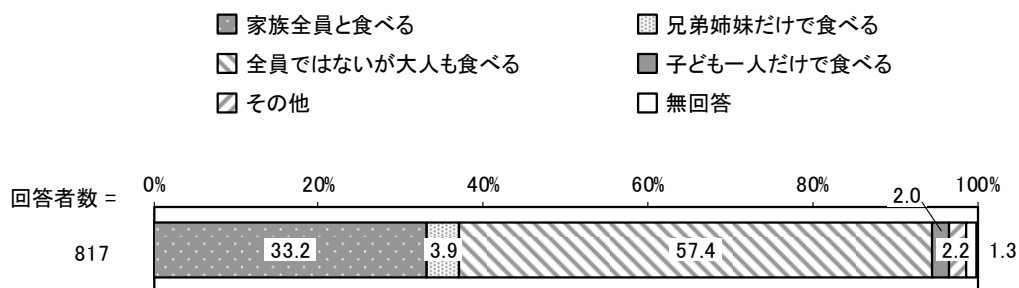
子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、3～5歳児で「おなかがすいていないから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	起きるのが遅いので、食べる時間がないから	おなかがすいていないから	太りたくないから	食べる習慣がないから	その他	無回答
3～5歳児	30	33.3	50.0	—	—	23.3	10.0
小学5年生	18	55.6	27.8	—	—	16.7	11.1
中学3年生	35	51.4	28.6	2.9	—	8.6	20.0

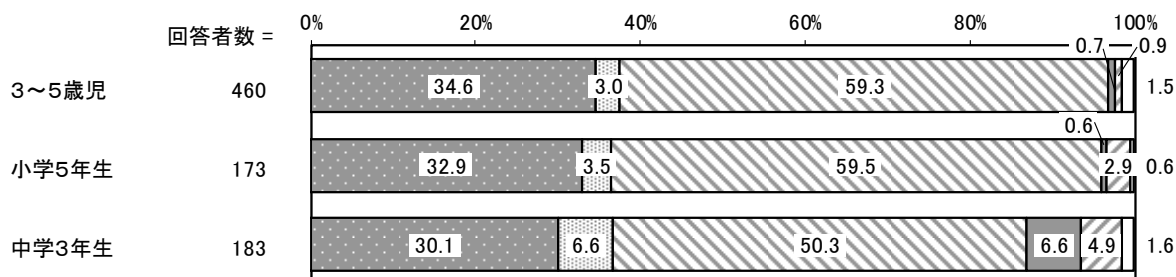
問 10-① あなた（保護者）のお子さんは、主に誰と一緒に夕食を食べますか。
（〇は1つ）

「全員ではないが大人も食べる」の割合が 57.4%と最も高く、次いで「家族全員と食べる」の割合が 33.2%となっています。



【子どもの年齢・学年別】

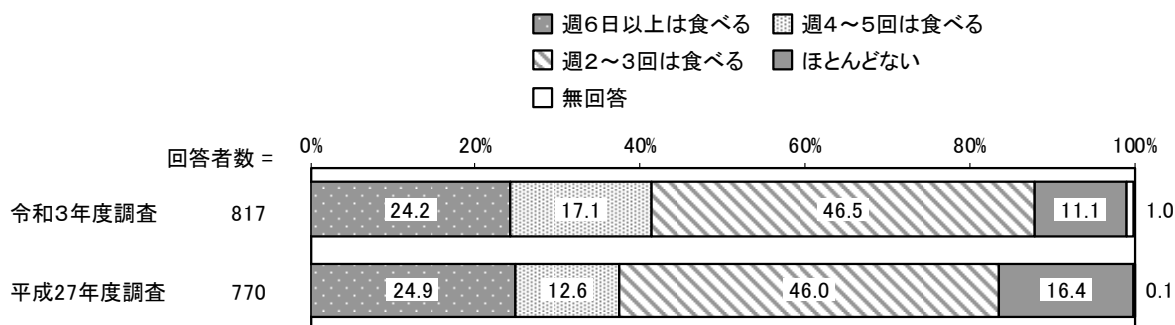
子どもの年齢・学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で「子ども一人だけで食べる」の割合が高くなっています。



問 10-② あなた（保護者）のご家庭では、夕食を家族全員で食べる頻度はどれくらいありますか。（○は1つ）

「週2～3回は食べる」の割合が46.5%と最も高く、次いで「週6日以上は食べる」の割合が24.2%、「週4～5回は食べる」の割合が17.1%となっています。

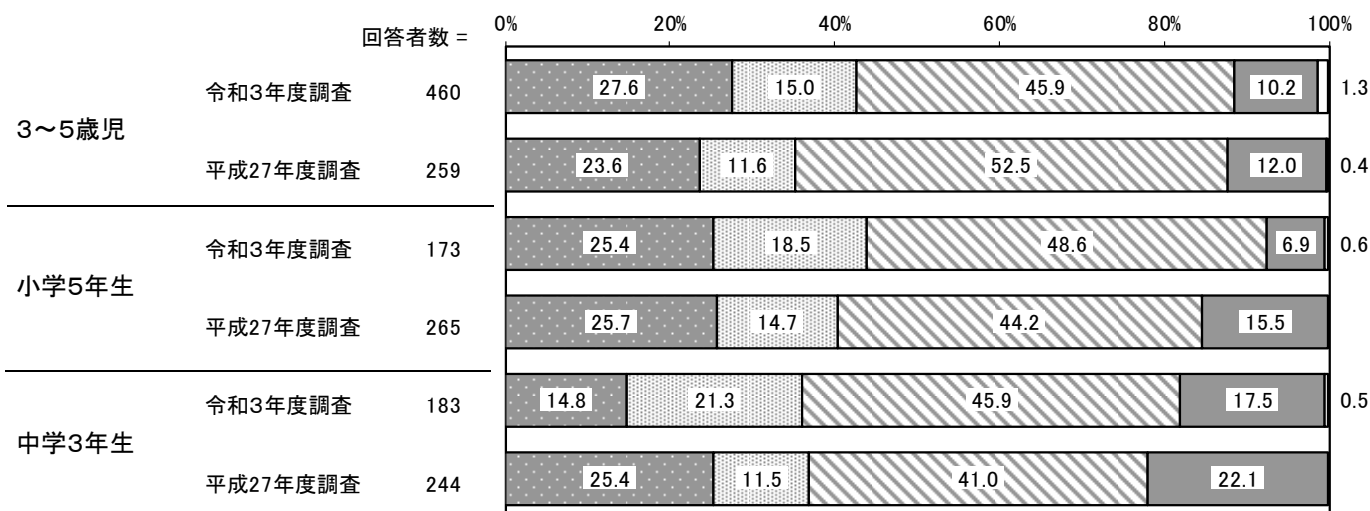
平成27年度調査と比較すると、「ほとんどない」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

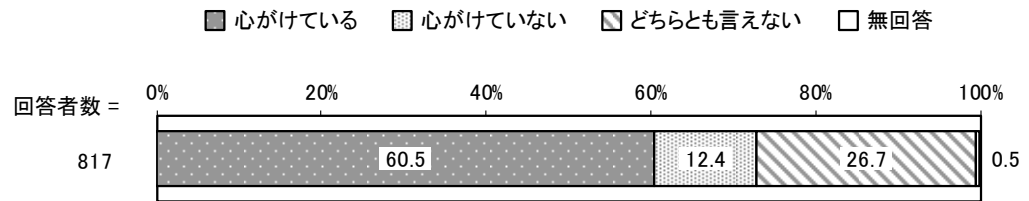
子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、中学3年生で「ほとんどない」の割合が高くなっています。

平成27年度調査と比較すると、3～5歳児で、「週2～3回は食べる」の割合が減少しています。小学5年生で、大きな変化はみられません。中学3年生で「週6日以上は食べる」の割合が減少しています。



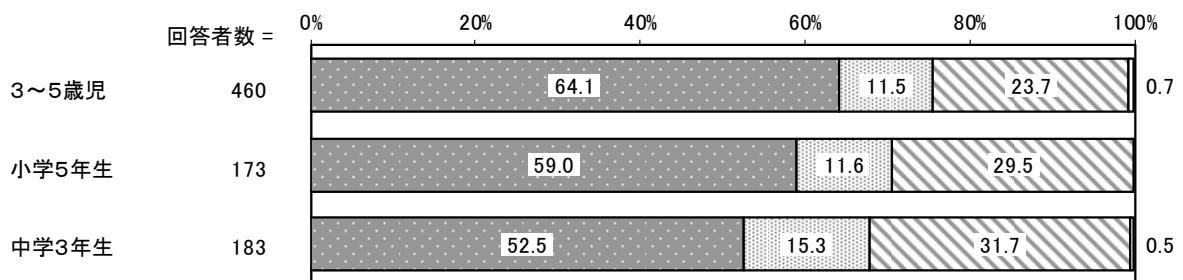
問11 あなた（保護者）のご家庭では、家族全員で食事を食べる回数を増やせるように、心がけていますか。（○は1つ）

「心がけている」の割合が60.5%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が26.7%、「心がけていない」の割合が12.4%となっています。



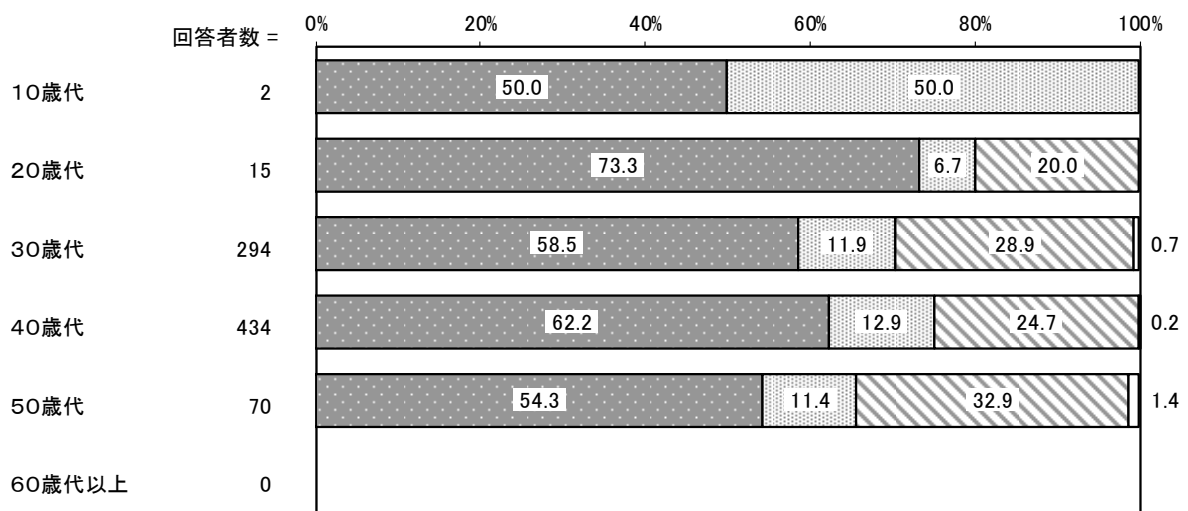
【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別で見ると、他に比べ、3～5歳児で「心がけている」の割合が高くなっています。



【保護者の年齢別】

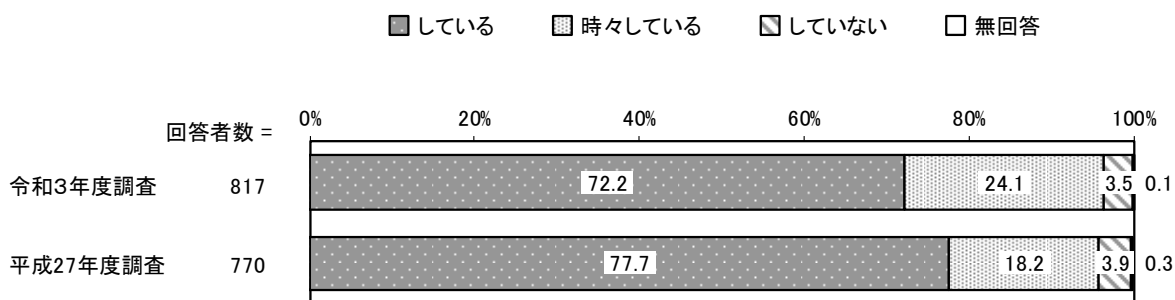
保護者の年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「心がけている」の割合が高くなっています。



問 12 あなた（保護者）のお子さんは、食事のあいさつ（いただきます・ごちそうさま）をしますか。（○は1つ）

「している」の割合が72.2%と最も高く、次いで「時々している」の割合が24.1%、「していない」の割合が3.5%となっています。

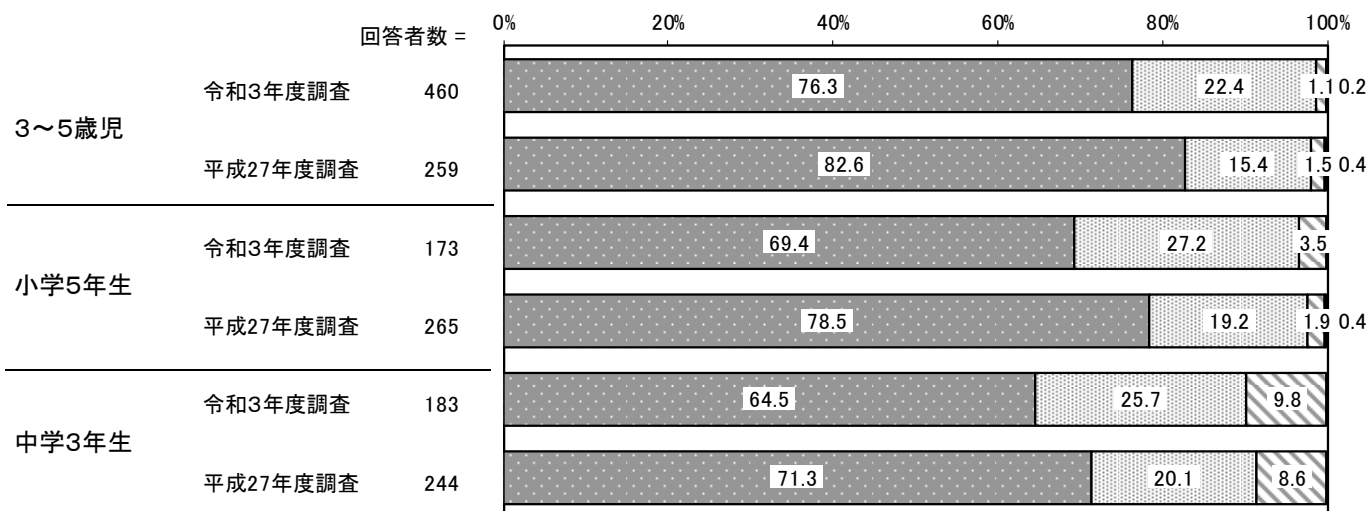
平成27年度調査と比較すると、「時々している」の割合が増加しています。一方、「している」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別で見ると、他に比べ、中学3年生で「していない」の割合が高くなっています。

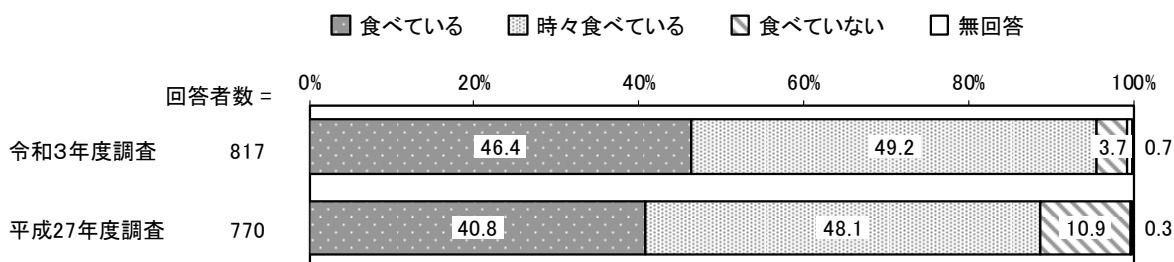
平成27年度調査と比較すると、平成27年度調査と比較すると、すべての年齢・学年で「している」の割合が減少しています。



問 13-① あなた（保護者）はお子さんと一緒に行事にちなんだ伝統料理（行事食等）を食べていますか。（○は1つ）

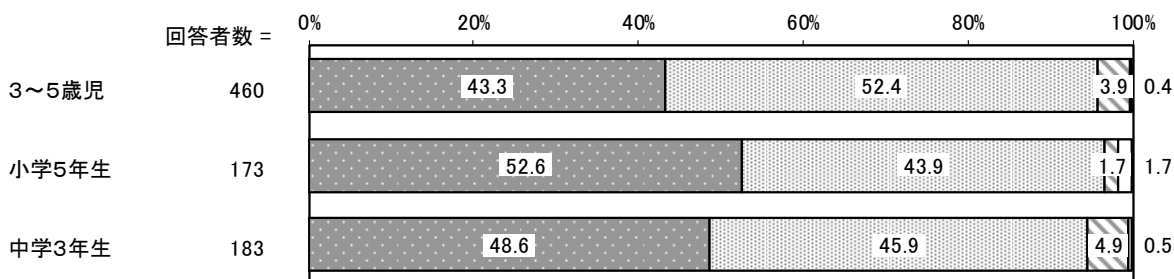
「時々食べている」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「食べている」の割合が 46.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「食べている」の割合が増加しています。一方、「食べていない」の割合が減少しています。



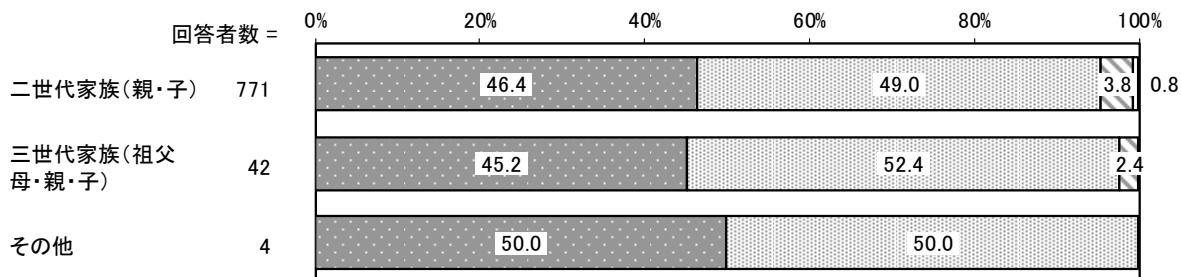
【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、大きな差異はみられません。



【子どもを中心とした家族構成別】

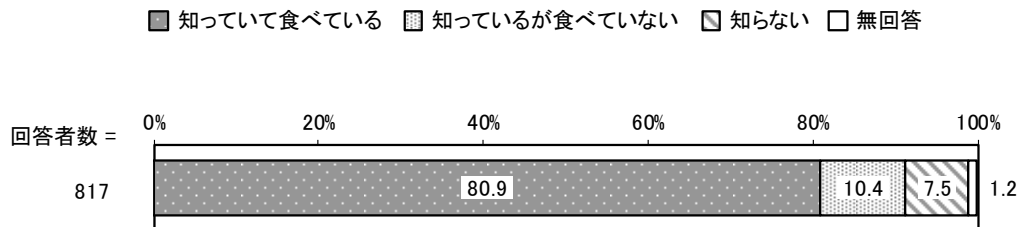
子どもを中心とした家族構成別でみると、大きな差異はみられません。



問 13-②あなた（保護者）のお子さんは、次の行事の伝統料理を知っていますか。また、食べていますか。下記の各行事についてお答えください。
 (①～⑫の行事ごとに、それぞれ○を1つけてください)

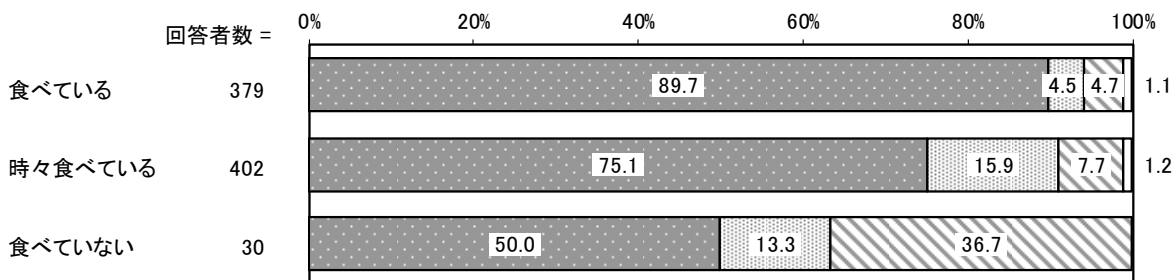
①正月（おせち料理・お雑煮など）

「知っている食べている」の割合が 80.9%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 10.4%となっています。



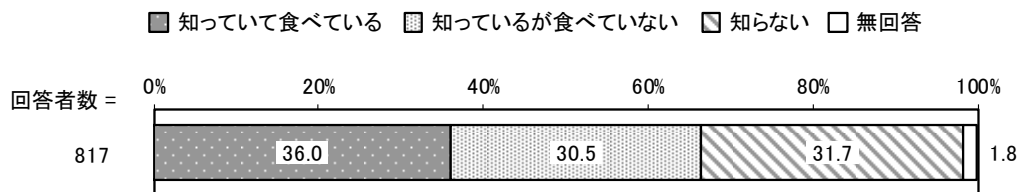
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



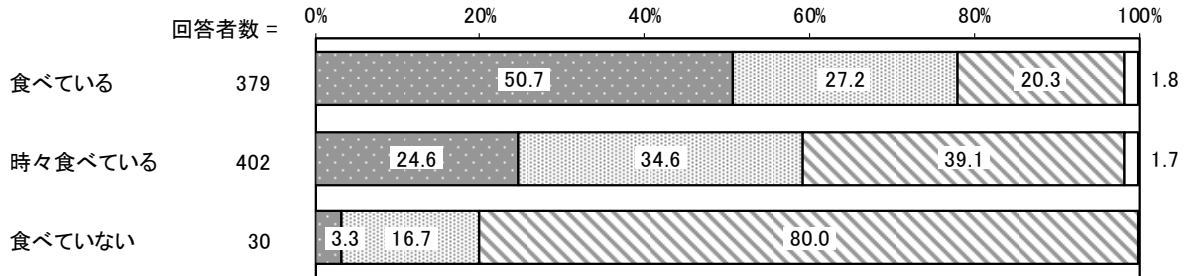
②人日の節句（七草粥）

「知っている食べている」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 31.7%、「知っているが食べていない」の割合が 30.5%となっています。



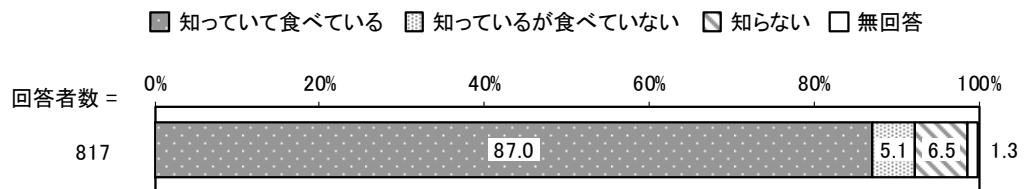
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が、時々食べているで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



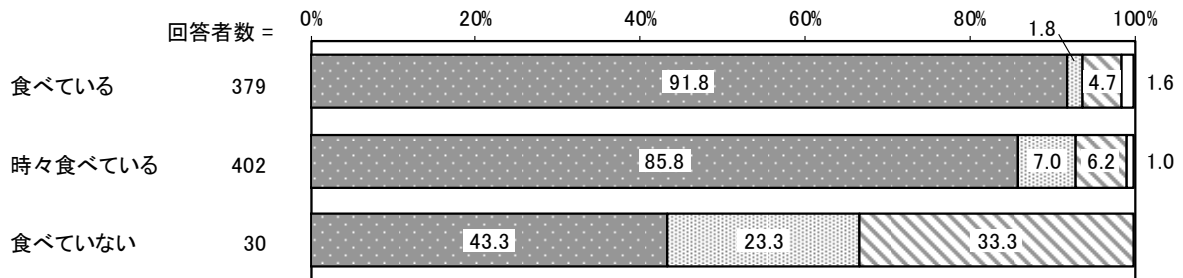
③節分（巻き寿司・豆・いわしなど）

「知っている食べている」の割合が87.0%と最も高くなっています。



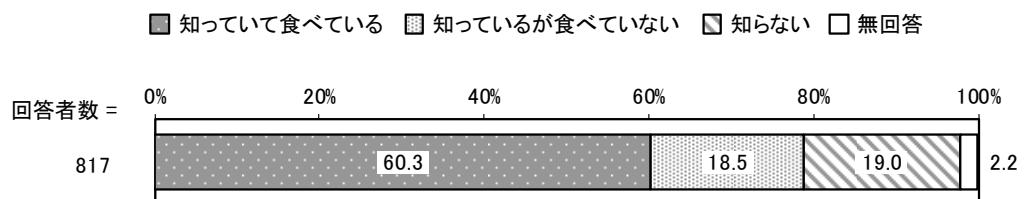
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



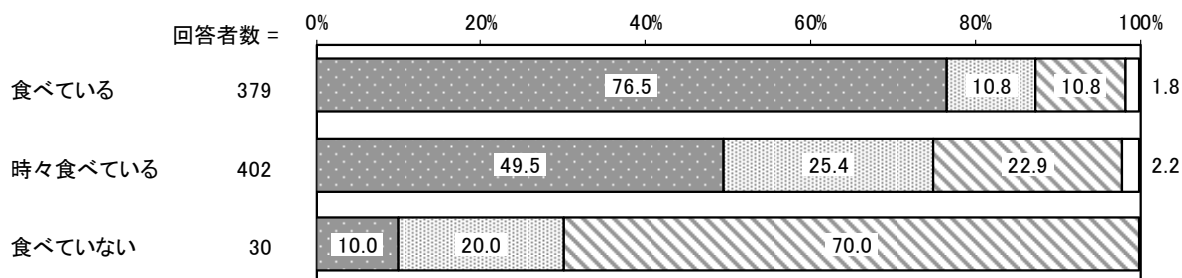
④桃の節句（ちらし寿司・はまぐりのお吸い物など）

「知っている食べている」の割合が60.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が19.0%、「知っているが食べていない」の割合が18.5%となっています。



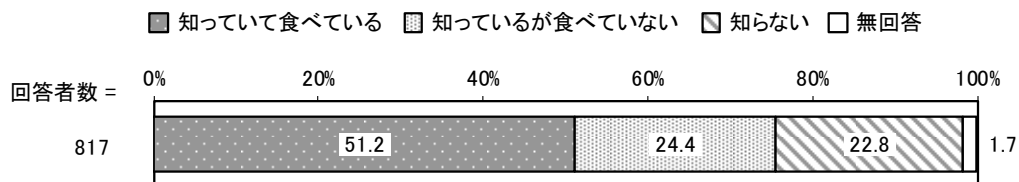
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が、時々食べているで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



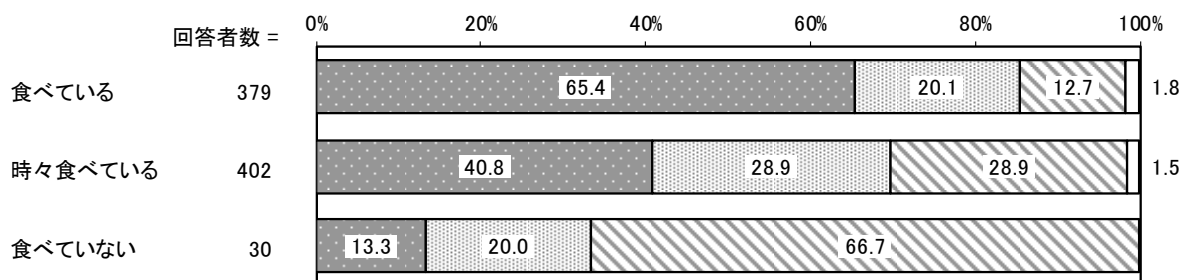
⑤端午の節句（ちまき・かしわ餅など）

「知っている食べている」の割合が 51.2%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 24.4%、「知らない」の割合が 22.8%となっています。



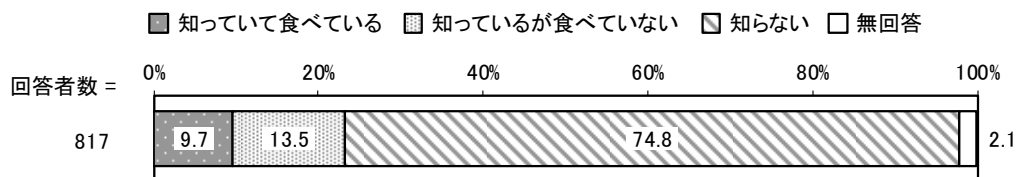
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が、時々食べているで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



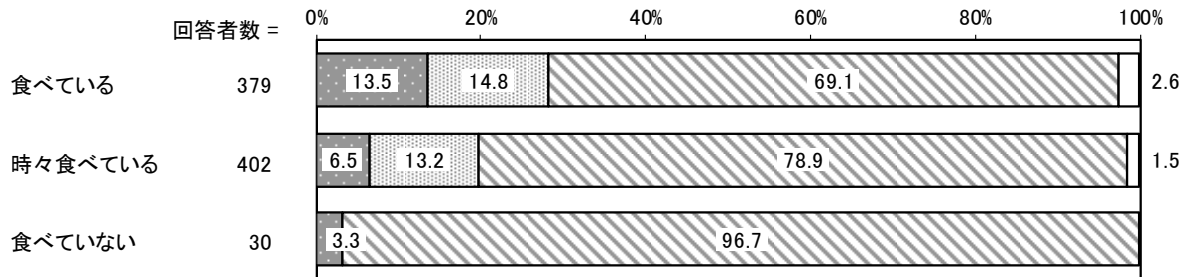
⑥夏至（たこ）

「知らない」の割合が 74.8%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 13.5%となっています。



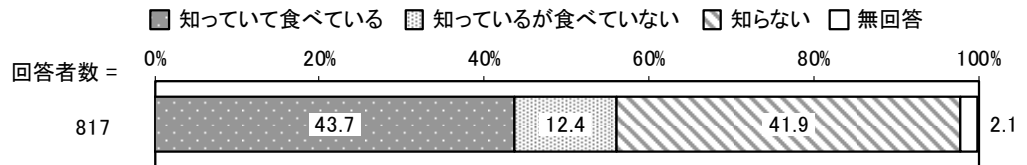
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



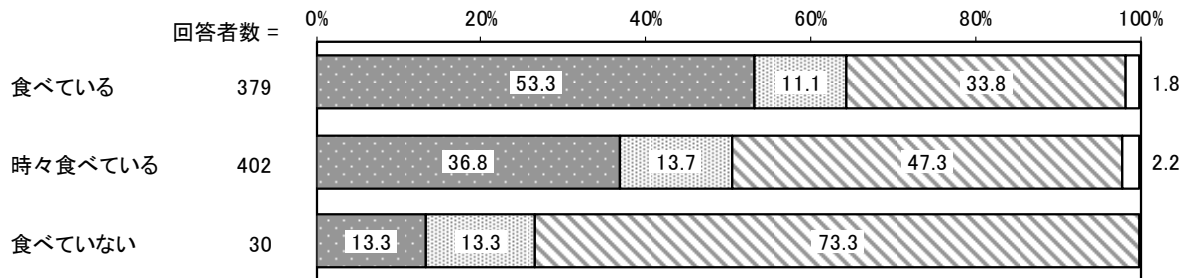
⑦七夕の節句（そうめん）

「知っている食べている」の割合が 43.7%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 41.9%、「知っているが食べていない」の割合が 12.4%となっています。



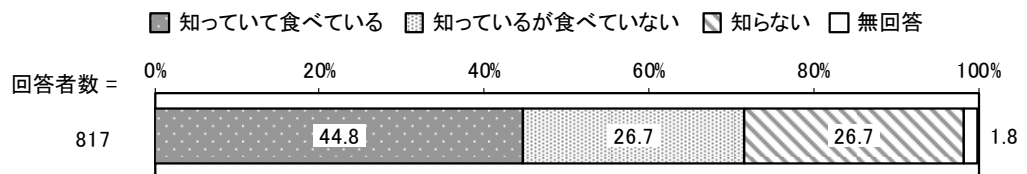
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



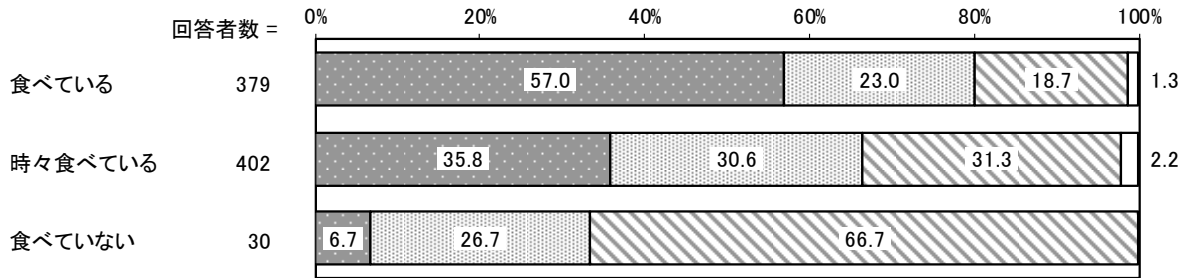
⑧土用の丑の日（うなぎ・土用しじみなど）

「知っている食べている」の割合が 44.8%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」、「知らない」の割合が 26.7%となっています。



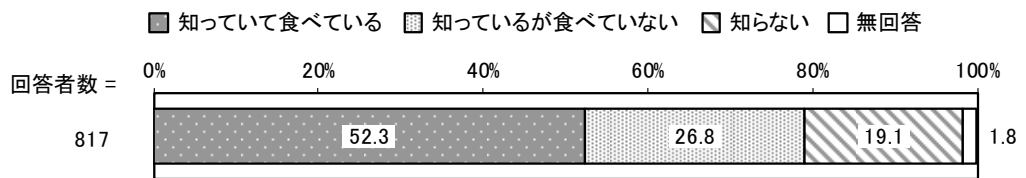
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



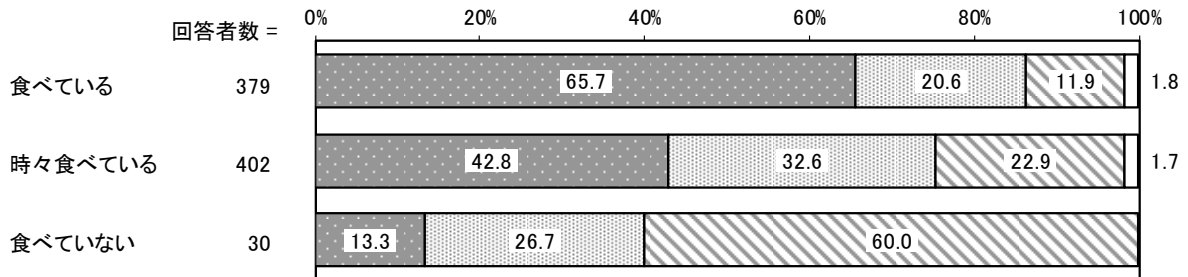
⑨十五夜（月見団子・里芋など）

「知っている食べている」の割合が 52.3%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 26.8%、「知らない」の割合が 19.1%となっています。



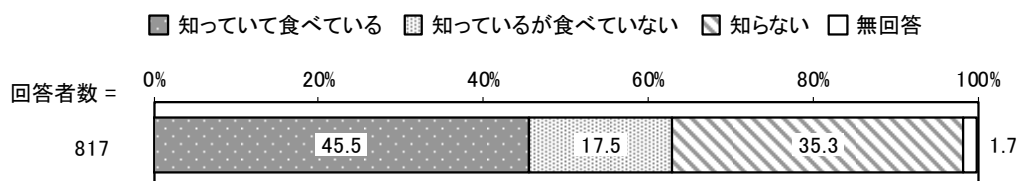
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が、時々食べているで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



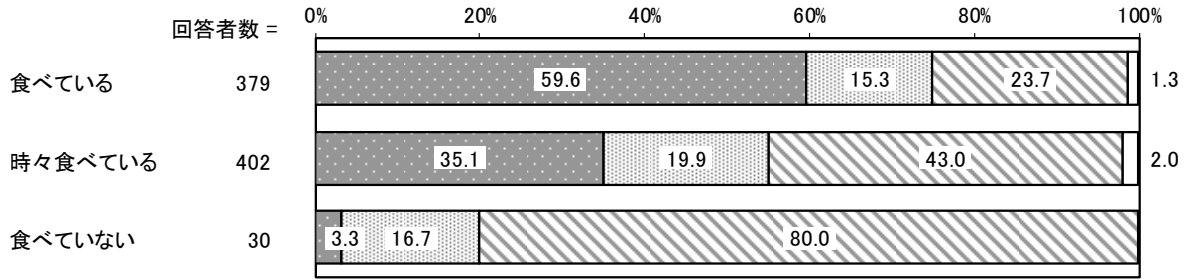
⑩冬至（かぼちゃなど）

「知っている食べている」の割合が 45.5%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 35.3%、「知っているが食べていない」の割合が 17.5%となっています。



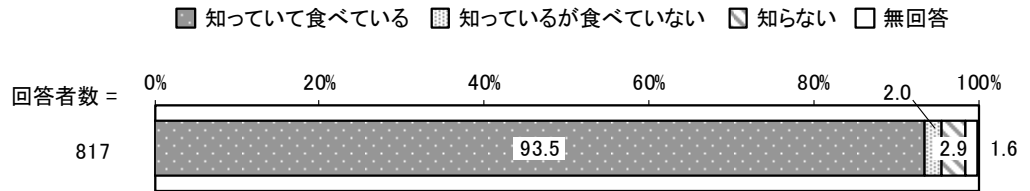
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



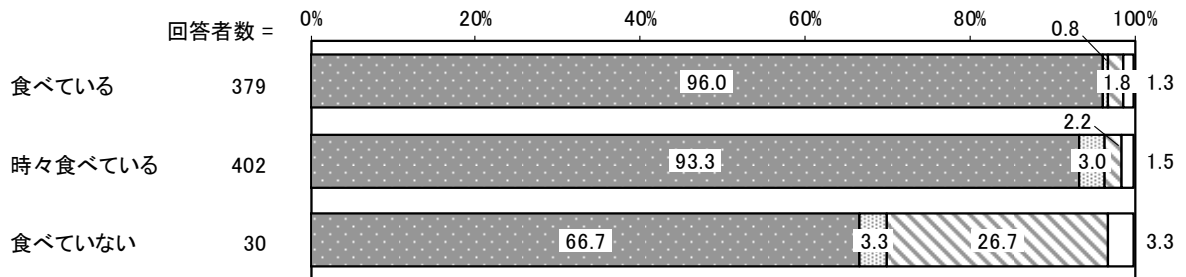
⑪クリスマス（ローストチキン・クリスマスケーキ）

「知っている食べている」の割合が 93.5%と最も高くなっています。



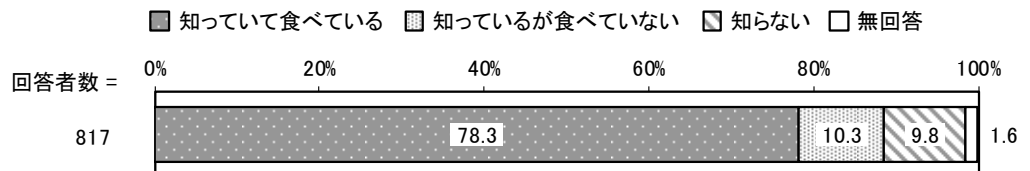
【伝統料理（行事食等）の喫食別】

伝統料理（行事食等）の喫食別でみると、他に比べ、食べていないで「知らない」の割合が高くなっています。



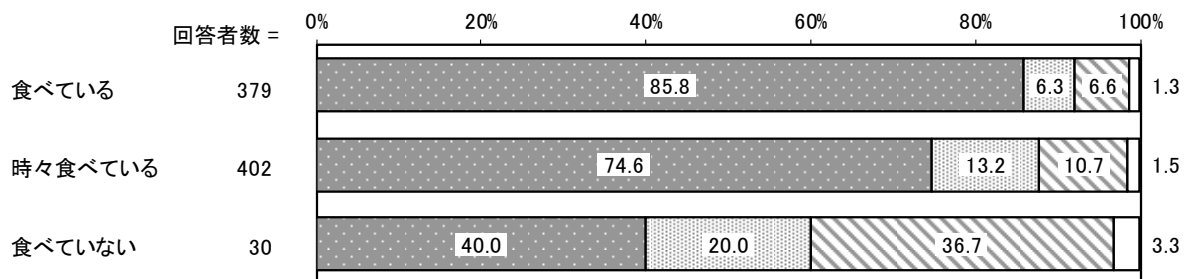
⑫大晦日（年越しそばなど）

「知っている食べている」の割合が 78.3%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 10.3%となっています。



【伝統料理（行事食等）の喫食別】

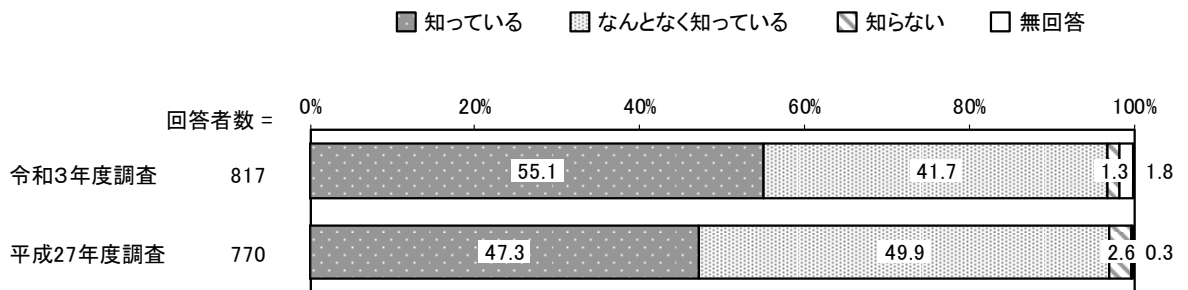
伝統料理（行事食等）の喫食別で見ると、他に比べ、食べているで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、食べていないで「知っているが食べていない」「知らない」の割合が高くなっています。



問 14-① あなた（保護者）のお子さんは、食に関するマナー（手洗い、食べる時の姿勢、食具の持ち方や使い方など）を知っていますか。（○は1つ）

「知っている」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「なんとなく知っている」の割合が 41.7%となっています。

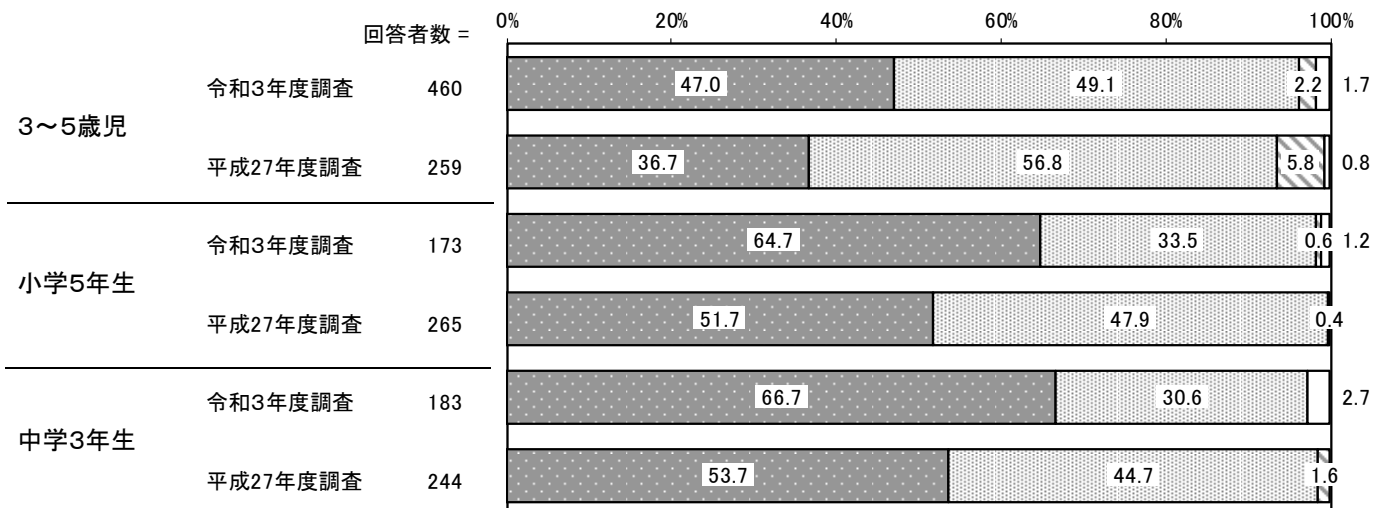
平成 27 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「なんとなく知っている」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

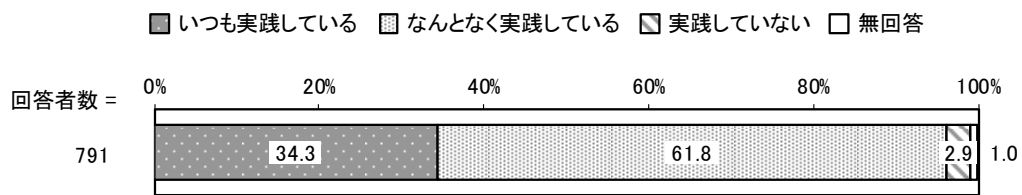
子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、3～5歳児で「なんとなく知っている」の割合が高くなっています。

平成 27 年度調査と比較すると、すべての年齢・学年で「知っている」の割合が増加しています。



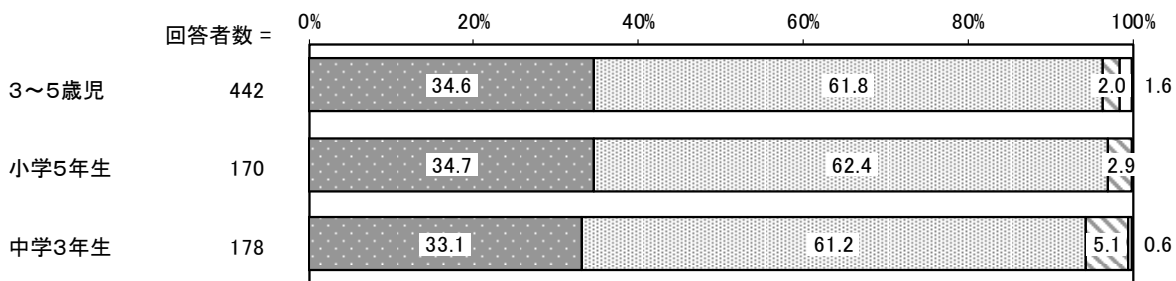
問 14-② あなた（保護者）のお子さんは、食に関するマナーを実践していますか。（○は1つ）

「なんとなく実践している」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「いつも実践している」の割合が 34.3%となっています。



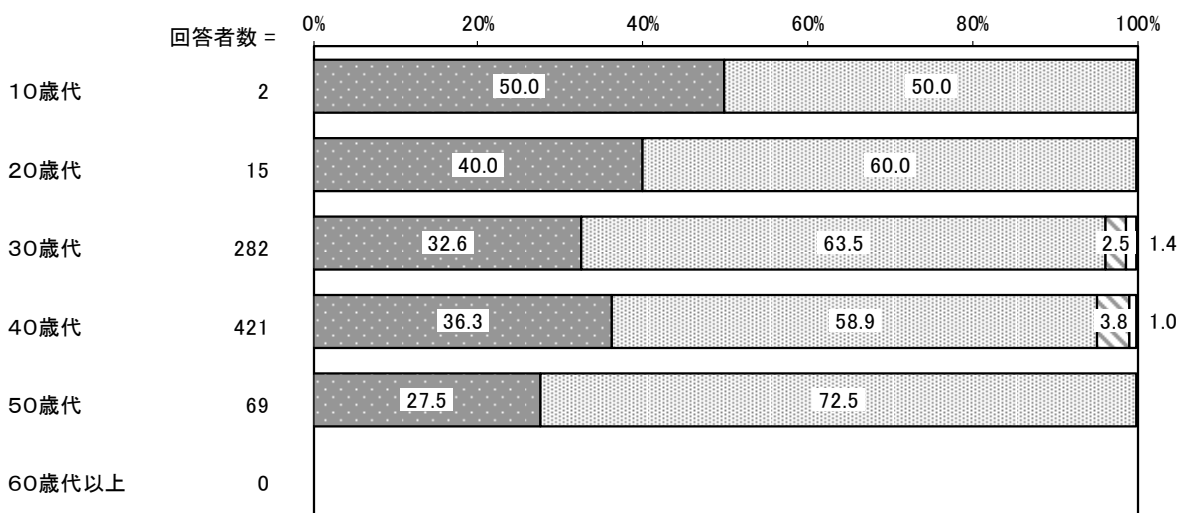
【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、大きな差異はみられません。



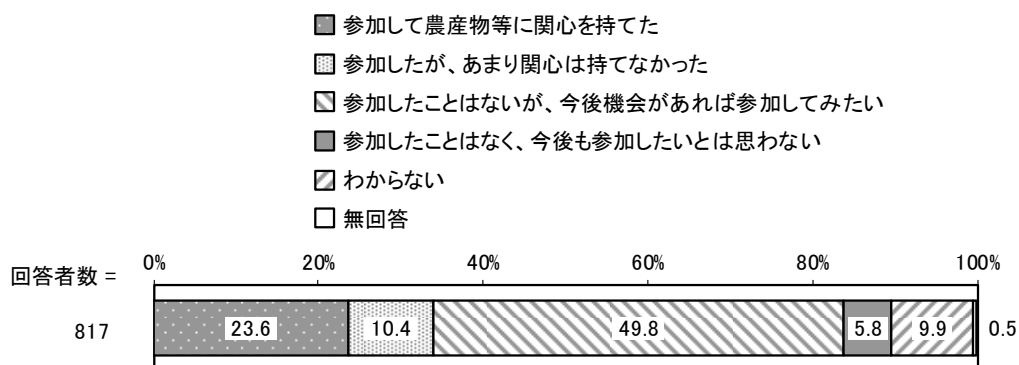
【保護者の年齢別】

保護者の年齢別でみると、他に比べ、50歳代で「なんとなく実践している」の割合が高くなっています。また、年齢が高くなるにつれて、「いつも実践している」の割合が低くなる傾向がみられます。



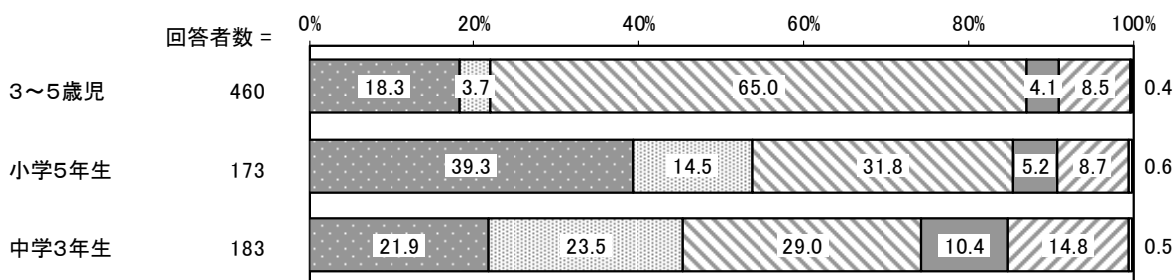
問 15 あなた（保護者）のお子さんは、農産物等の生産者による食育の授業や農業体験に参加したことはありますか。（○は1つ）

「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」の割合が49.8%と最も高く、次いで「参加して農産物等に関心を持てた」の割合が23.6%、「参加したが、あまり関心は持てなかった」の割合が10.4%、「参加したが、あまり関心は持てなかった」の割合が10.4%となっています。



【子どもの年齢・学年別】

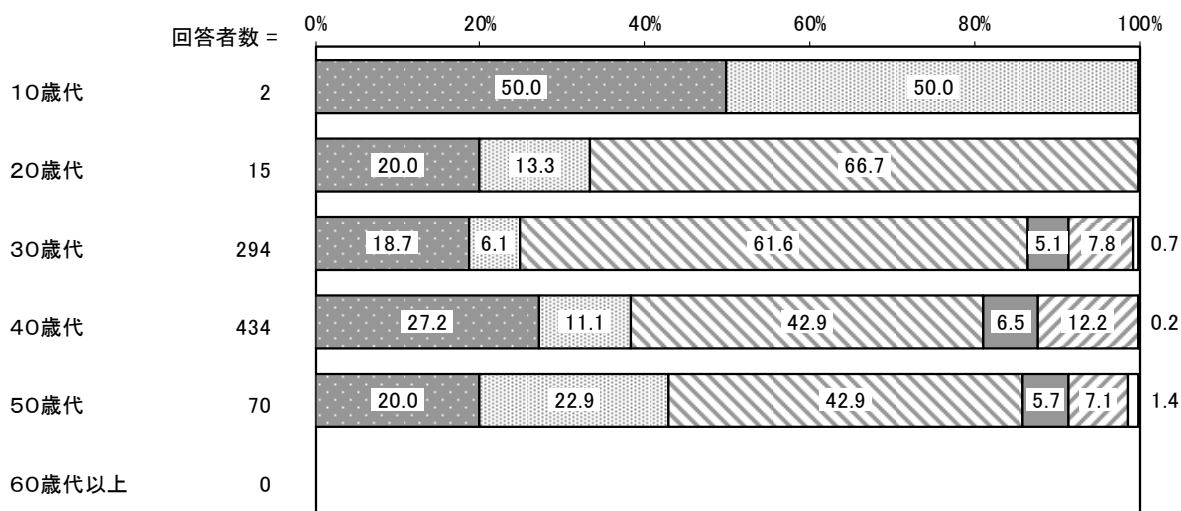
子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、3～5歳児で「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」の割合が、小学5年生で「参加して農産物等に関心を持てた」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「参加したが、あまり関心は持てなかった」「参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない」の割合が高くなっています。



【保護者の年齢別】

保護者の年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい」の割合が、40歳代で「参加して農産物等に関心を持てた」の割合が高くなっています。また、50歳代で「参加したが、あまり関心は持てなかった」の割合が高くなっています。

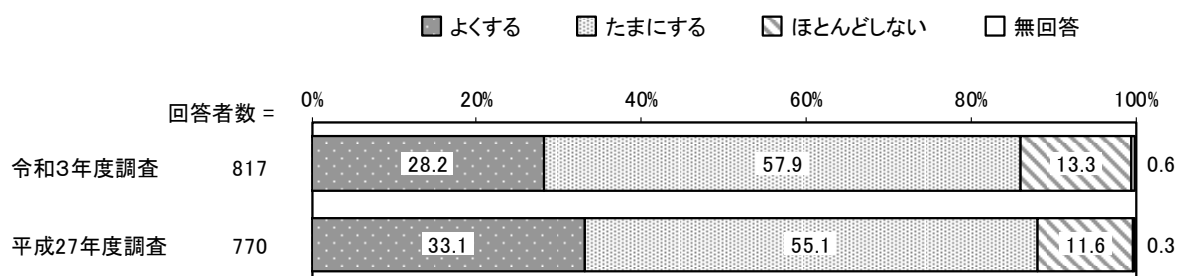
- 参加して農産物等に関心を持てた
- ▨ 参加したが、あまり関心は持てなかった
- ▧ 参加したことはないが、今後機会があれば参加してみたい
- 参加したことはなく、今後も参加したいとは思わない
- ▩ わからない
- 無回答



問 16-① あなた（保護者）のお子さんは、食事の準備や後片付けなどの食事のお手伝いをしますか。（○は1つ）

「たまにする」の割合が57.9%と最も高く、次いで「よくする」の割合が28.2%、「ほとんどしない」の割合が13.3%となっています。

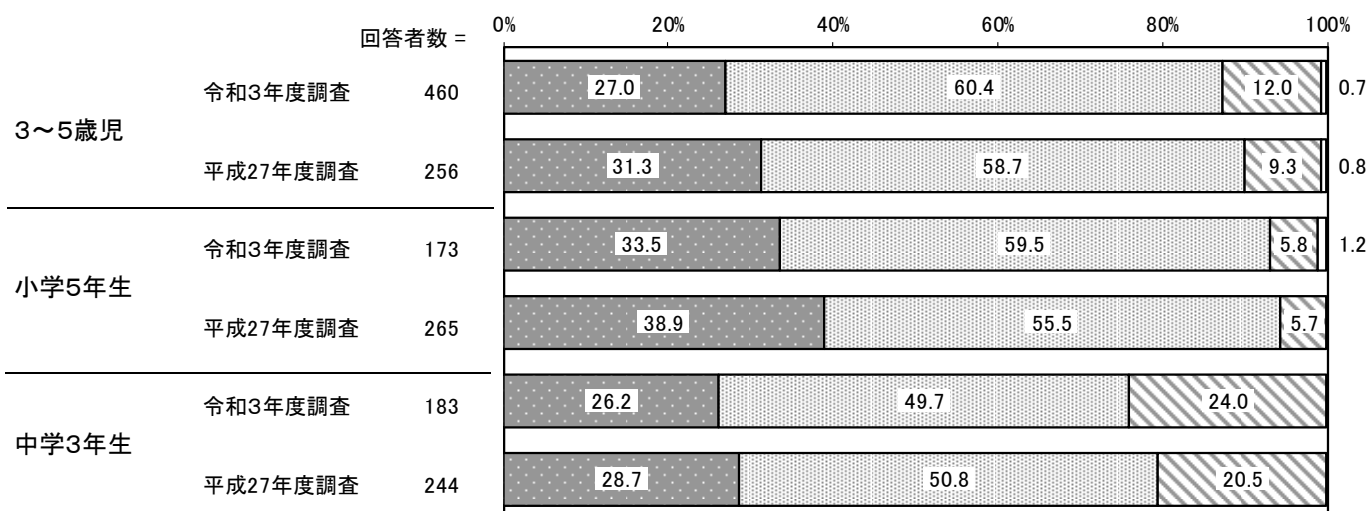
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、小学5年生で「よくする」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「ほとんどしない」の割合が高くなっています。

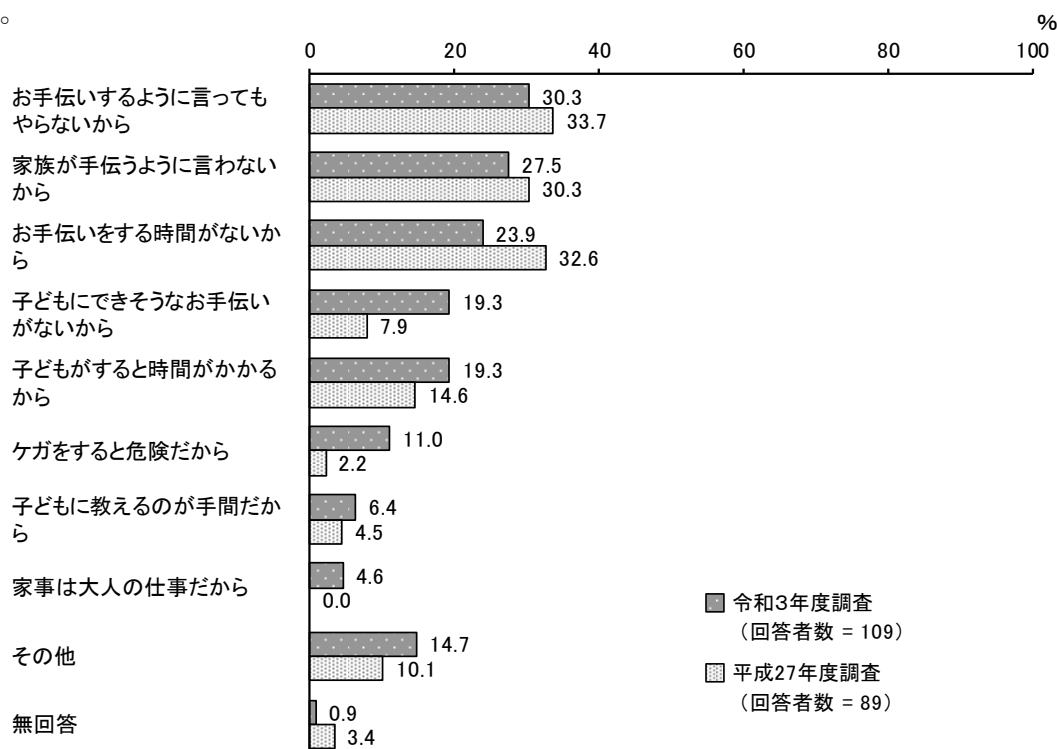
平成27年度調査と比較すると、3～5歳児、中学3年生で、大きな変化はみられません。小学5年生で「よくする」の割合が減少しています。



問 16-② お手伝いをしない理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

「お手伝いするように言ってもやらないから」の割合が30.3%と最も高く、次いで「家族が手伝うように言わないから」の割合が27.5%、「お手伝いをする時間がないから」の割合が23.9%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「子どもにできそうなお手伝いがないから」「ケガをすると危険だから」の割合が増加しています。一方、「お手伝いをする時間がないから」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、3～5歳児で「子どもにできそうなお手伝いがないから」「ケガをすると危険だから」の割合が高くなっています。また、小学5年生で「家族が手伝うように言わないから」「お手伝いするように言ってもやらないから」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「お手伝いをする時間がないから」の割合が高くなっています。

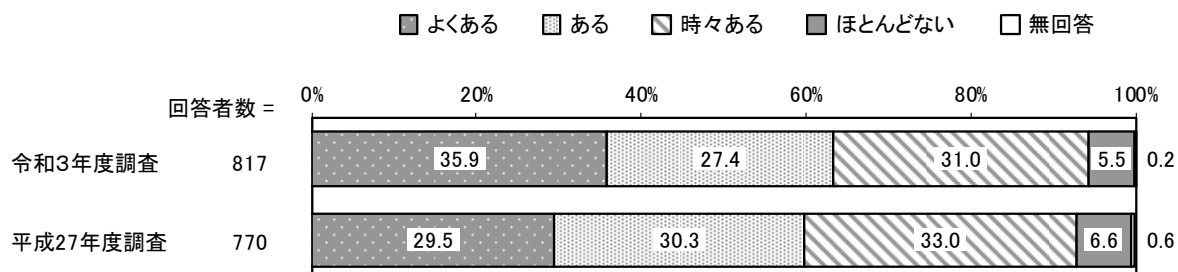
単位：％

区分	回答者数(件)	お手伝いするように言ってもやらないから	家族が手伝うように言わないから	お手伝いをする時間がないから	子どもにできそうなお手伝いがないから	子どもがすると時間がかかるから	ケガをすると危険だから	子どもに教えるのが手間だから	家事は大人の仕事だから	その他	無回答
3～5歳児	55	16.4	21.8	9.1	36.4	21.8	18.2	9.1	3.6	21.8	1.8
小学5年生	10	50.0	50.0	—	—	20.0	—	—	10.0	—	—
中学3年生	44	43.2	29.5	47.7	2.3	15.9	4.5	4.5	4.5	9.1	—

**問 17 あなた（保護者）のお子さんは、家族と「食」（食べ物）について会話をする
ことがありますか。（○は1つ）**

「よくある」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「時々ある」の割合が 31.0%、「ある」の割合が 27.4%となっています。

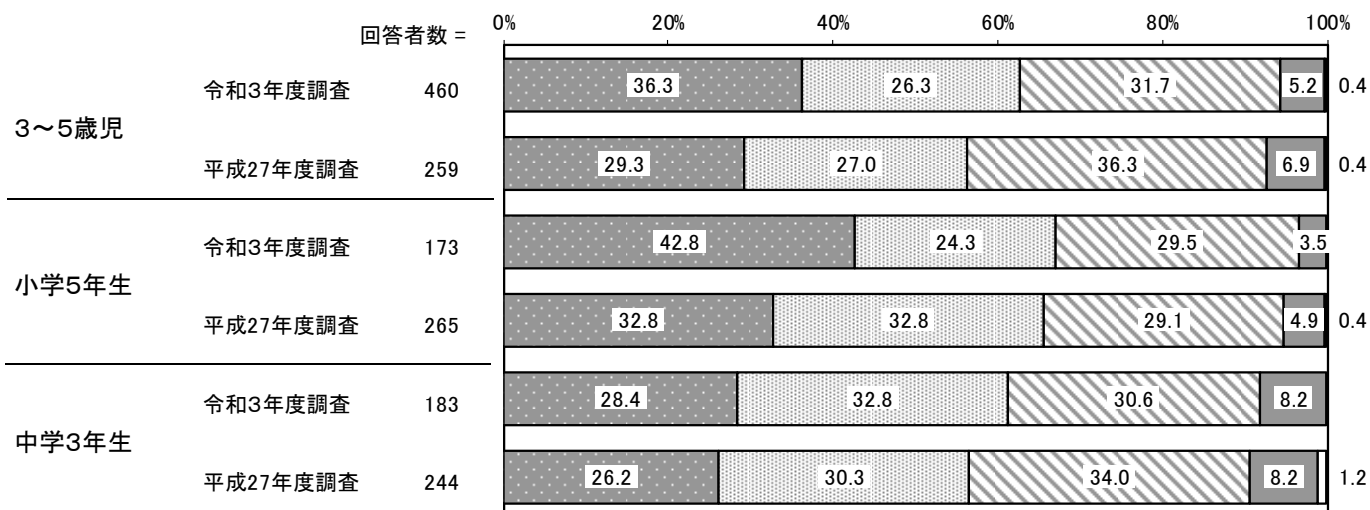
平成 27 年度調査と比較すると、「よくある」の割合が増加しています。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別でみると、他に比べ、小学5年生で「よくある」の割合が高くなっています。また、中学3年生で「ある」の割合が高くなっています。

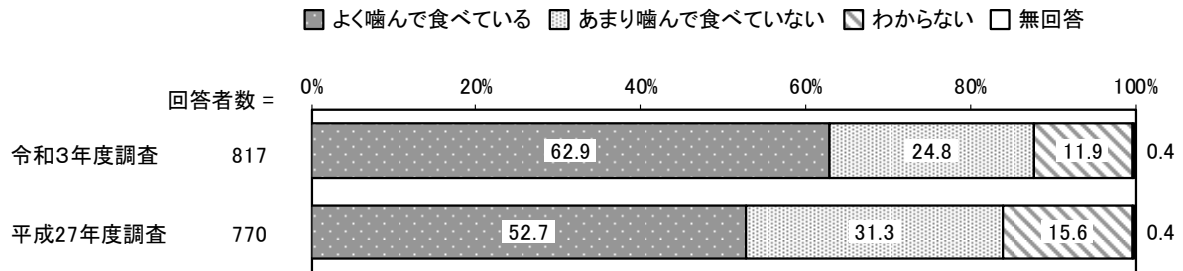
平成 27 年度調査と比較すると、3～5歳児、小学5年生で「よくある」の割合が増加しています。中学3年生で、大きな変化はみられません。



**問 18 あなた（保護者）のお子さんは、食事の時によく噛んで食べていますか。
（○は1つ）**

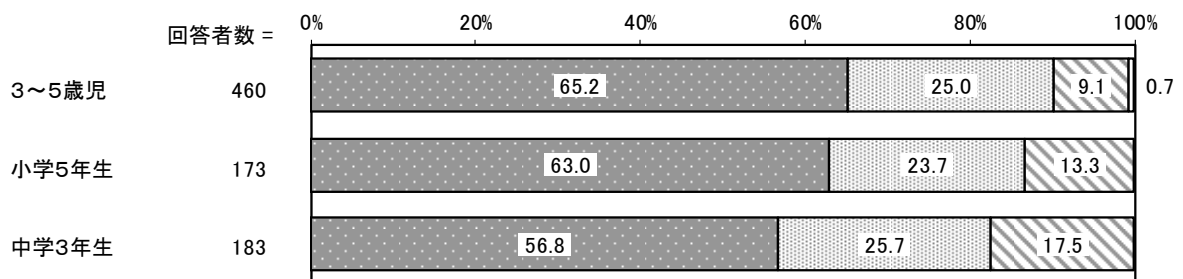
「よく噛んで食べている」の割合が 62.9%と最も高く、次いで「あまり噛んで食べていない」の割合が 24.8%、「わからない」の割合が 11.9%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「よく噛んで食べている」の割合が増加しています。一方、「あまり噛んで食べていない」の割合が減少しています。



【子どもの年齢・学年別】

子どもの年齢・学年別で見ると、大きな差異はみられません。

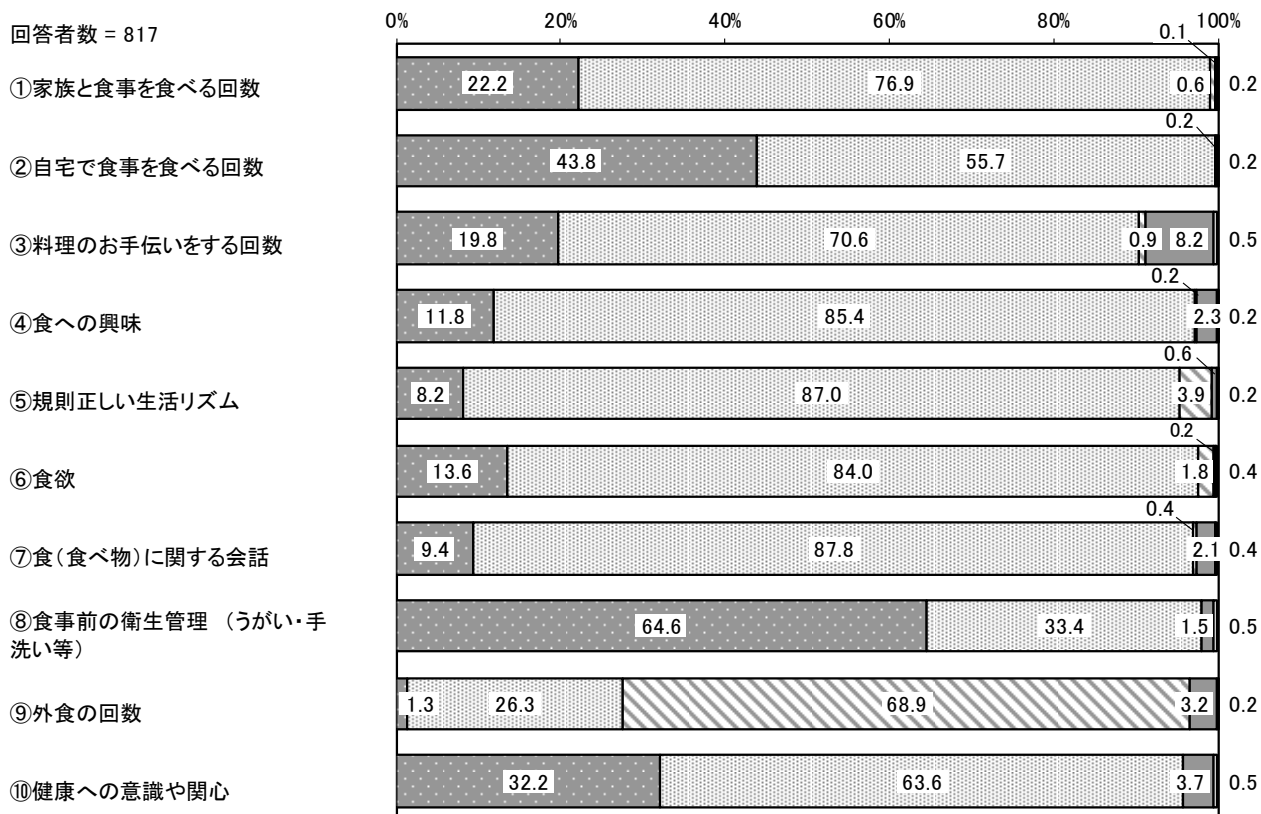


問 19 あなた（保護者）のお子さんの現在の食生活等は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか。下記の各質問についてお答えください。
 (①～⑩の質問ごとに、それぞれ○を1つけてください)

他に比べ、『⑧食事前の衛生管理（うがい・手洗い等）』で「高まった 広がった 増えた」の割合が高くなっています。

- 高まった 広がった 増えた
- ▨ 変わらない
- ▧ 下がった 狭まった 減った
- もともとない
- 無回答

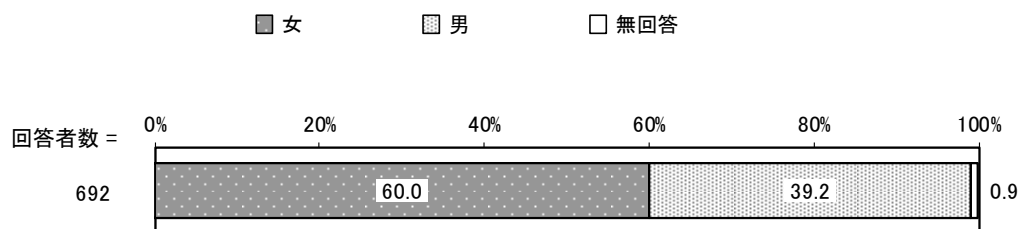
回答者数 = 817



2 成人

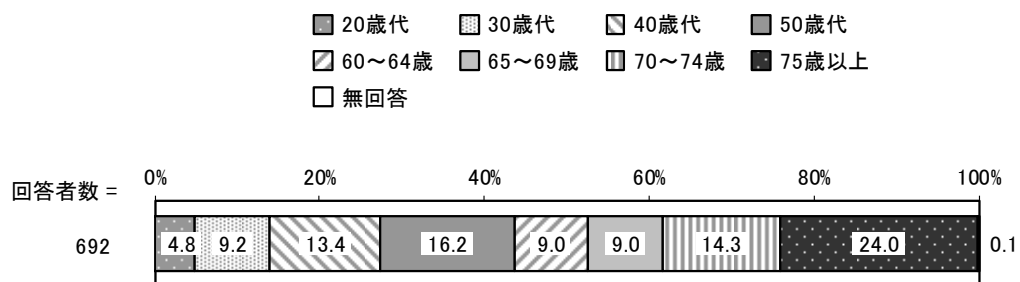
問1 あなたの自認する性をお答えください。(統計上必要となります) (○は1つ)

「女」の割合が60.0%で、「男」の割合が39.2%となっています。



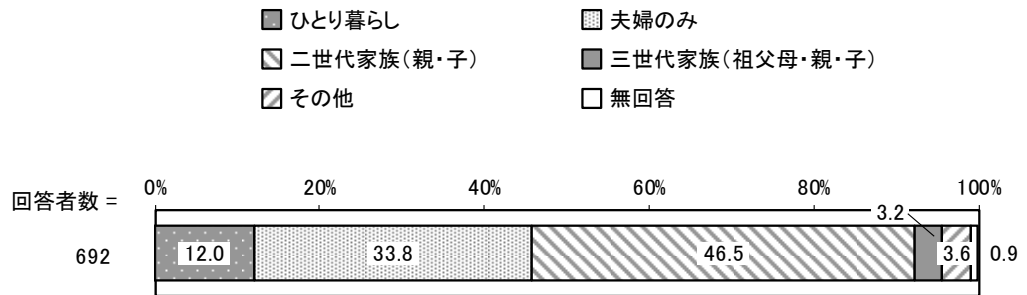
問2 あなたの年齢をお答えください。(○は1つ)

「75歳以上」の割合が24.0%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が16.2%、「70～74歳」の割合が14.3%となっています。



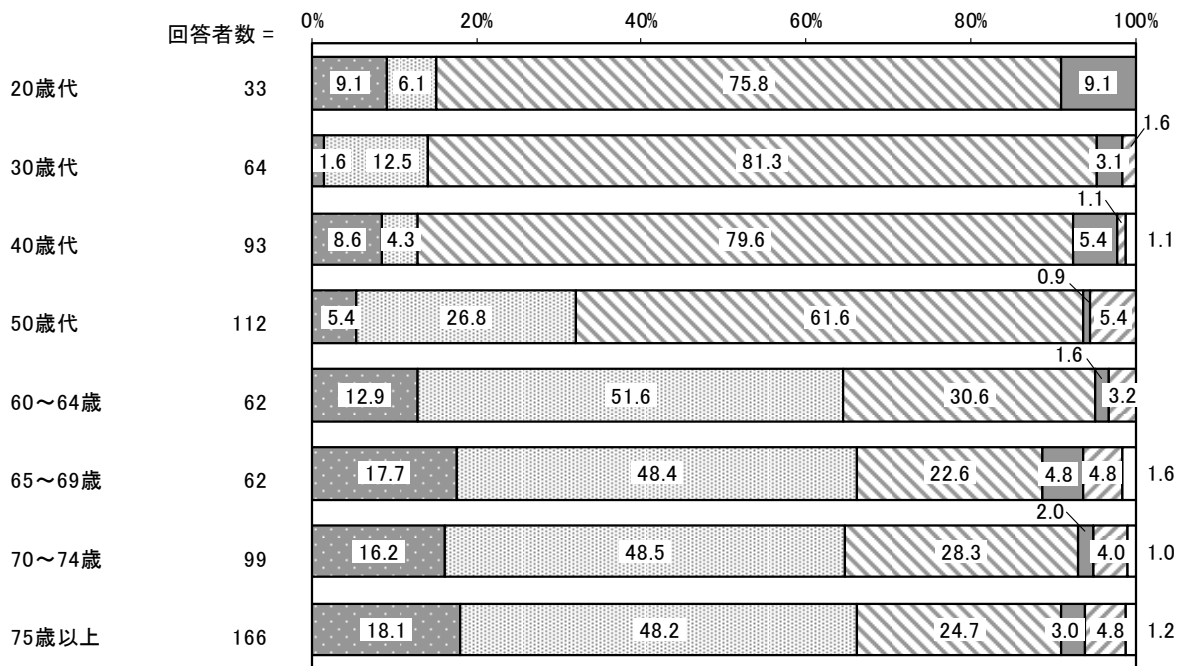
問3 あなたが住んでいる家の家族構成をお答えください。(〇は1つ)

「二世世代家族（親・子）」の割合が 46.5%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が 33.8%、「ひとり暮らし」の割合が 12.0%となっています。



【年齢別】

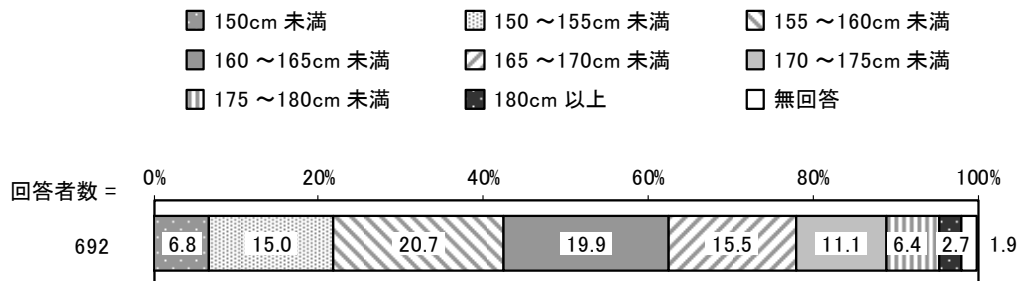
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「夫婦のみ」の割合が高くなる傾向がみられます。



問4 あなたの身長と体重をお書きください。(小数点以下1ケタ)

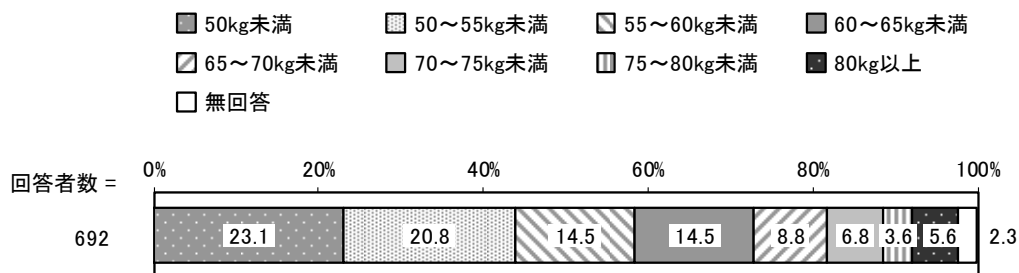
身長

「155～160cm未満」の割合が20.7%と最も高く、次いで「160～165cm未満」の割合が19.9%、「165～170cm未満」の割合が15.5%となっています。



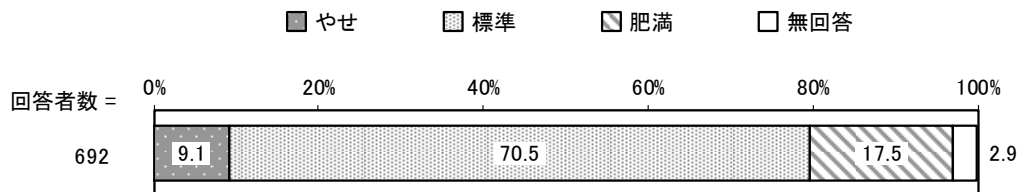
体重

「50kg未満」の割合が23.1%と最も高く、次いで「50～55kg未満」の割合が20.8%、「55～60kg未満」、「60～65kg未満」の割合が14.5%となっています。



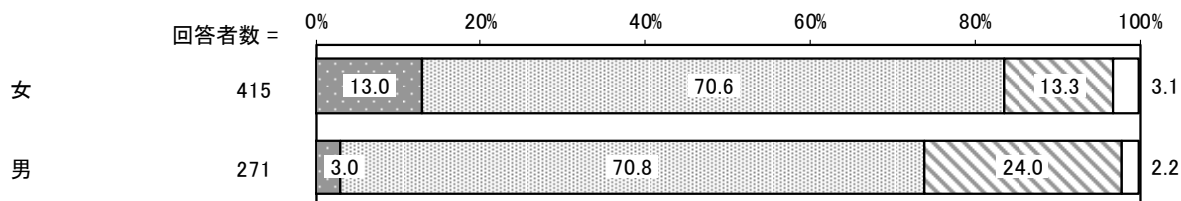
BMI

「標準」の割合が70.5%と最も高く、次いで「肥満」の割合が17.5%となっています。



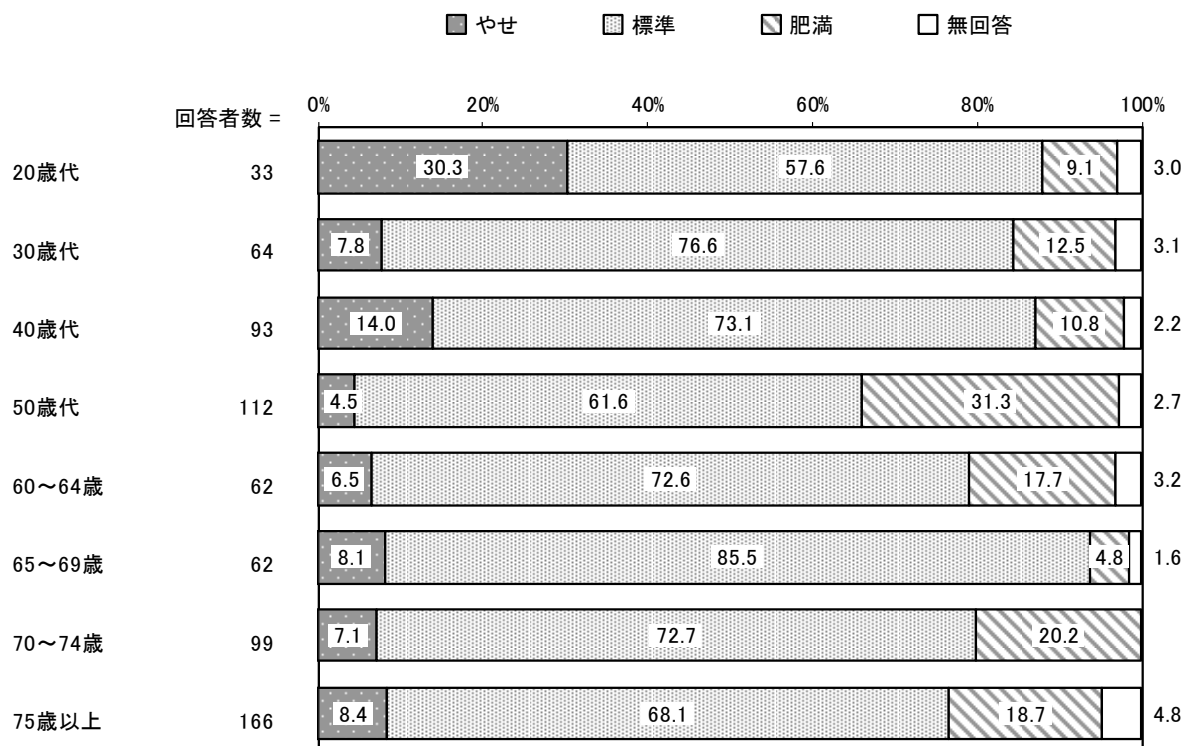
【性別】

性別で見ると、男性に比べ、女性で「やせ」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「肥満」の割合が高くなっています。



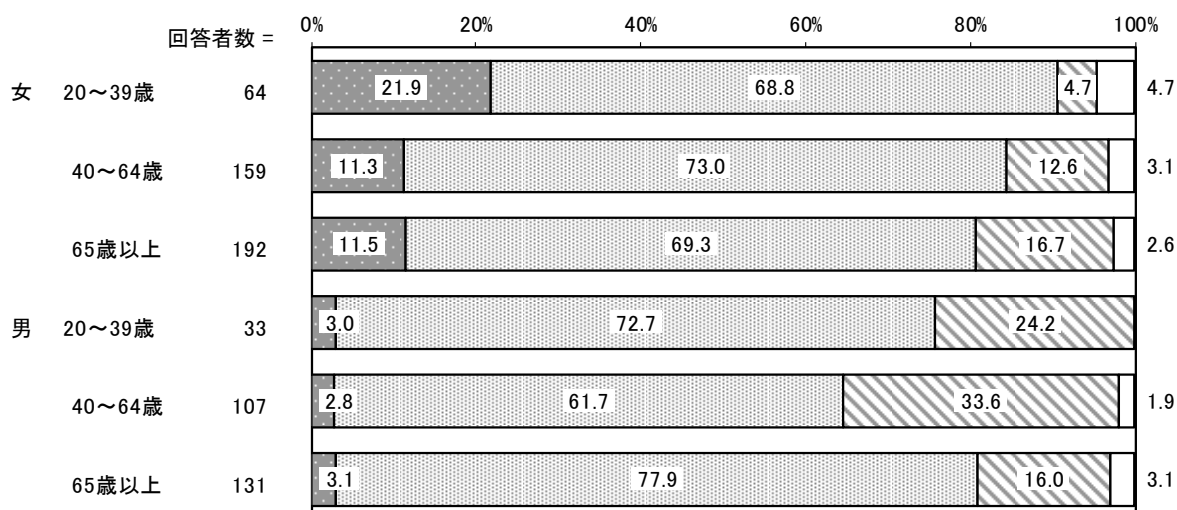
【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「やせ」の割合が、50歳代で「肥満」の割合が高くなっています。また、65～69歳で「標準」の割合が高くなっています。



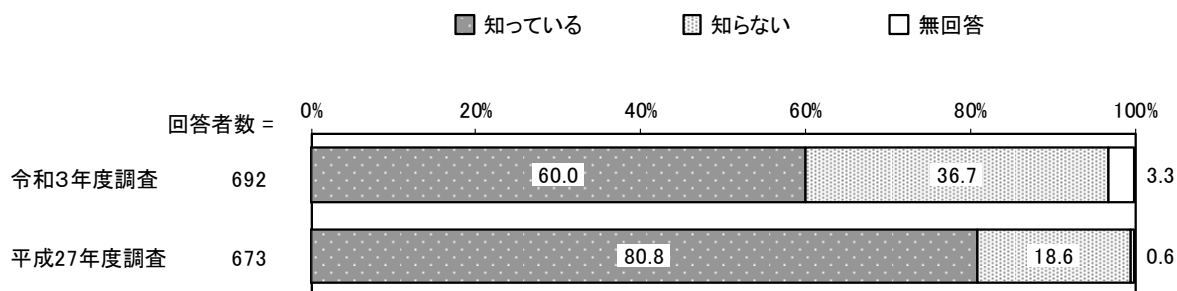
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の20～39歳で「やせ」の割合が高くなっています。また、男性の40～64歳で「肥満」の割合が高くなっています。



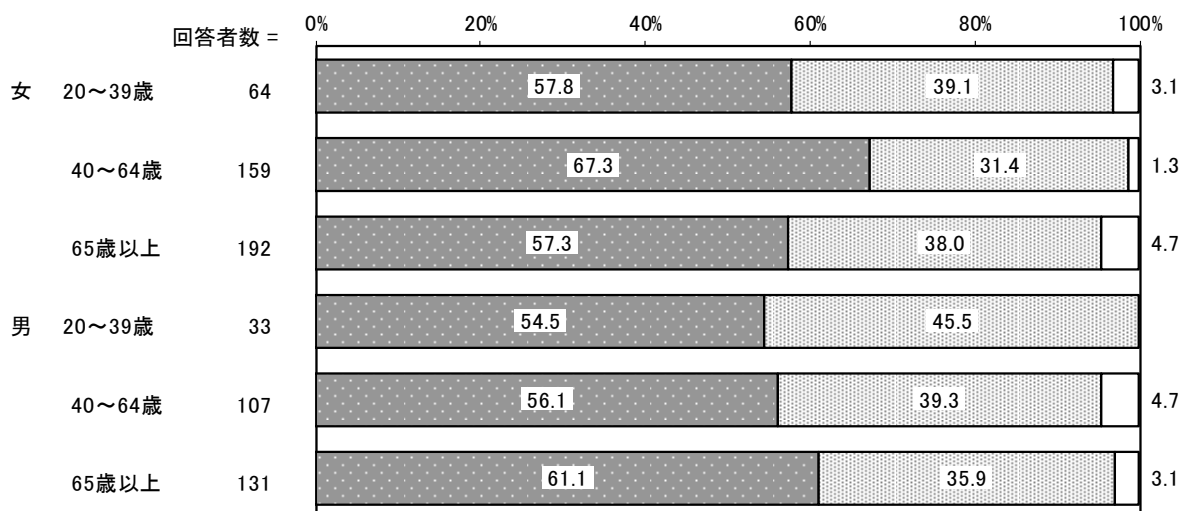
問5 あなたは、自分の標準体重を知っていますか。(○は1つ)

「知っている」の割合が60.0%、「知らない」の割合が36.7%となっています。
 平成27年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。



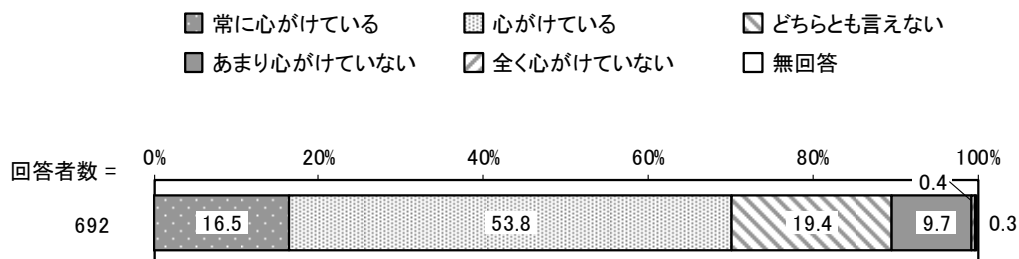
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の40～64歳で「知っている」の割合が高くなっています。また、男性の20～39歳で「知らない」の割合が高くなっています。



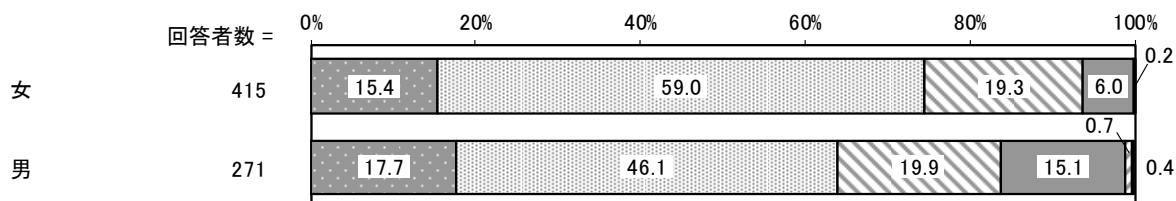
問6 あなたは、日頃から健全な食生活を実践することを心がけていますか。
(〇は1つ)

「常に心がけている」と「心がけている」を合わせた“心がけている”の割合が70.3%、「あまり心がけていない」と「全く心がけていない」を合わせた“心がけていない”の割合が10.1%となっています。また、「どちらとも言えない」の割合が19.4%となっています。



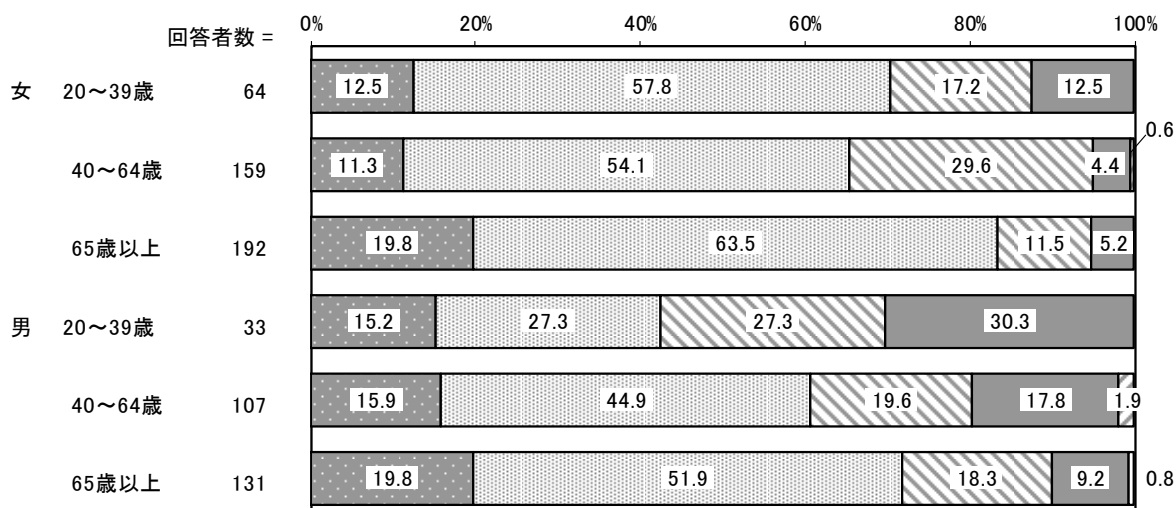
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で“心がけている”の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

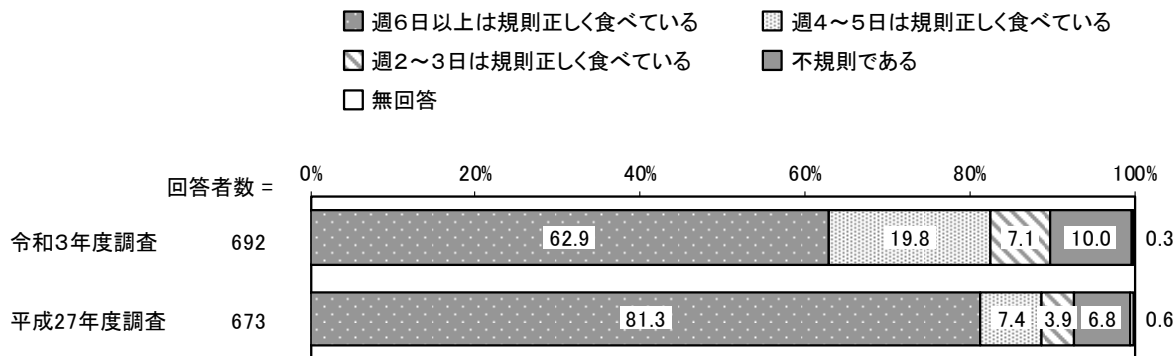
性・年齢別でみると、他に比べ、女性の65歳以上で“心がけている”の割合が高くなっています。また、男性で年齢が高くなるにつれて“心がけている”の割合が高くなる傾向がみられます。



問7 あなたは、3食を規則正しく食べていますか。(〇は1つ)

「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が62.9%と最も高く、次いで「週4～5日は規則正しく食べている」の割合が19.8%、「不規則である」の割合が10.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「週4～5日は規則正しく食べている」の割合が増加しています。

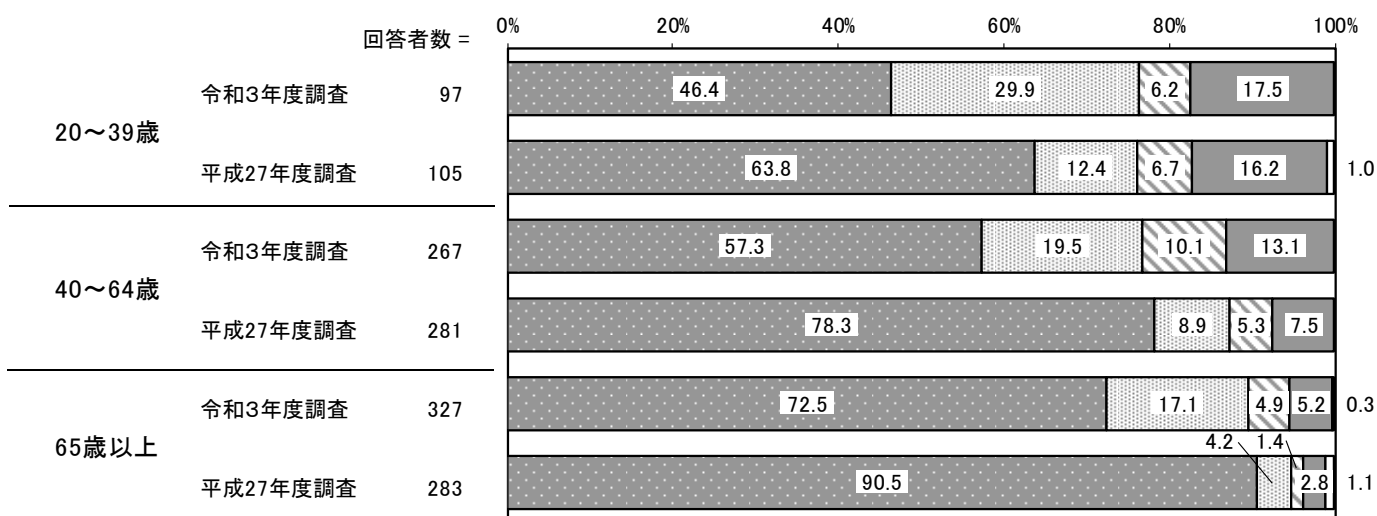


※「週6日以上は規則正しく食べている」は、平成27年度調査では、「ほぼ毎日規則正しい」となっています。

【年齢別】

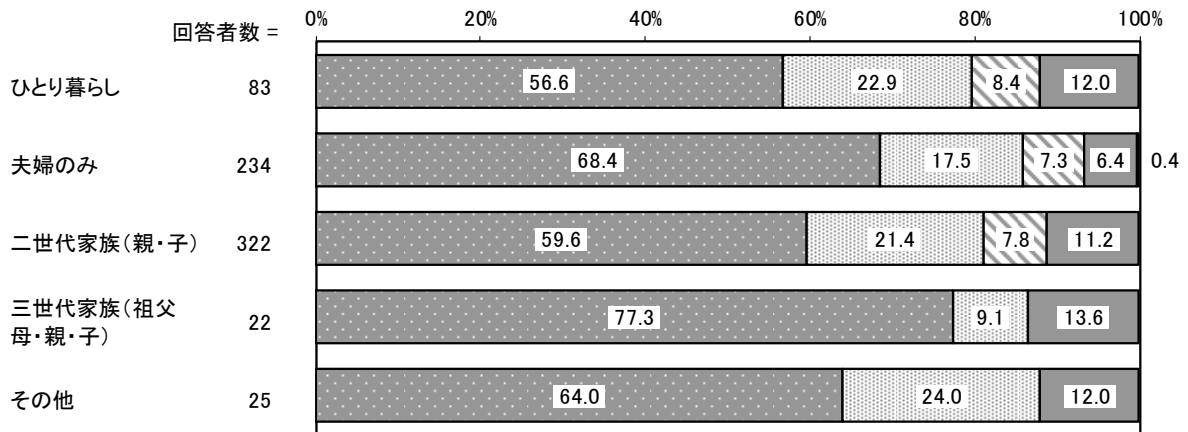
年齢別でみると、他に比べ、20～39歳で「週4～5日は規則正しく食べている」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が高くなっています。

平成27年度調査と比較すると、すべての年齢で「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が減少しています。



【家族構成別】

家族構成別でみると、他に比べ、三世代家族（祖父母・親・子）で「週6日以上は規則正しく食べている」の割合が高くなっています。

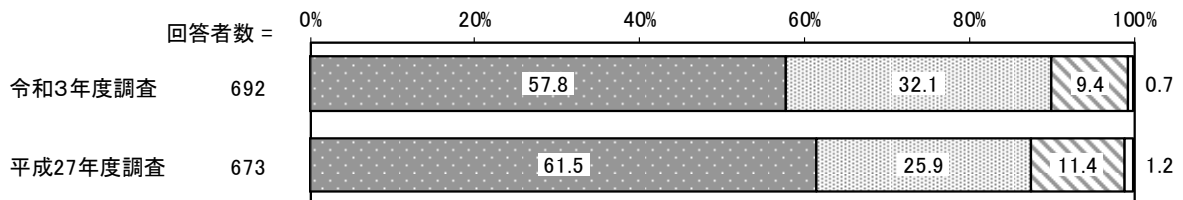


問8 あなたは、食育という言葉をご存知ですか。(〇は1つ)

「言葉も意味も知っている」の割合が57.8%と最も高く、次いで「言葉は知っているが、意味は知らない」の割合が32.1%となっています。

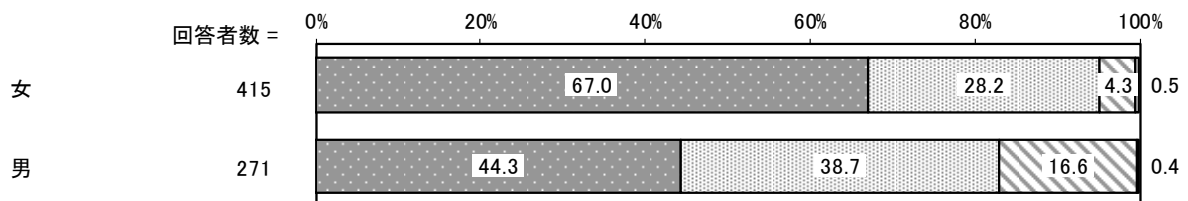
平成27年度調査と比較すると、「言葉は知っているが、意味は知らない」の割合が増加しています。

- 言葉も意味も知っている
- 言葉は知っているが、意味は知らない
- ▨ 言葉も意味も知らない
- 無回答



【性別】

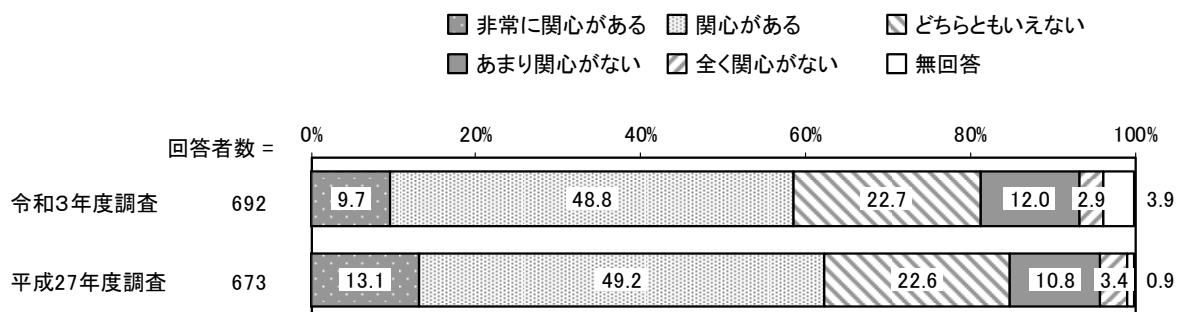
性別でみると、男性に比べ、女性で「言葉も意味も知っている」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「言葉は知っているが、意味は知らない」「言葉も意味も知らない」の割合が高くなっています。



問9 あなたは、「食育」に関心がありますか。(〇は1つ)

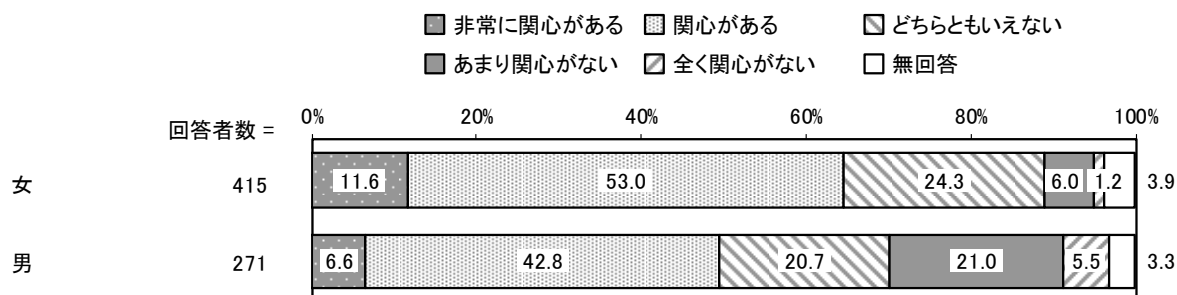
「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が 58.5%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が 14.9%となっています。また、「どちらともいえない」の割合が 22.7%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



【性別】

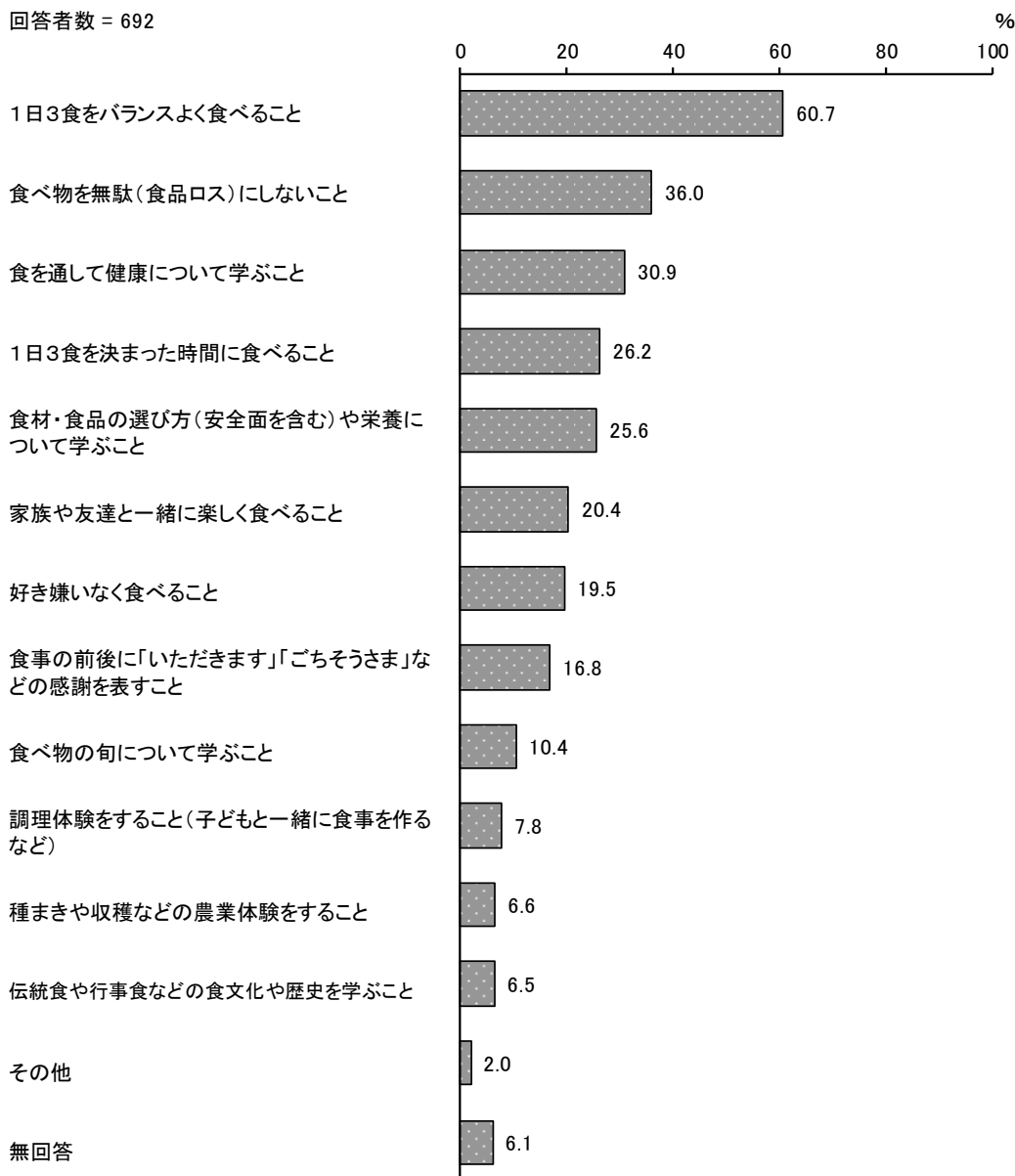
性別でみると、男性に比べ、女性で“関心がある”の割合が高くなっています。



問10 あなたは、「食育」ではどのようなことに取り組むことが大切だと思いますか。
(大切だと思うものに3つまで○をつけてください)

「1日3食をバランスよく食べること」の割合が60.7%と最も高く、次いで「食べ物を無駄(食品ロス)にしないこと」の割合が36.0%、「食を通して健康について学ぶこと」の割合が30.9%となっています。

回答者数 = 692



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「食を通して健康について学ぶこと」「食材・食品の選び方（安全面を含む）や栄養について学ぶこと」「食事の前後に「いただきます」「ごちそうさま」などの感謝を表すこと」「食べ物の旬について学ぶこと」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「1日3食を決まった時間に食べること」「好き嫌いなく食べること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	1日3食をバランスよく食べること	食べ物を無駄（食品ロス）にしないこと	食を通して健康について学ぶこと	1日3食を決まった時間に食べること	食材・食品の選び方（安全面を含む）や栄養について学ぶこと	家族や友達と一緒に楽しく食べること	好き嫌いなく食べること	食事の前後に「いただきます」「ごちそうさま」などの感謝を表すこと	食べ物の旬について学ぶこと	調理体験をすること（子どもと一緒に食事を作るなど）	種まきや収穫などの農業体験をすること	伝統食や行事食などの食文化や歴史を学ぶこと	その他	無回答
女	415	61.4	35.9	35.9	19.0	29.9	22.9	13.3	19.3	13.3	9.9	7.5	7.5	1.2	6.0
男	271	60.1	36.2	24.0	37.3	19.2	17.0	28.8	13.3	5.9	4.8	5.5	5.2	3.0	5.5

【年齢別（3区分）】

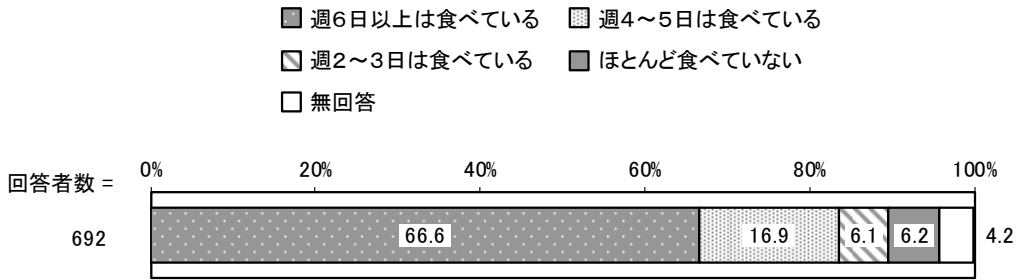
年齢別でみると、他に比べ、20～39歳で「家族や友達と一緒に楽しく食べること」「食事の前後に「いただきます」「ごちそうさま」などの感謝を表すこと」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「1日3食を決まった時間に食べること」「1日3食をバランスよく食べること」「食べ物を無駄（食品ロス）にしないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	1日3食を決まった時間に食べること	1日3食をバランスよく食べること	家族や友達と一緒に楽しく食べること	好き嫌いなく食べること	食事の前後に「いただきます」「ごちそうさま」などの感謝を表すこと	調理体験をすること（子どもと一緒に食事を作るなど）	種まきや収穫などの農業体験をすること	食べ物を無駄（食品ロス）にしないこと	食べ物の旬について学ぶこと	食を通して健康について学ぶこと	養について学ぶこと	食材・食品の選び方（安全面を含む）や栄養について学ぶこと	伝統食や行事食などの食文化や歴史を学ぶこと	その他	無回答
20～39歳	97	19.6	56.7	38.1	10.3	24.7	13.4	10.3	30.9	13.4	24.7	25.8	8.2	2.1	4.1	
40～64歳	267	18.0	57.7	23.2	18.4	16.1	10.1	9.4	33.7	15.0	33.7	28.1	10.1	1.9	4.9	
65歳以上	327	34.9	64.5	12.8	23.2	15.0	4.3	3.4	39.4	5.8	30.6	23.5	3.1	2.1	7.3	

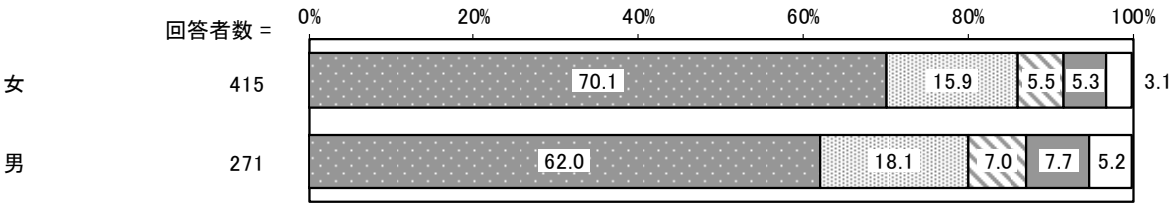
問11 あなたは、3食を欠食せずに食べていますか。(○は1つ)

「週6日以上は食べている」の割合が66.6%と最も高く、次いで「週4～5日は食べている」の割合が16.9%となっています。



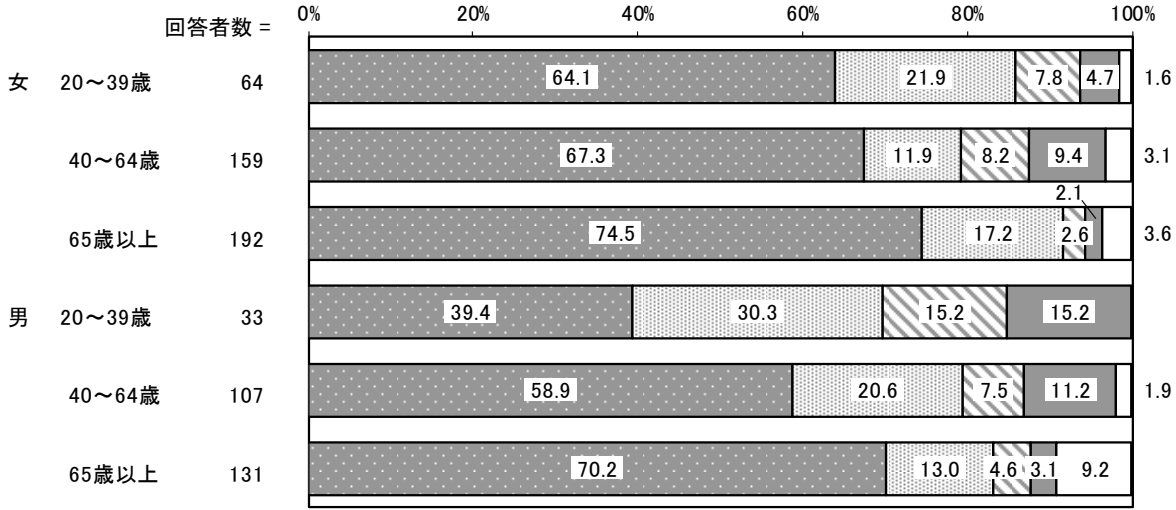
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「週6日以上は食べている」の割合が高くなっています。



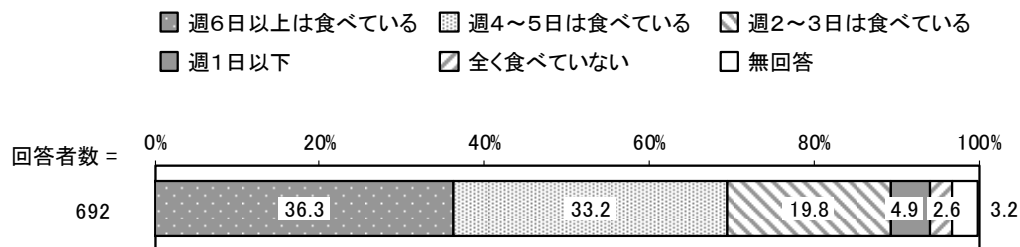
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の20～39歳で「週6日以上は食べている」の割合が低くなっています。



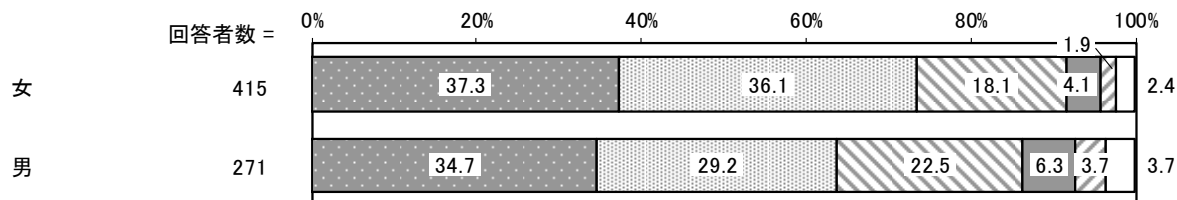
問12 あなたは、1日に2回以上、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べていますか。
(○は1つ)

「週6日以上は食べている」の割合が36.3%と最も高く、次いで「週4～5日は食べている」の割合が33.2%、「週2～3日は食べている」の割合が19.8%となっています。



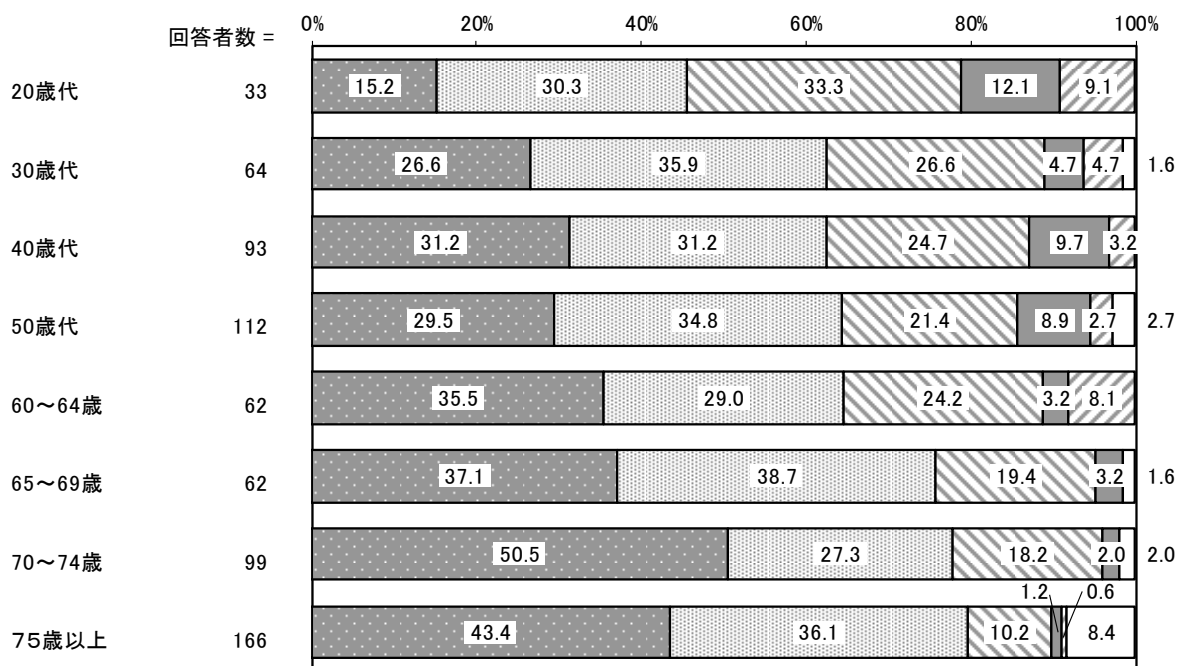
【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「週4～5日は食べている」の割合が高くなっています。



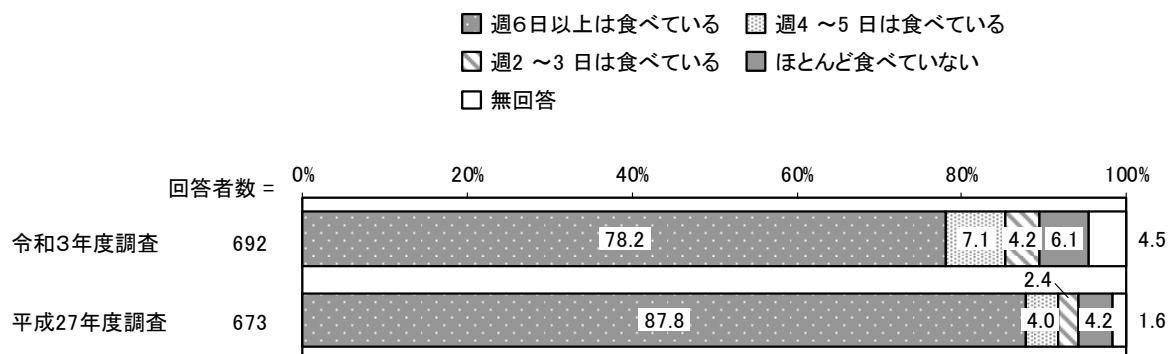
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20歳代で「週2～3日は食べている」の割合が高くなっています。また、70～74歳で「週6日以上は食べている」の割合が高くなっています。



問 13-① あなたは、朝食を食べていますか。(○は1つ)

「週6日以上は食べている」の割合が78.2%と最も高くなっています。
 平成27年度調査と比較すると、「週6日以上は食べている」の割合が減少しています。

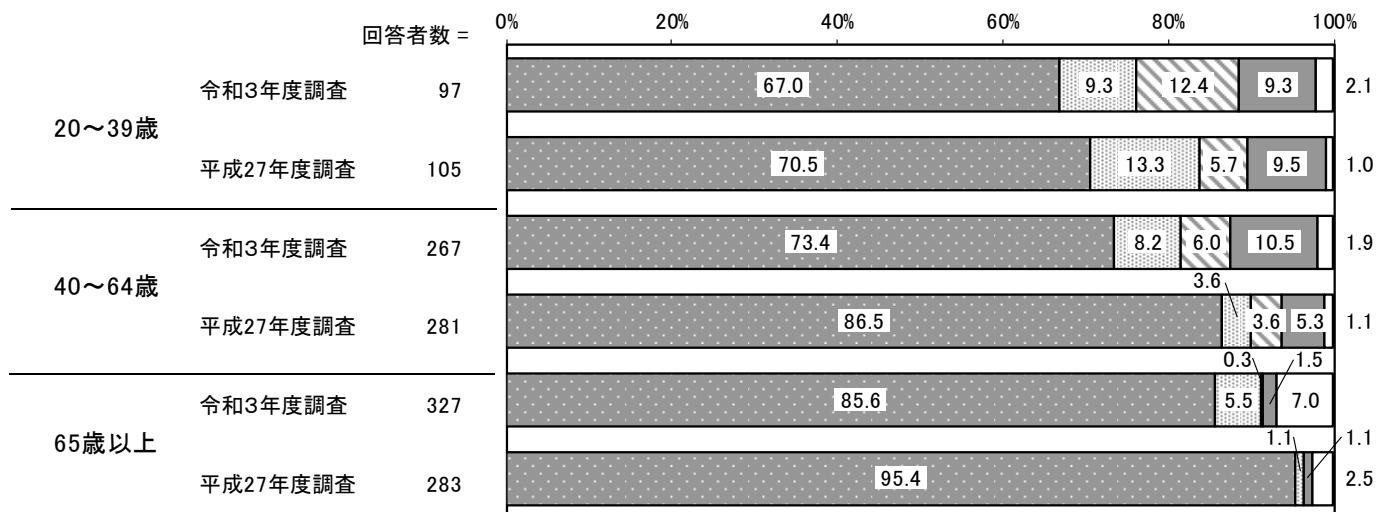


※「週6日以上は食べている」は、平成27年度調査では、「ほぼ毎日食べている」となっています。

【年齢別】

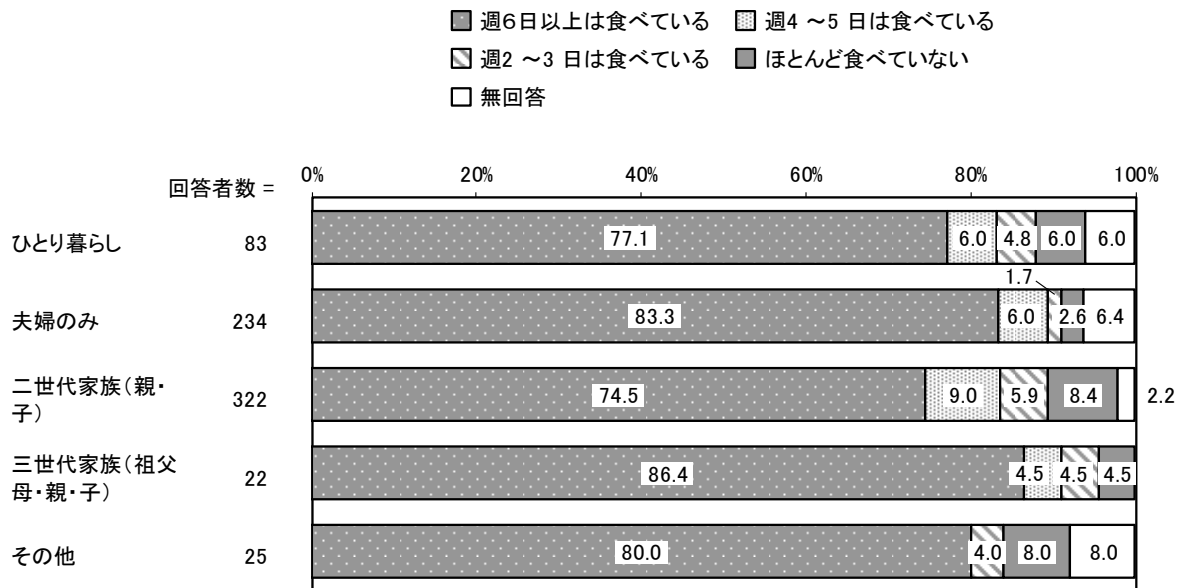
年齢別でみると、他に比べ、20～39歳で「週2～3日は食べている」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「週6日以上は食べている」の割合が高くなっています。

平成27年度調査と比較すると、3～5歳児で、「週2～3日は食べている」の割合が増加しています。小学5年生、中学3年生で「週6日以上は食べている」の割合が減少しています。



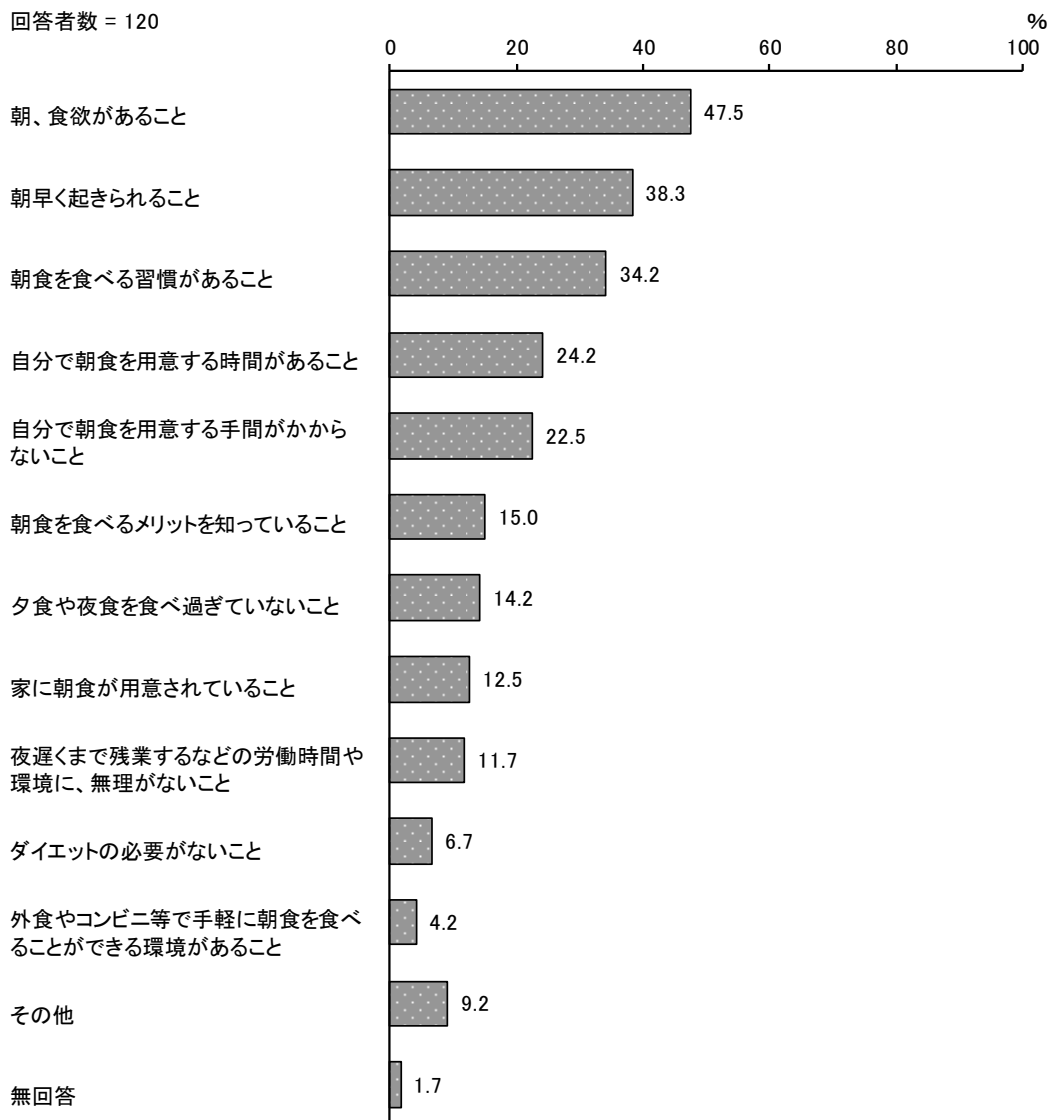
【家族構成別】

家族構成別で見ると、大きな差異はみられません。



問 13-② あなたが朝食をきちんと食べるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

「朝、食欲があること」の割合が 47.5%と最も高く、次いで「朝早く起きられること」の割合が 38.3%、「朝食を食べる習慣があること」の割合が 34.2%となっています。



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、20歳代で「朝早く起きられること」の割合が、50歳代で「夜遅くまで残業するなどの労働時間や環境に、無理がないこと」の割合が高くなっています。また、60～64歳で「朝、食欲があること」の割合が、70～74歳で「朝食を食べるメリットを知っていること」「夕食や夜食を食べ過ぎていないこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	朝、食欲があること	朝早く起きられること	朝食を食べる習慣があること	自分で朝食を用意する時間があること	自分で朝食を用意する手間がかからないこと	朝食を食べるメリットを知っていること	夕食や夜食を食べ過ぎていないこと	家に朝食が用意されていること	夜遅くまで残業するなどの労働時間や環境に、無理がないこと	ダイエットの必要がないこと	外食やコンビニ等で手軽に朝食を食べることができる環境があること	その他	無回答
20歳代	17	41.2	52.9	29.4	29.4	23.5	11.8	—	17.6	5.9	11.8	5.9	5.9	—
30歳代	13	23.1	38.5	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	—	7.7	—	7.7	15.4	—
40歳代	25	72.0	48.0	40.0	36.0	20.0	16.0	24.0	16.0	16.0	12.0	4.0	12.0	—
50歳代	27	37.0	29.6	37.0	33.3	37.0	14.8	18.5	18.5	22.2	11.1	7.4	7.4	—
60～64歳	14	78.6	28.6	28.6	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	—	—	—	7.1	7.1
65～69歳	5	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0	—	—	—	20.0	—	—	20.0	—
70～74歳	10	40.0	40.0	30.0	—	40.0	30.0	30.0	10.0	—	—	—	10.0	—
75歳以上	9	22.2	22.2	66.7	11.1	—	33.3	11.1	11.1	11.1	—	—	—	11.1

【朝食を食べる頻度別】

朝食を食べる頻度別でみると、他に比べ、週4～5日は食べているで「朝、食欲があること」「自分で朝食を用意する手間がかからないこと」「夕食や夜食を食べ過ぎていないこと」の割合が高くなっています。また、週2～3日は食べているで「朝早く起きられること」「自分で朝食を用意する時間があること」の割合が高くなっています。

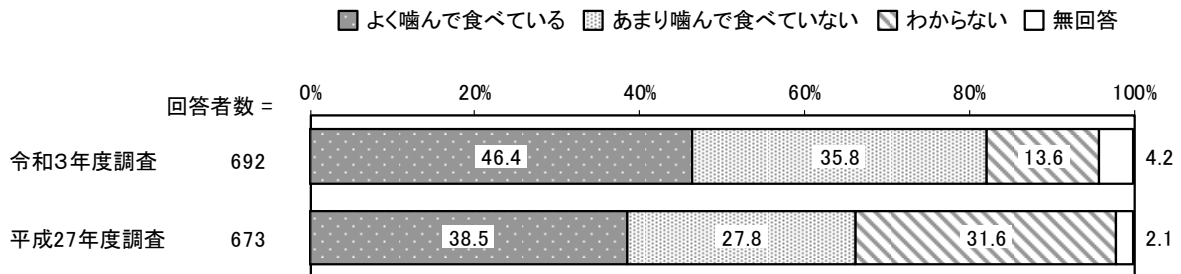
単位：％

区分	回答者数(件)	朝、食欲があること	朝早く起きられること	朝食を食べる習慣があること	自分で朝食を用意する時間があること	自分で朝食を用意する手間がかからないこと	朝食を食べるメリットを知っていること	夕食や夜食を食べ過ぎていないこと	家に朝食が用意されていること	夜遅くまで残業するなどの労働時間や環境に、無理がないこと	ダイエットの必要がないこと	外食やコンビニ等で手軽に朝食を食べることができる環境があること	その他	無回答
週6日以上は食べている	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
週4～5日は食べている	49	59.2	34.7	38.8	22.4	26.5	18.4	20.4	14.3	12.2	2.0	4.1	2.0	2.0
週2～3日は食べている	29	34.5	44.8	17.2	31.0	20.7	13.8	13.8	6.9	6.9	6.9	10.3	17.2	—
ほとんど食べていない	42	42.9	38.1	40.5	21.4	19.0	11.9	7.1	14.3	14.3	11.9	—	11.9	2.4

問 14 あなたは、食事の時によく噛んで食べていますか。(○は1つ)

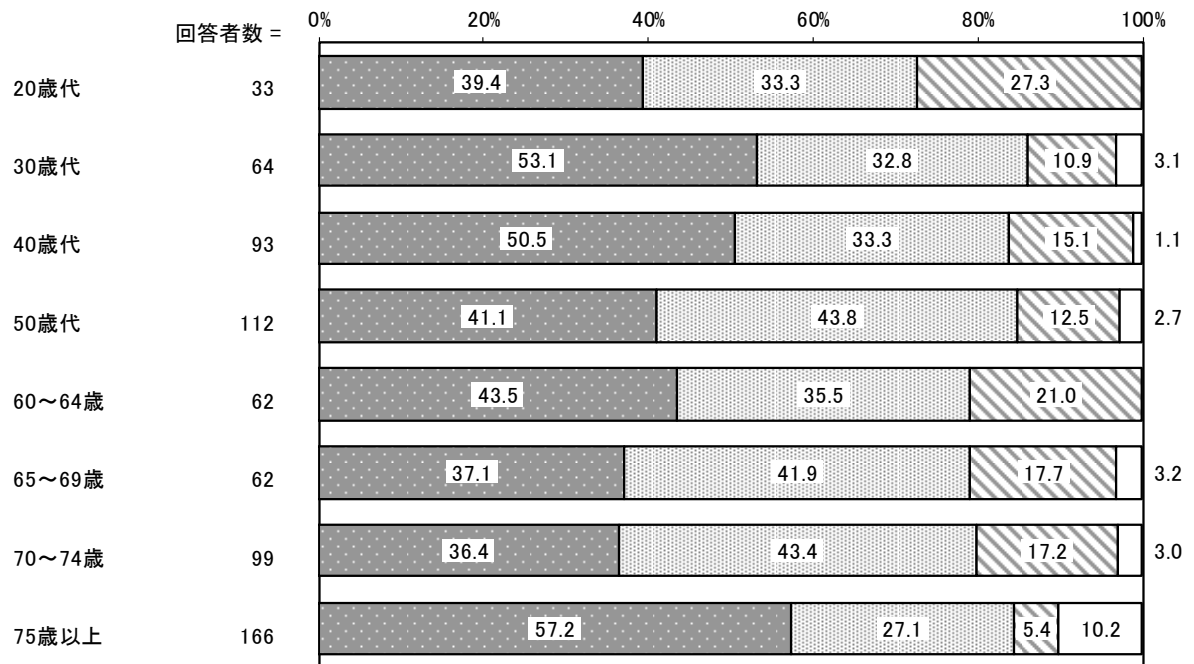
「よく噛んで食べている」の割合が46.4%と最も高く、次いで「あまり噛んで食べていない」の割合が35.8%、「わからない」の割合が13.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「わからない」の割合が減少しています。



【年齢別】

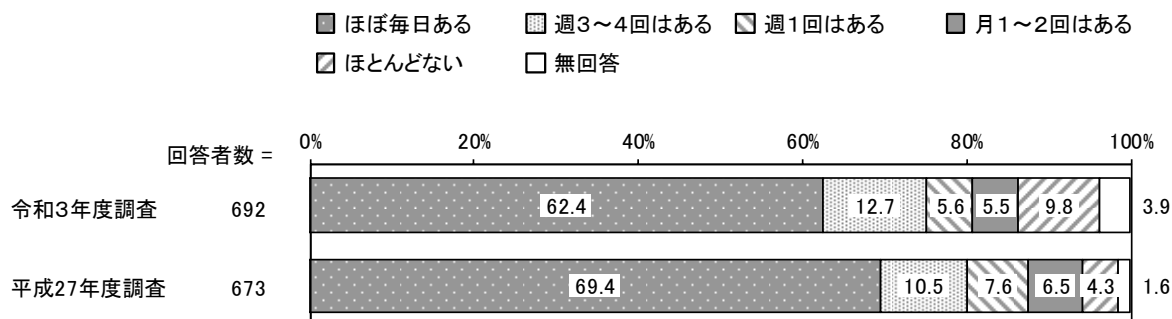
年齢別でみると、大きな差異はみられません。



問 15-① あなたは、家族や友人と食卓を囲む機会がありますか。(〇は1つ)

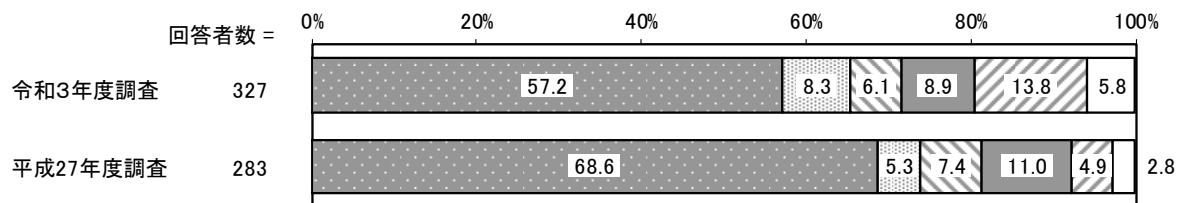
「ほぼ毎日ある」の割合が62.4%と最も高く、次いで「週3～4回はある」の割合が12.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「ほとんどない」の割合が増加しています。



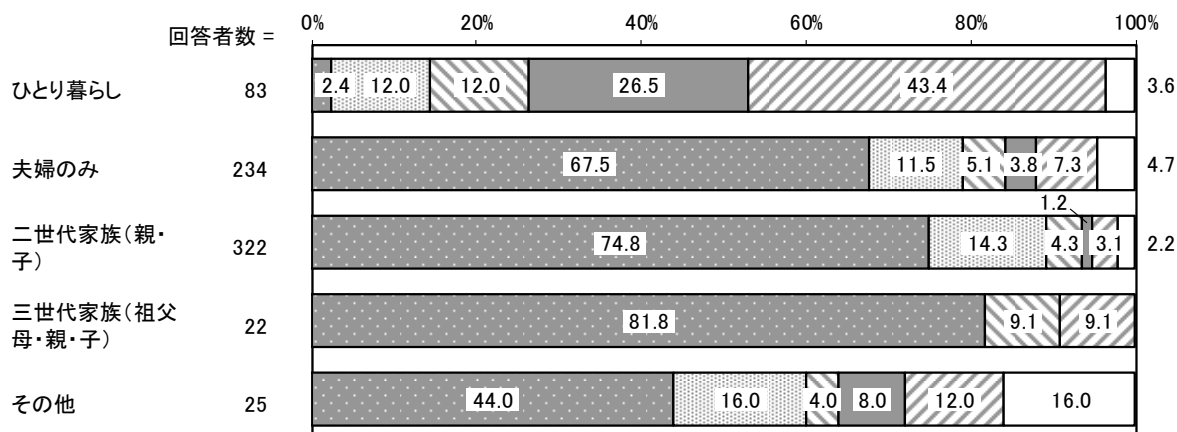
【年齢別（65歳以上）の前回調査との比較】

平成27年度調査と比較すると、「ほぼ毎日ある」の割合が減少しています。



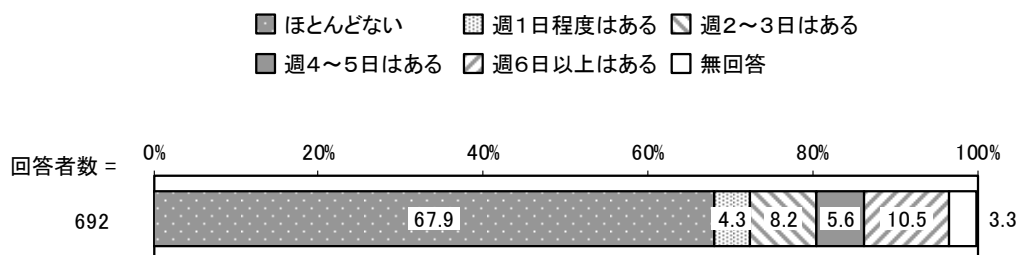
【家族構成別】

家族構成別で見ると、他に比べ、三世代家族（祖父母・親・子）で「ほぼ毎日ある」の割合が高くなっています。また、ひとり暮らしで「ほとんどない」の割合が高くなっています。



問 15-② あなたは、1日の全ての食事を一人で食べることがありますか。
(○は1つ)

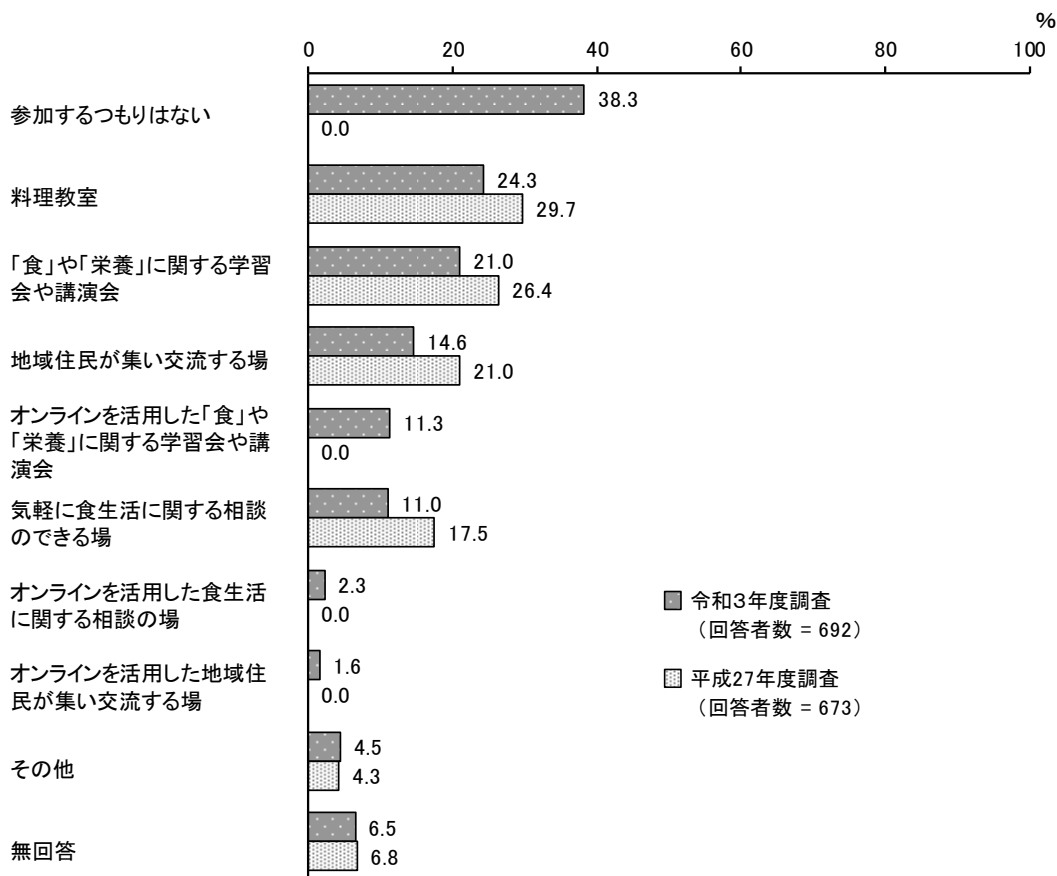
「ほとんどない」の割合が67.9%と最も高く、次いで「週6日以上はある」の割合が10.5%となっています。



問 16 地域の中で機会があれば参加したいものは何ですか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

「参加するつもりはない」の割合が38.3%と最も高く、次いで「料理教室」の割合が24.3%、「食」や「栄養」に関する学習会や講演会」の割合が21.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「気軽に食生活に関する相談のできる場」「地域住民が集い交流する場」「食」や「栄養」に関する学習会や講演会」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、男性に比べ、女性で「料理教室」の割合が高くなっています。また、女性に比べ、男性で「参加するつもりはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	料理教室	「食」や「栄養」に関する学習会や講演会	地域住民が集い交流する場	オンラインを活用した「食」や「栄養」に関する学習会や講演会	気軽に食生活に関する相談のできる場	オンラインを活用した食生活に関する相談の場	オンラインを活用した地域住民が集い交流する場	参加するつもりはない	その他	無回答
女	415	26.5	21.9	14.5	11.3	12.0	2.2	1.0	35.7	4.1	6.0
男	271	21.4	19.9	14.8	11.4	9.6	2.2	2.6	42.4	5.2	6.6

【年齢別（3区分）】

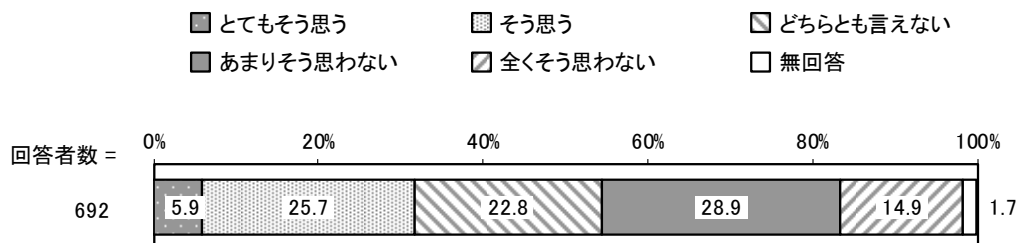
年齢別（3区分）でみると、他に比べ、40～64歳で「食」や「栄養」に関する学習会や講演会「オンラインを活用した「食」や「栄養」に関する学習会や講演会」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「地域住民が集い交流する場」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	料理教室	「食」や「栄養」に関する学習会や講演会	地域住民が集い交流する場	オンラインを活用した「食」や「栄養」に関する学習会や講演会	気軽に食生活に関する相談のできる場	オンラインを活用した食生活に関する相談の場	オンラインを活用した地域住民が集い交流する場	参加するつもりはない	その他	無回答
20～39歳	97	35.1	15.5	5.2	13.4	8.2	3.1	—	42.3	2.1	1.0
40～64歳	267	32.2	25.1	12.0	18.7	12.7	3.0	1.5	36.0	4.5	3.0
65歳以上	327	14.7	19.3	19.6	4.6	10.4	1.5	2.1	39.1	5.2	10.7

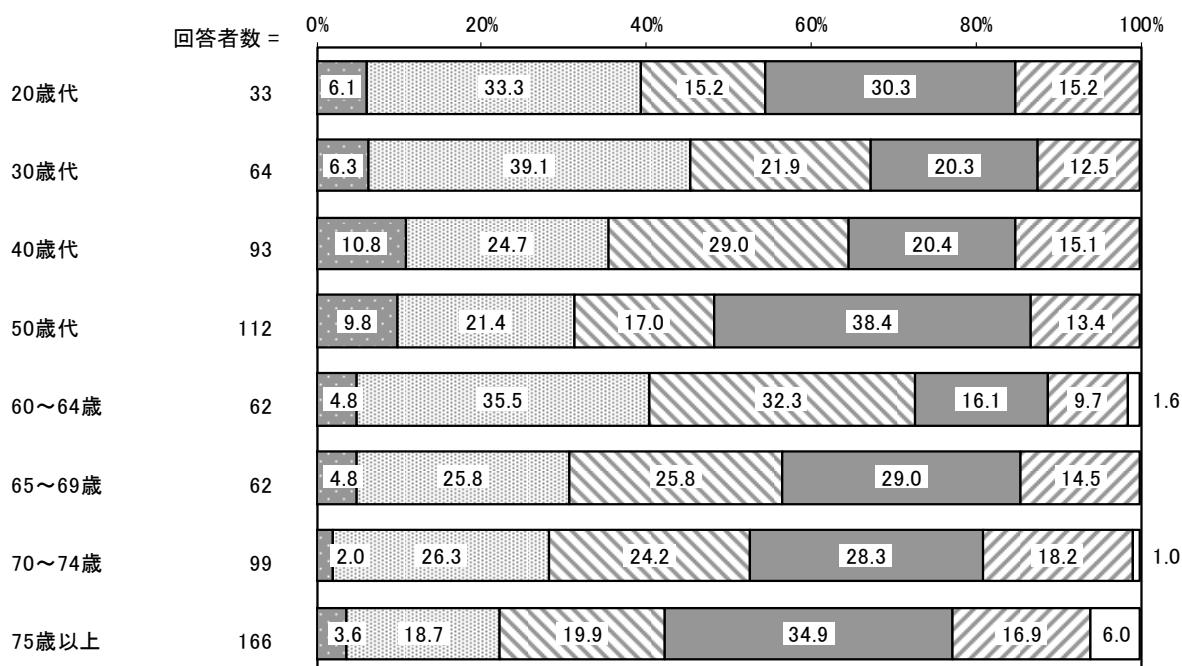
問 17 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が十分にとられているという前提でお伺いします。あなたは、地域や所属コミュニティ（職場等含む）での食事会等の機会があれば、参加したいと思いませんか。（〇は1つ）

「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた“思う”の割合が31.6%、「あまりそう思わない」と「全くそう思わない」を合わせた“思わない”の割合が43.8%となっています。また、「どちらとも言えない」の割合が22.8%となっています。



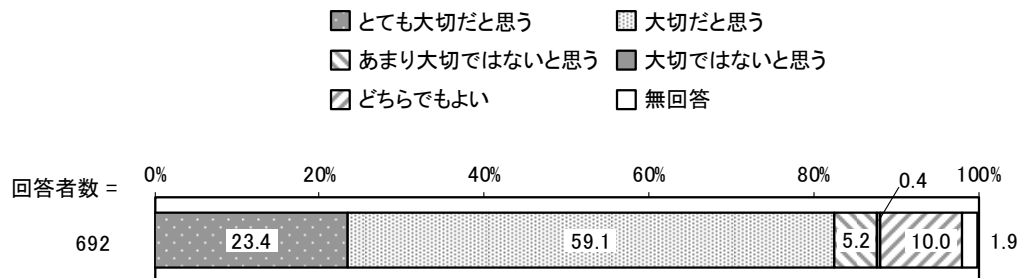
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30歳代で“思う”の割合が高くなっています。



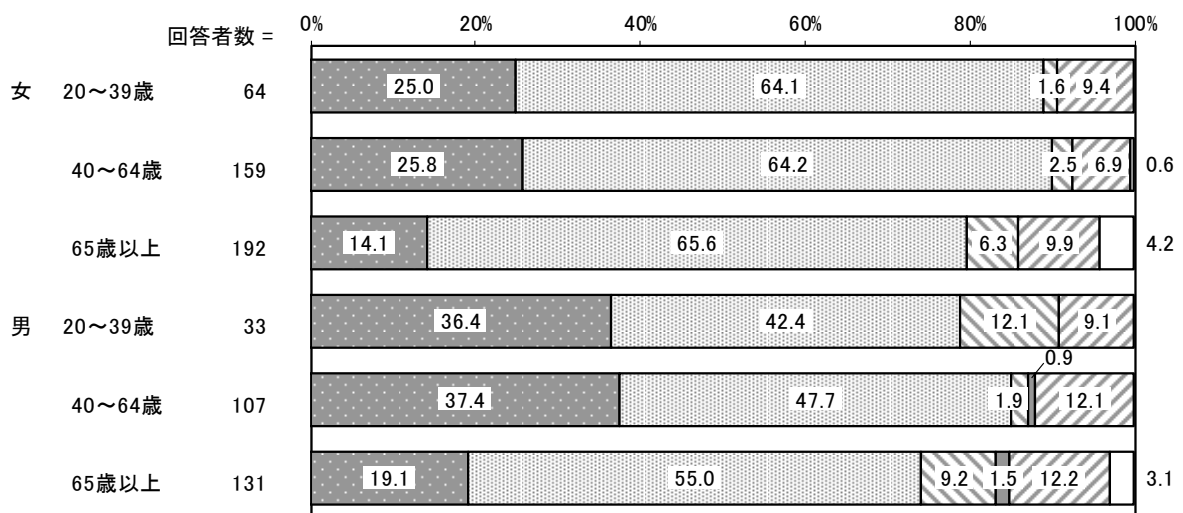
問 18-① あなたは、家庭や地域で受け継がれてきた伝統料理（行事食等）を次世代へ伝えていくことは大切だと思いますか。（○は1つ）

「とても大切だと思う」と「大切だと思う」を合わせた“大切だと思う”の割合が82.5%、「あまり大切ではないと思う」と「大切ではないと思う」を合わせた“大切ではないと思う”の割合が5.6%となっています。また、「どちらでもよい」の割合が10.0%となっています。



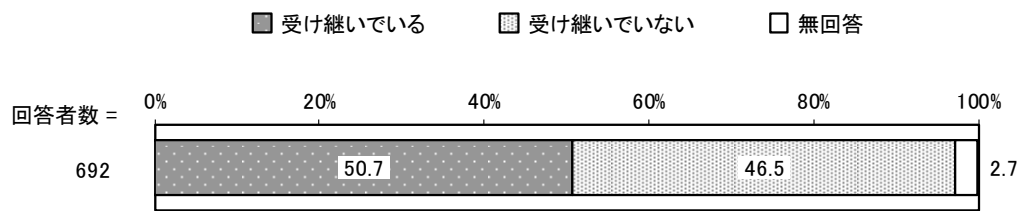
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の20～39歳、65歳以上で“大切ではないと思う”の割合が高くなっています。



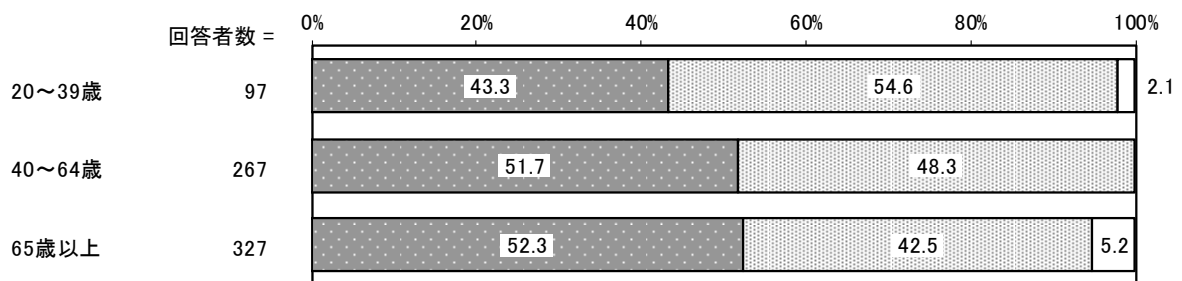
問 18-② あなたは、家庭や地域で受け継がれてきた伝統料理（行事食等）を受け継いでいますか。（○は1つ）

「受け継いでいる」の割合が 50.7%、「受け継いでいない」の割合が 46.5%となっています。



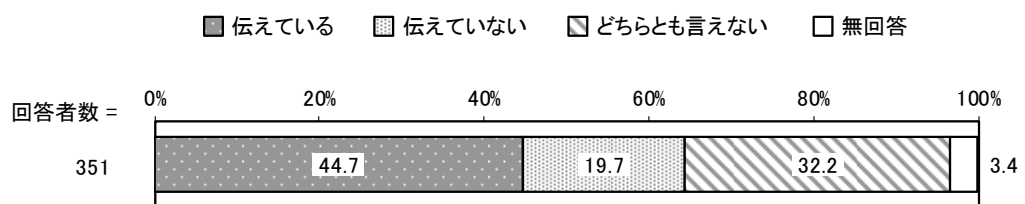
【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～39歳で「受け継いでいない」の割合が高くなっています。



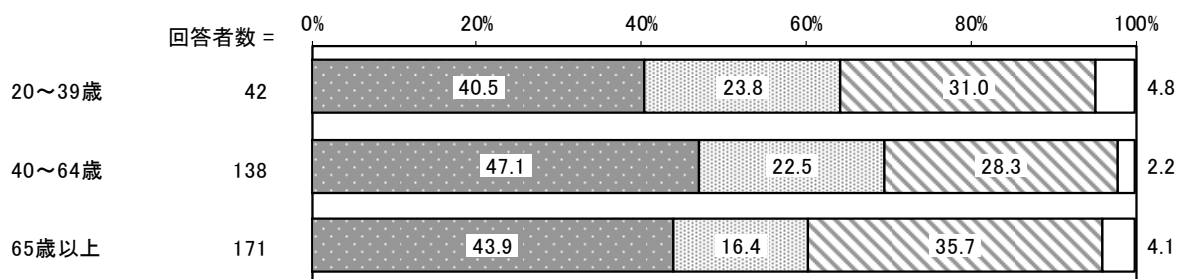
問 18-③ あなたは、家庭や地域で受け継がれてきた伝統料理（行事食等）を次世代（子どもやお孫さんを含む）や地域に対し伝えていきますか。（○は1つ）

「伝えている」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「どちらとも言えない」の割合が 32.2%、「伝えていない」の割合が 19.7%となっています。



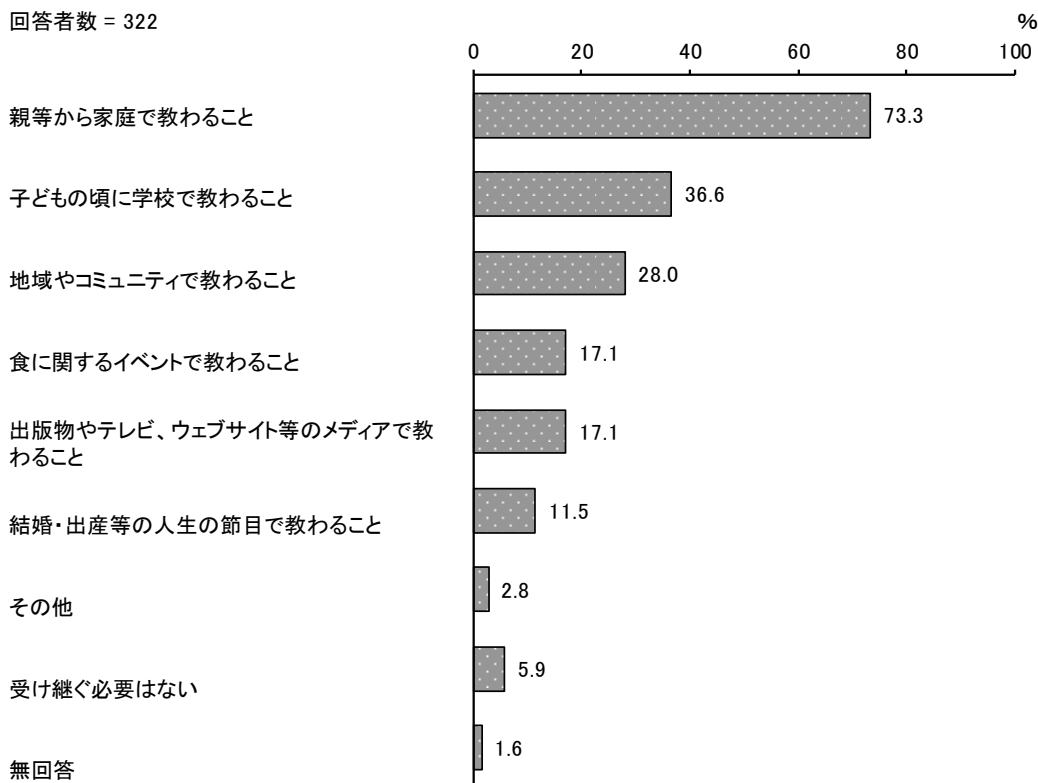
【年齢別】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。



問 18-④ あなたが、家庭や地域で受け継がれてきた伝統料理（行事食等）を受け継ぐには、どのようなことが必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○をつけてください）

「親等から家庭で教わること」の割合が73.3%と最も高く、次いで「子どもの頃に学校で教わること」の割合が36.6%、「地域やコミュニティで教わること」の割合が28.0%となっています。



【年齢別】

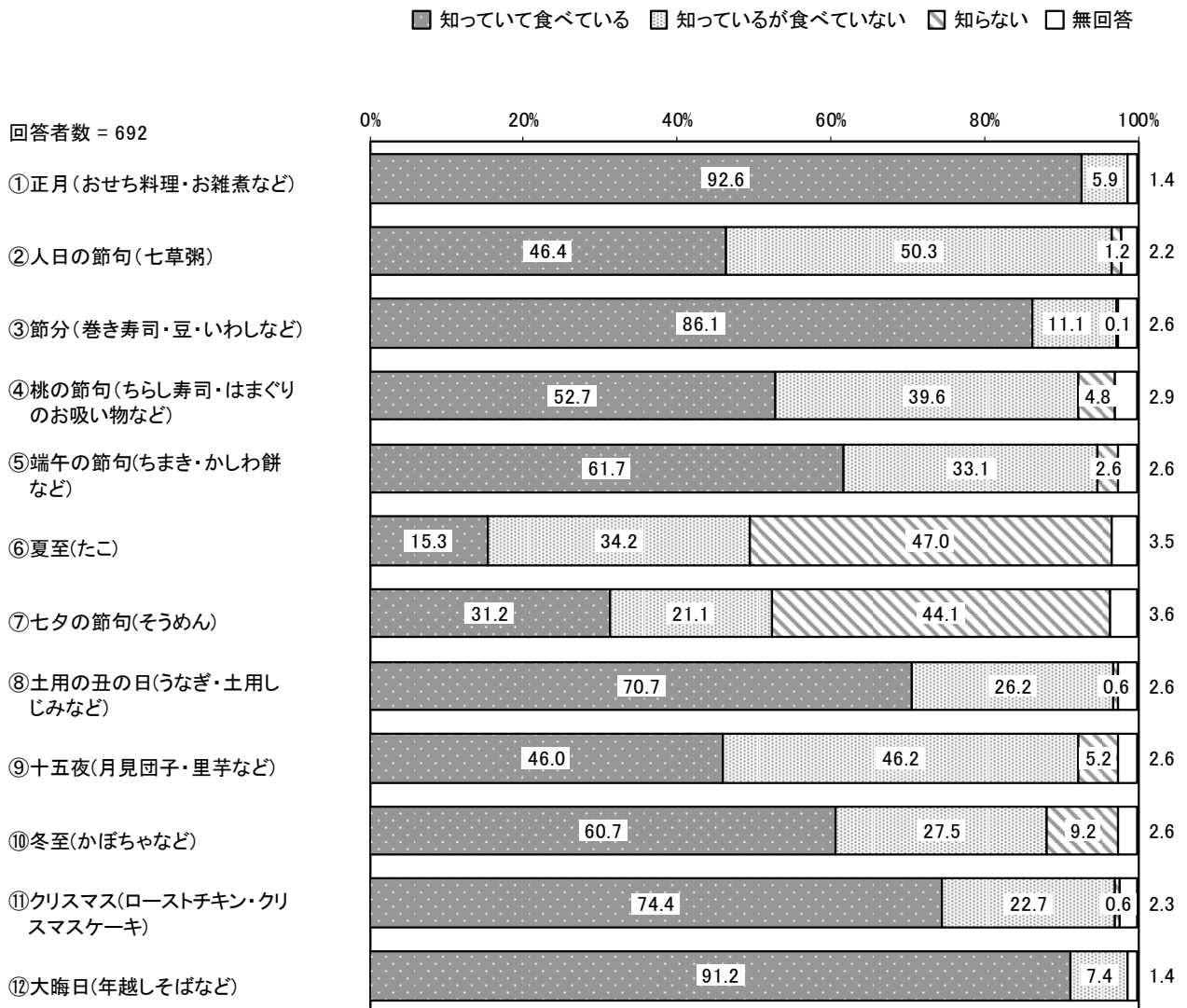
年齢別でみると、他に比べ、20～39歳で「親等から家庭で教わること」「結婚・出産等の人生の節目で教わること」の割合が高くなっています。また、40～64歳で「地域やコミュニティで教わること」「食に関するイベントで教わること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	親等から家庭で教わること	子どもの頃に学校で教わること	地域やコミュニティで教わること	食に関するイベントで教わること	出版物やテレビ、ウェブサイト等のメディアで教わること	結婚・出産等の人生の節目で教わること	その他	受け継ぐ必要はない	無回答
20～39歳	53	84.9	49.1	20.8	11.3	13.2	20.8	—	3.8	3.8
40～64歳	129	69.8	48.1	38.0	25.6	18.6	8.5	4.7	4.7	0.8
65歳以上	139	71.9	21.6	21.6	11.5	17.3	10.8	2.2	7.9	1.4

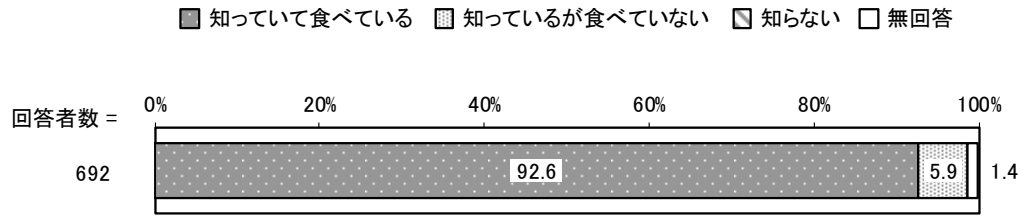
問 19 あなたは、次の行事の伝統料理を知っていますか。また、食べていますか。下記の各行事についてお答えください。
 (①～⑫の行事ごとに、それぞれ〇を1つけてください)

他に比べ、『①正月（おせち料理・お雑煮など）』『⑫大晦日（年越しそばなど）』で「知っている食べている」の割合が高くなっています。



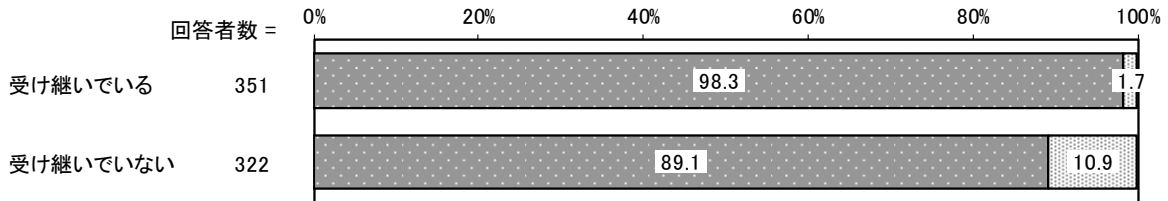
①正月（おせち料理・お雑煮など）

「知っている食べている」の割合が92.6%と最も高くなっています。



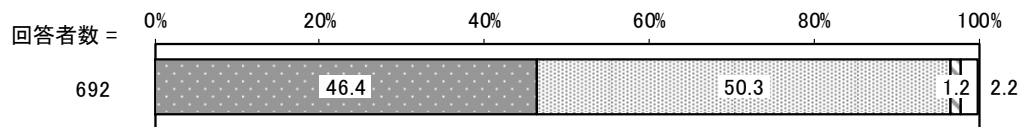
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。



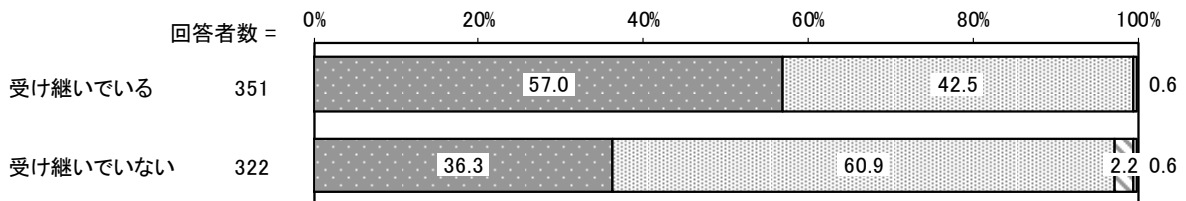
②人日の節句（七草粥）

「知っているが食べていない」の割合が50.3%と最も高く、次いで「知っている食べている」の割合が46.4%となっています。



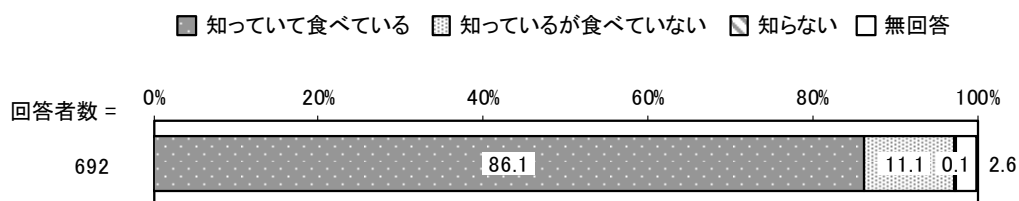
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。



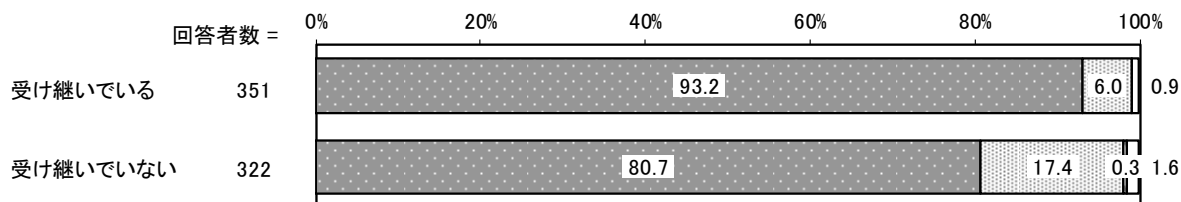
③節分（巻き寿司・豆・いわしなど）

「知っていて食べている」の割合が 86.1%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 11.1%となっています。



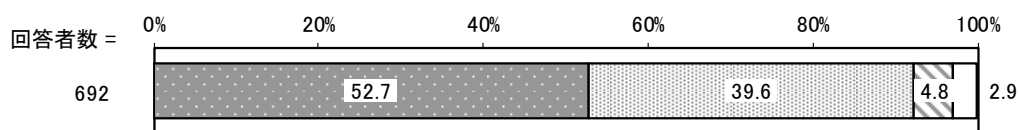
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っていて食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。



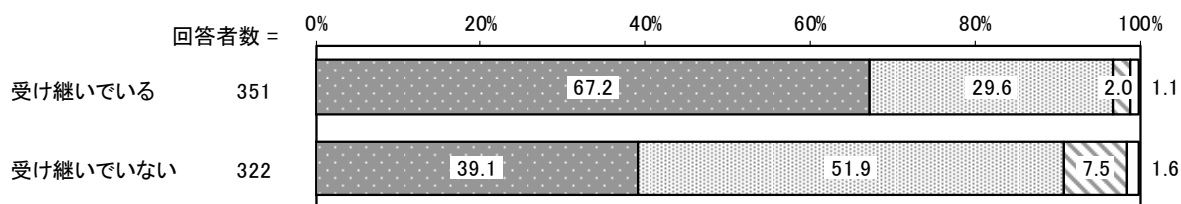
④桃の節句（ちらし寿司・はまぐりのお吸い物など）

「知っていて食べている」の割合が 52.7%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 39.6%となっています。



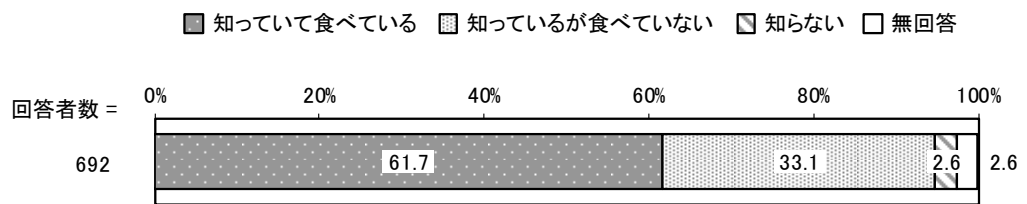
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っていて食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」「知らない」の割合が高くなっています。



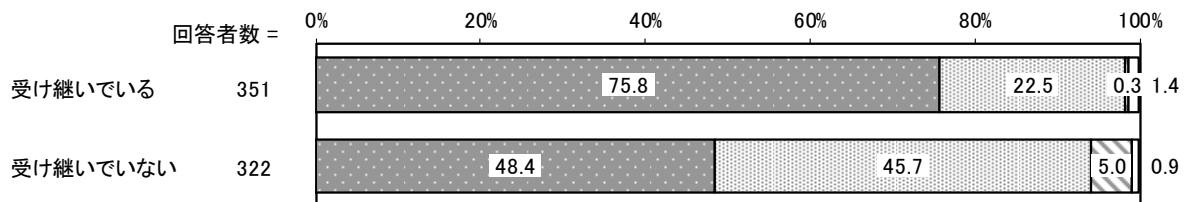
⑤端午の節句（ちまき・かしわ餅など）

「知っている食べている」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 33.1%となっています。



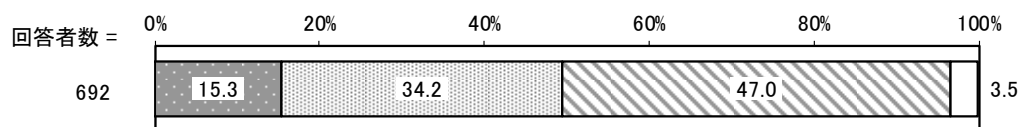
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。



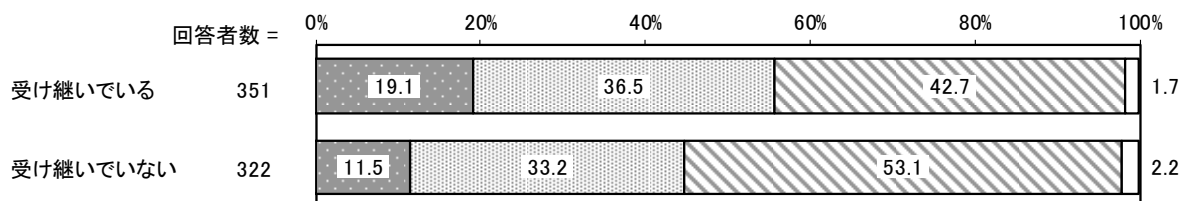
⑥夏至（たこ）

「知らない」の割合が 47.0%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が 34.2%、「知っている食べている」の割合が 15.3%となっています。



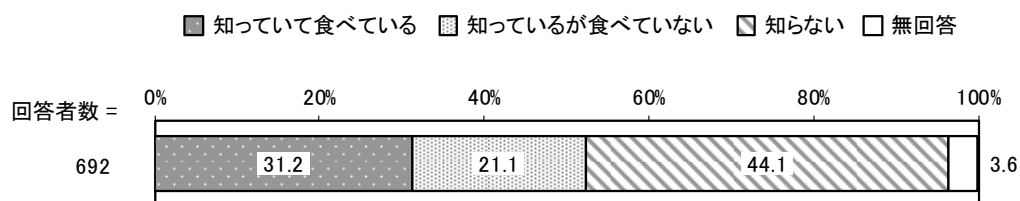
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知らない」の割合が高くなっています。



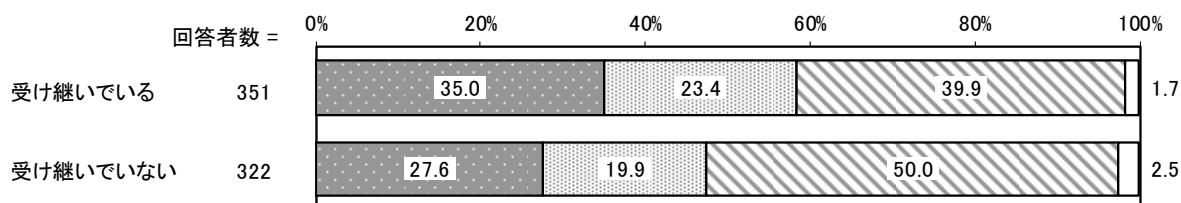
⑦七夕の節句（そうめん）

「知らない」の割合が44.1%と最も高く、次いで「知っていて食べている」の割合が31.2%、「知っているが食べていない」の割合が21.1%となっています。



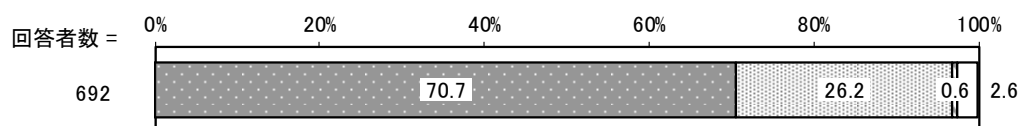
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っていて食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知らない」の割合が高くなっています。



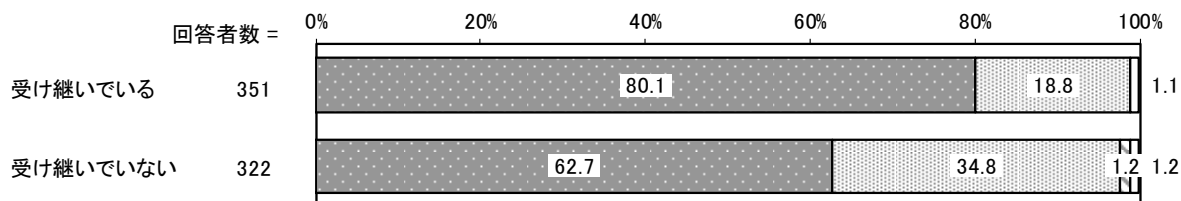
⑧土用の丑の日（うなぎ・土用しじみなど）

「知っていて食べている」の割合が70.7%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が26.2%となっています。



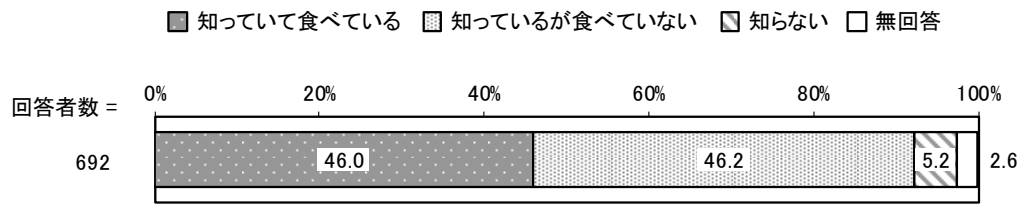
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っていて食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。



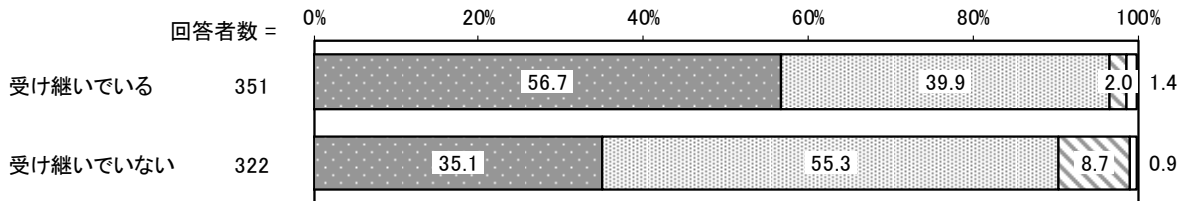
⑨十五夜（月見団子・里芋など）

「知っているが食べていない」の割合が46.2%と最も高く、次いで「知っているが食べている」の割合が46.0%となっています。



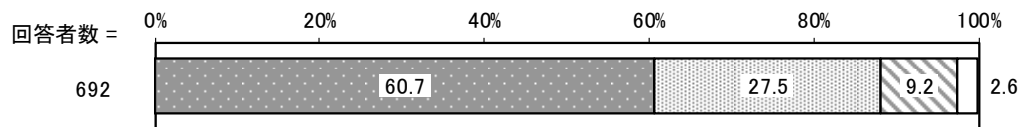
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っているが食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」「知らない」の割合が高くなっています。



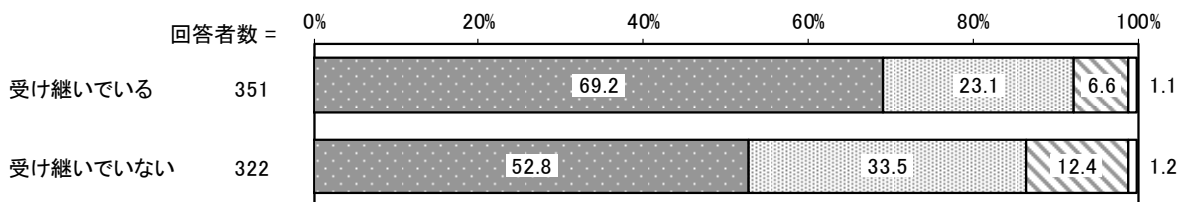
⑩冬至（かぼちゃなど）

「知っているが食べている」の割合が60.7%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が27.5%となっています。



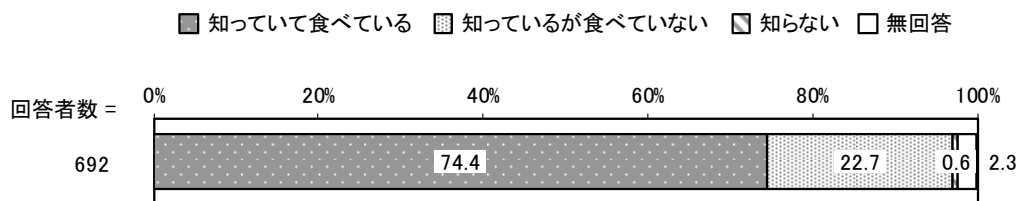
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っているが食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」「知らない」の割合が高くなっています。



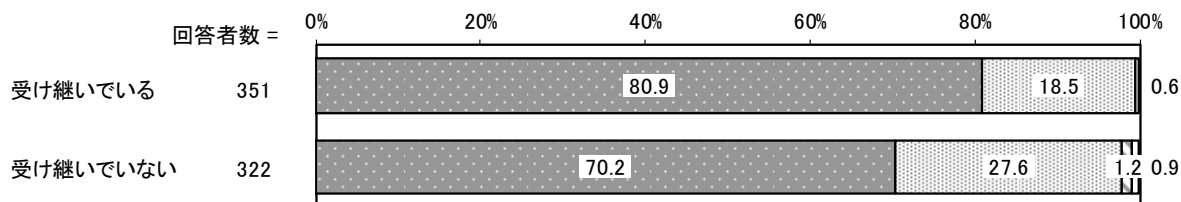
⑪クリスマス（ローストチキン・クリスマスケーキ）

「知っている食べている」の割合が74.4%と最も高く、次いで「知っているが食べていない」の割合が22.7%となっています。



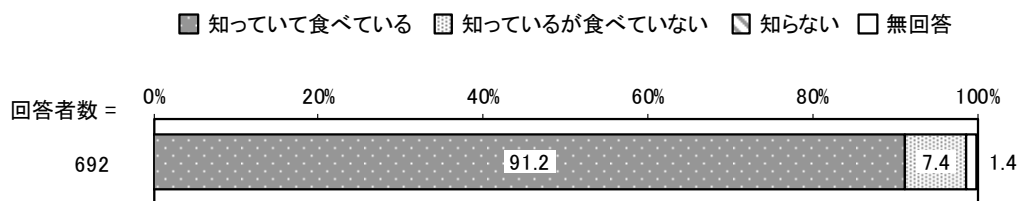
【伝統料理を受け継いでいるか別】

伝統料理を受け継いでいるか別でみると、受け継いでいないに比べ、受け継いでいるで「知っている食べている」の割合が高くなっています。また、受け継いでいるに比べ、受け継いでいないで「知っているが食べていない」の割合が高くなっています。



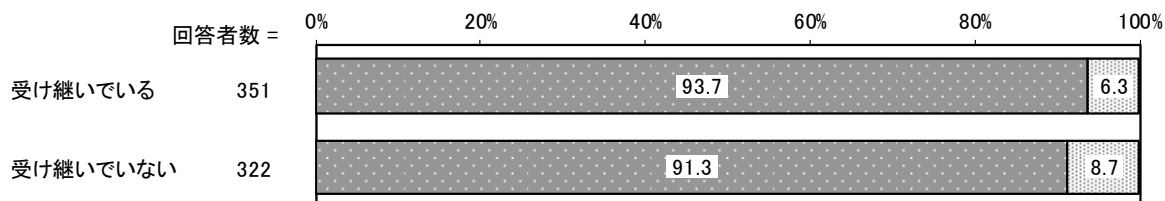
⑫大晦日（年越しそばなど）

「知っている食べている」の割合が91.2%と最も高くなっています。



【伝統料理を受け継いでいるか別】

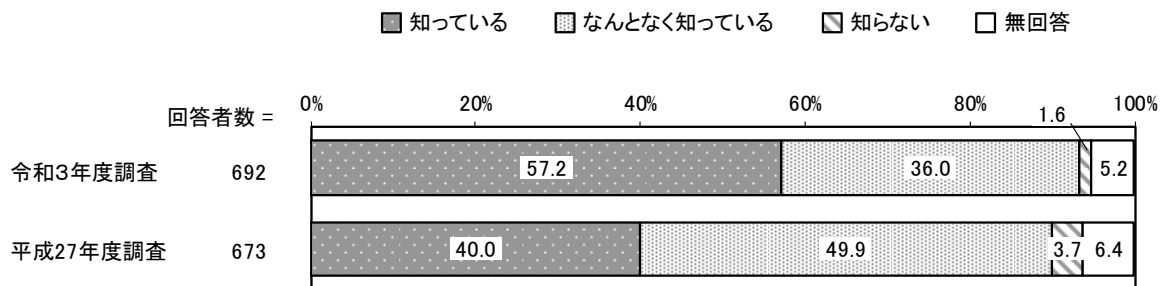
伝統料理を受け継いでいるか別でみると、大きな差異はみられません。



問 20-① あなたは、食に関するマナー（手洗い・食べる時の姿勢・食具の持ち方や使い方等）を知っていますか。（○は1つ）

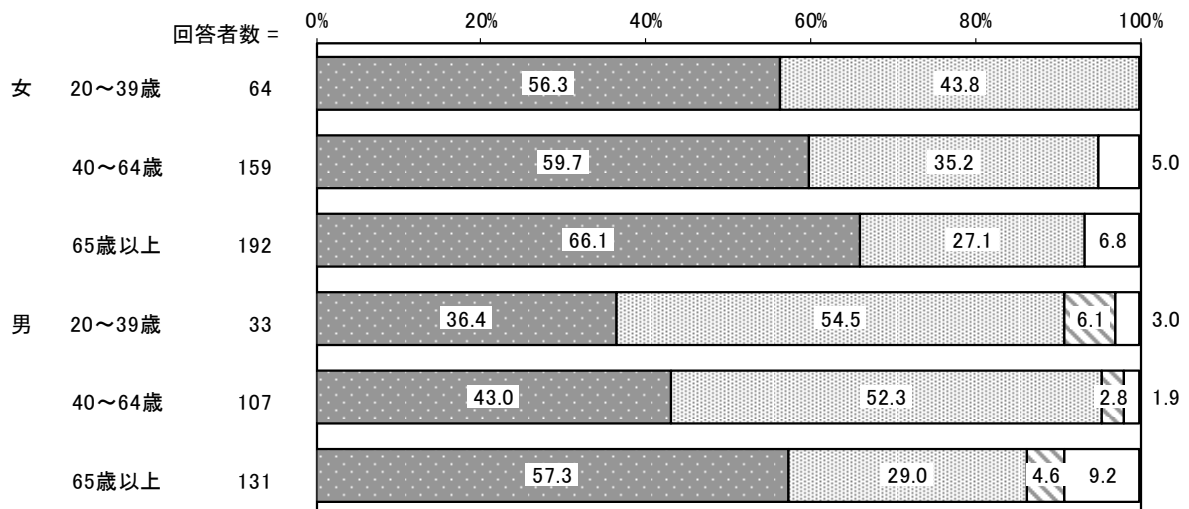
「知っている」の割合が 57.2%と最も高く、次いで「なんとなく知っている」の割合が 36.0%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



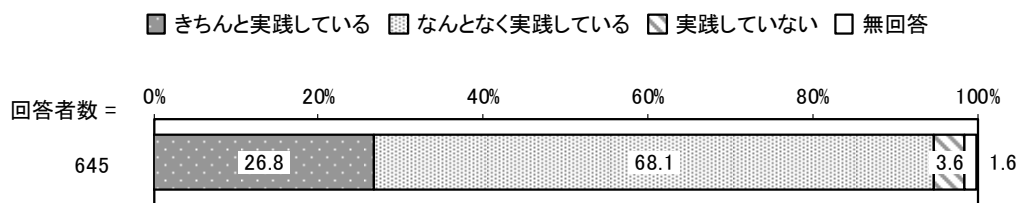
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の 65 歳以上で「知っている」の割合が高くなっています。



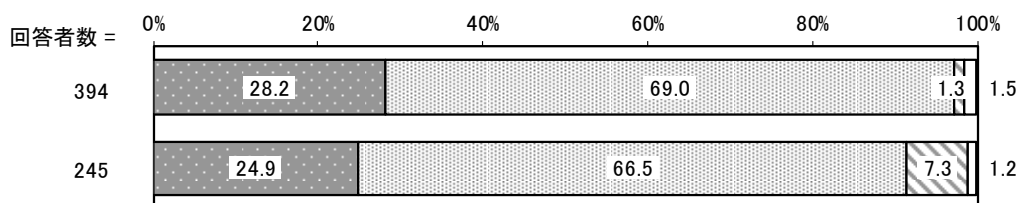
問 20-② あなたは、食に関するマナーを実践していますか。(○は1つ)

「なんとなく実践している」の割合が 68.1%と最も高く、次いで「きちんと実践している」の割合が 26.8%となっています。



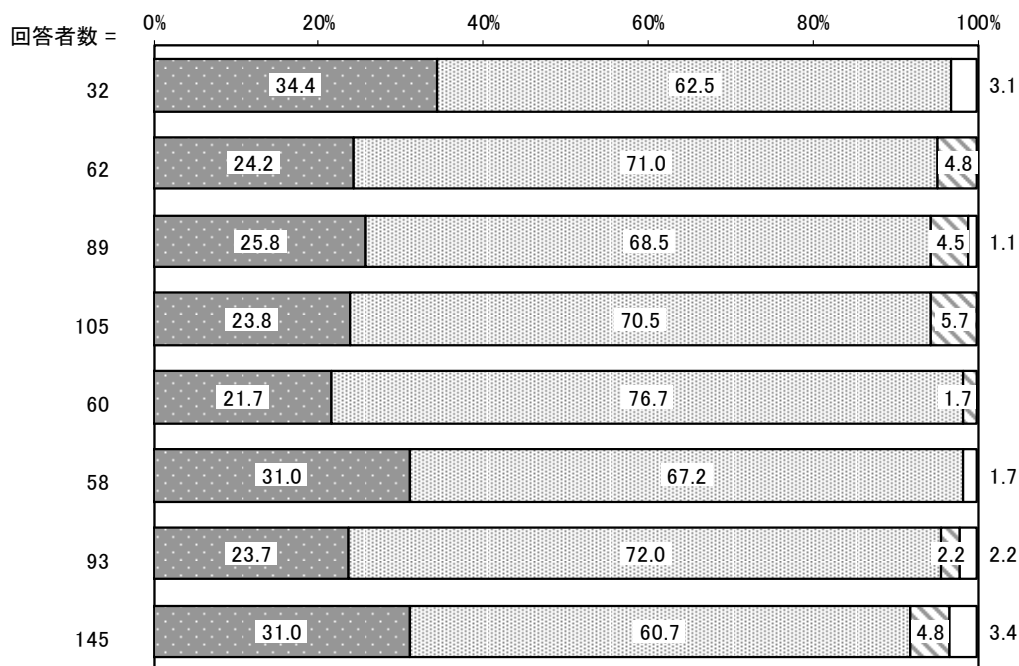
【性別】

性別でみると、女性に比べ、男性で「実践していない」の割合が高くなっています。



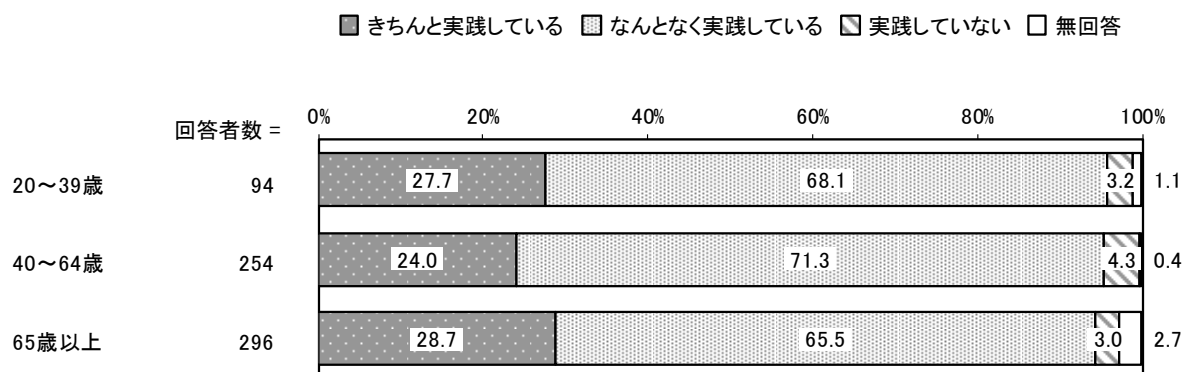
【年齢別】

年齢別でみると、20歳代で「きちんと実践している」の割合が高くなっています。



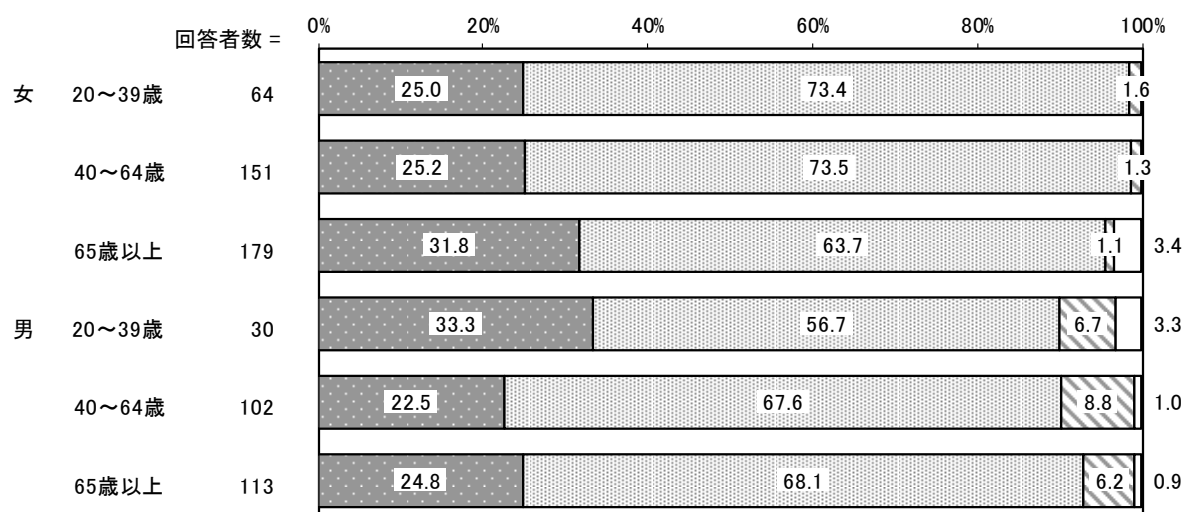
【年齢別（3区分）】

年齢別（3区分）でみると、大きな差異はみられません。



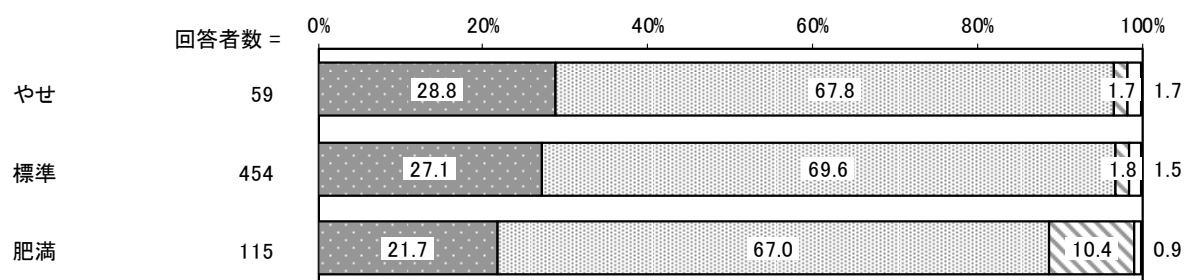
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の20~39歳で「きちんと実践している」の割合が高くなっています。



【BMI別】

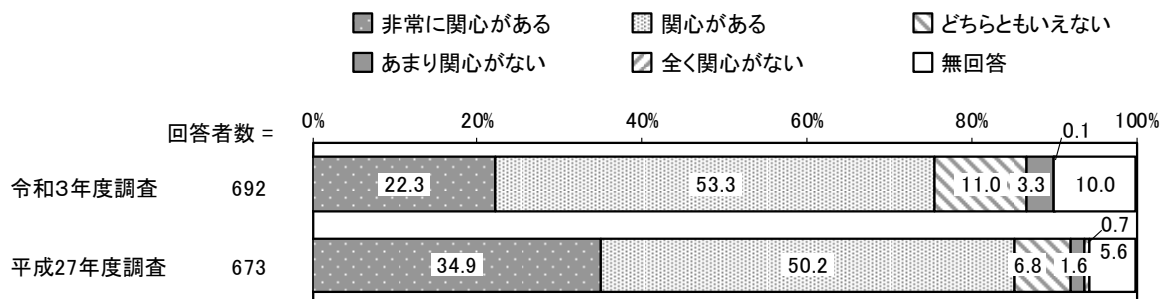
BMI別でみると、他に比べ、肥満で「実践していない」の割合が高くなっています。



問 21 あなたは、食の安全に関心がありますか。(○は1つ)

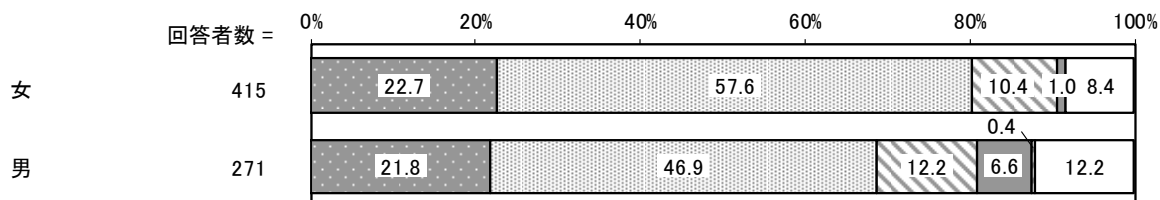
「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせた“関心がある”の割合が75.6%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた“関心がない”の割合が3.4%、「どちらともいえない」の割合が11.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“関心がある”の割合が減少しています。



【性別】

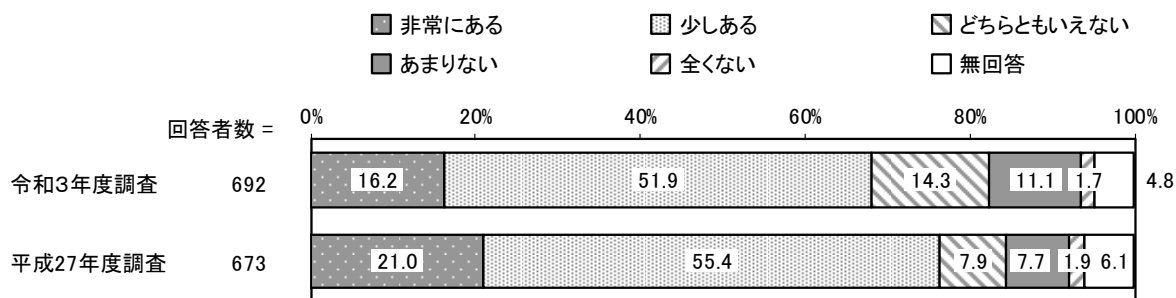
性別でみると、男性に比べ、女性で“関心がある”の割合が高くなっています。



問 22-① あなたは、食の安全に対して不安がありますか。(○は1つ)

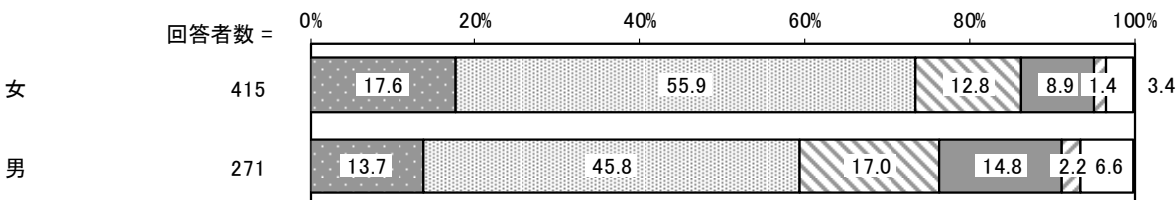
「非常にある」と「少しある」を合わせた“ある”の割合が68.1%、「あまりない」と「全くない」を合わせた“ない”の割合が12.8%、「どちらともいえない」の割合が14.3%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“ある”の割合が減少しています。



【性別】

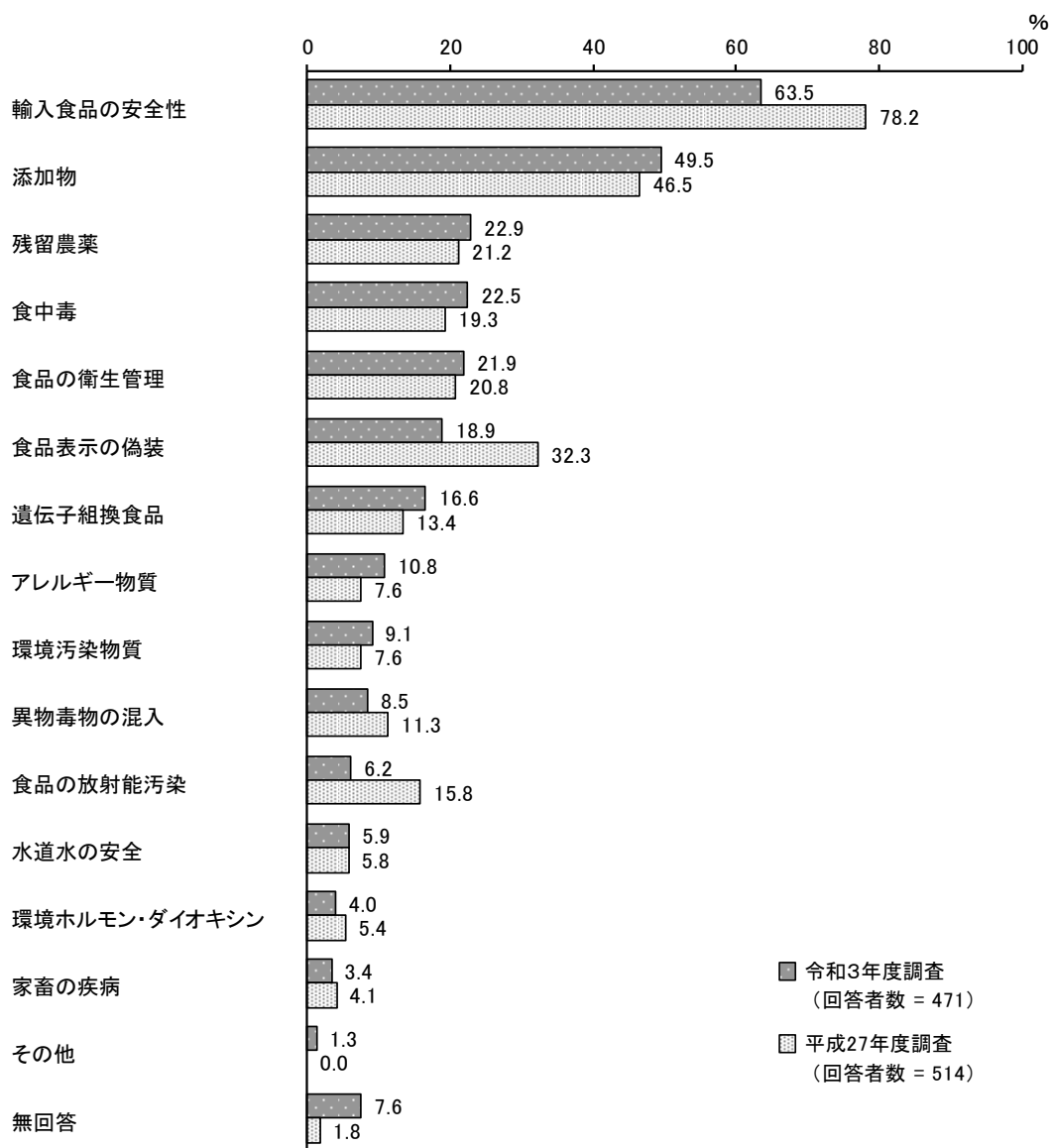
性別でみると、男性に比べ、女性で“ある”の割合が高くなっています。



問 22-② 食の安全に対して具体的にどのような不安がありますか。
 (不安があるものに3 つまで○をつけてください)

「輸入食品の安全性」の割合が63.5%と最も高く、次いで「添加物」の割合が49.5%、「残留農薬」の割合が22.9%となっています。

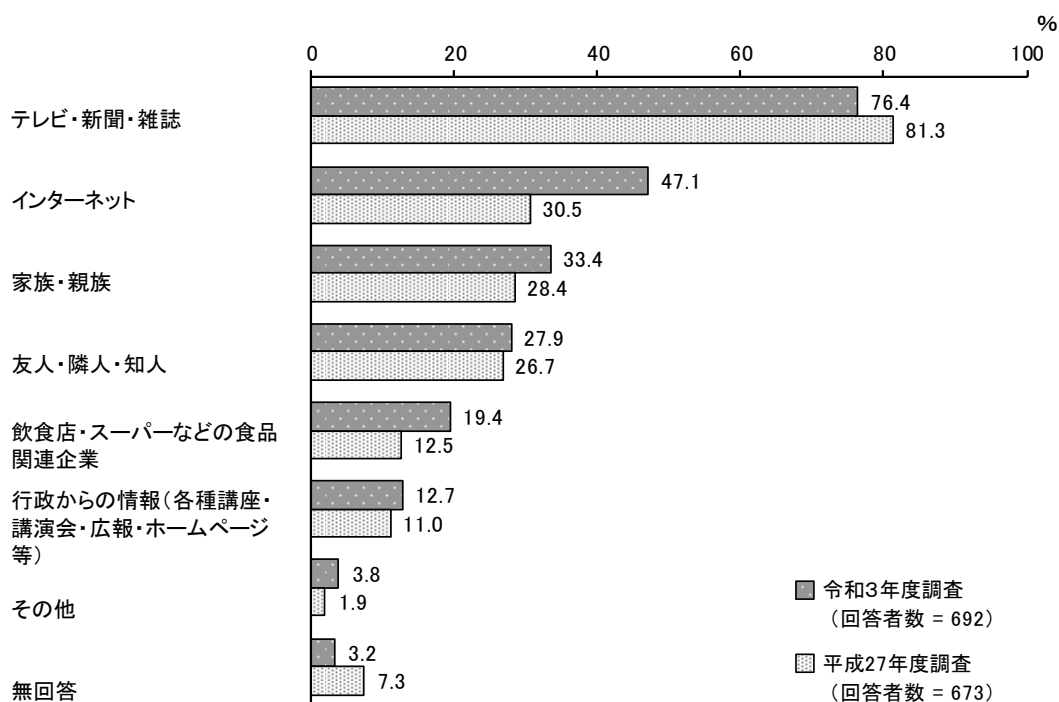
平成27年度調査と比較すると、「輸入食品の安全性」「食品表示の偽装」「食品の放射能汚染」の割合が減少しています。



問 23 あなたは、日頃、食品表示など食に関する知識や情報をどこで入手していますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

「テレビ・新聞・雑誌」の割合が 76.4%と最も高く、次いで「インターネット」の割合が 47.1%、「家族・親族」の割合が 33.4%となっています。

平成 27 年度調査と比較すると、「インターネット」の割合が増加しています。



【年齢別（3区分）】

年齢別（3区分）で見ると、他に比べ、20～39歳で「インターネット」「家族・親族」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「テレビ・新聞・雑誌」「行政からの情報（各種講座・講演会・広報・ホームページ等）」の割合が高くなっています。

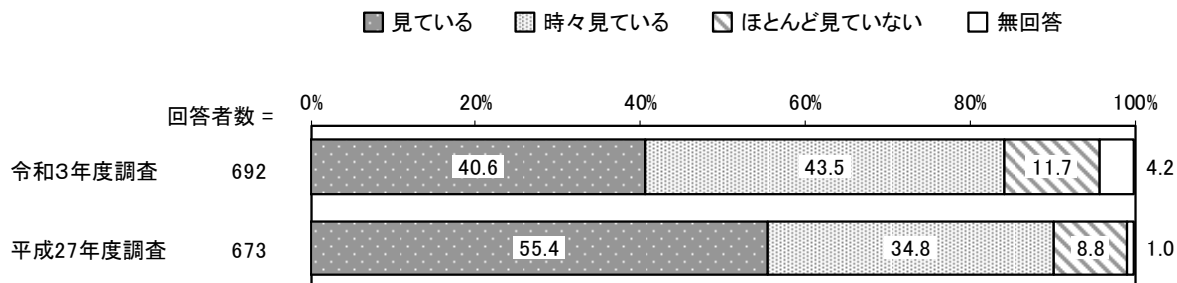
単位：%

区分	回答者数(件)	テレビ・新聞・雑誌	インターネット	家族・親族	友人・隣人・知人	飲食店・スーパーなどの食品関連企業	行政からの情報(各種講座・講演会・広報・ホームページ等)	その他 具体的にお書きください	無回答
20～39歳	97	56.7	71.1	42.3	17.5	12.4	4.1	4.1	3.1
40～64歳	267	75.3	65.5	31.8	27.0	20.6	8.2	3.7	2.6
65歳以上	327	83.2	25.1	32.1	31.8	20.5	19.0	3.7	3.7

問 24-① 食品を購入する際、食品表示を見ていますか。(〇は1つ)

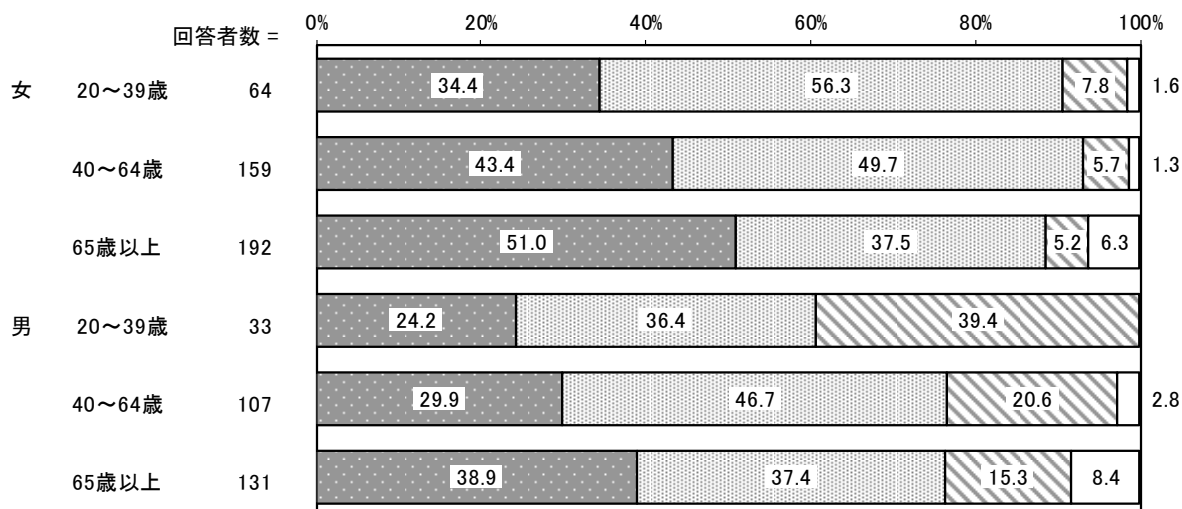
「見ている」と「時々見ている」を合わせた“見ている”の割合が84.1%となっています。また、「ほとんど見ていない」の割合が11.7%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“見ている”の割合が減少しています。



【性・年齢別】

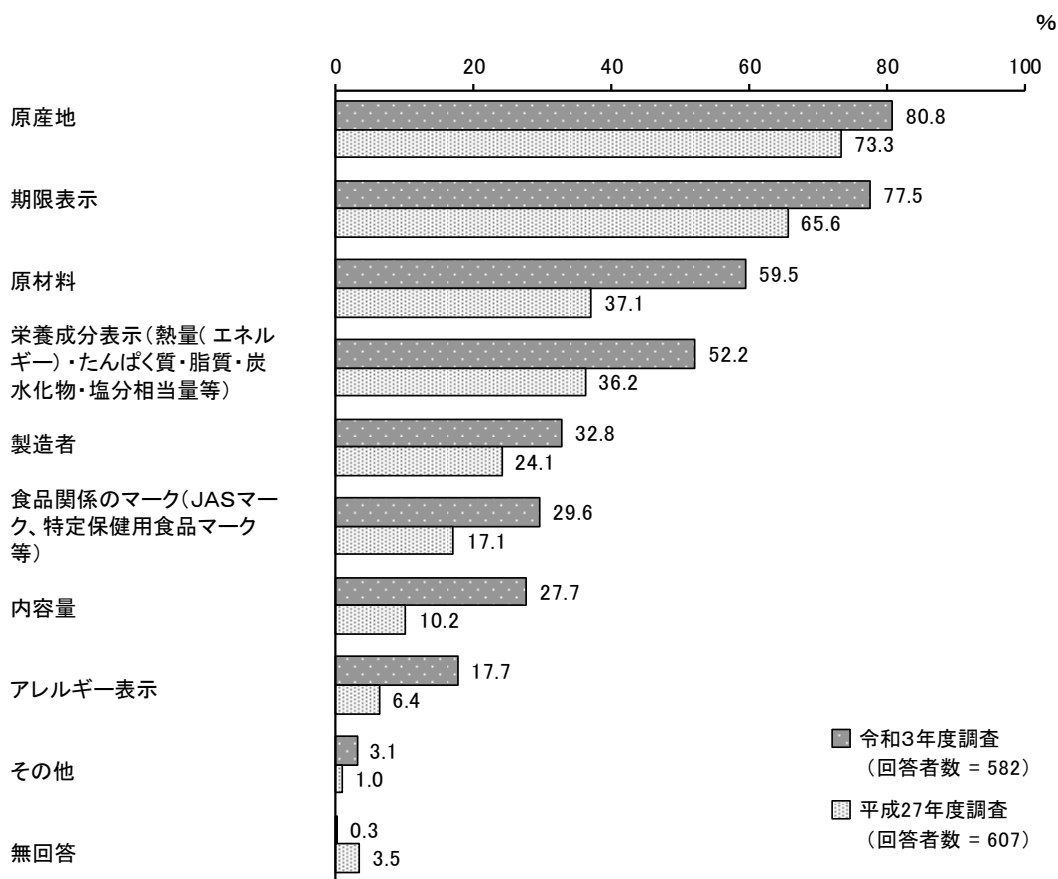
性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の20～39歳で「時々見ている」の割合が、65歳以上で「見ている」の割合が高くなっています。また、男性の20～39歳で「ほとんど見ていない」の割合が高くなっています。



問 24-② どの表示を見て購入しますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

「原産地」の割合が80.8%と最も高く、次いで「期限表示」の割合が77.5%、「原材料」の割合が59.5%となっています。

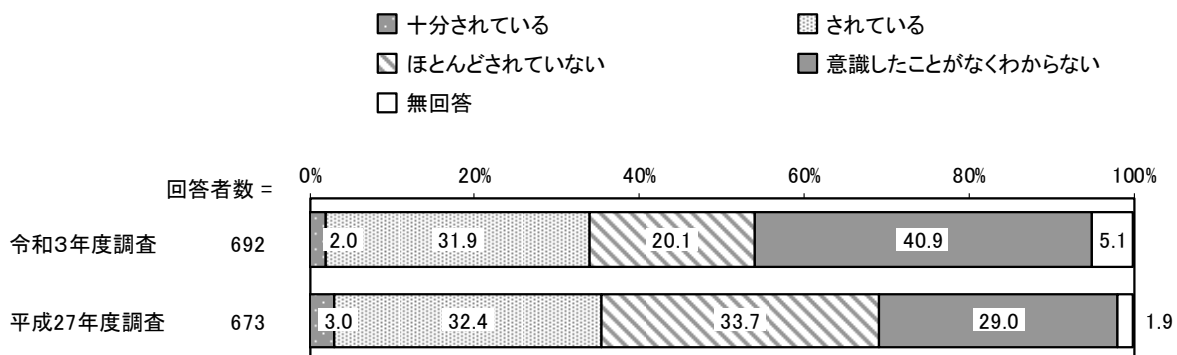
平成27年度調査と比較すると、「原材料」の割合が増加しています。



問 25 市内店舗における健康に役立つ食生活や栄養表示などの情報提供について、どのよう感じていますか。(○は1つ)

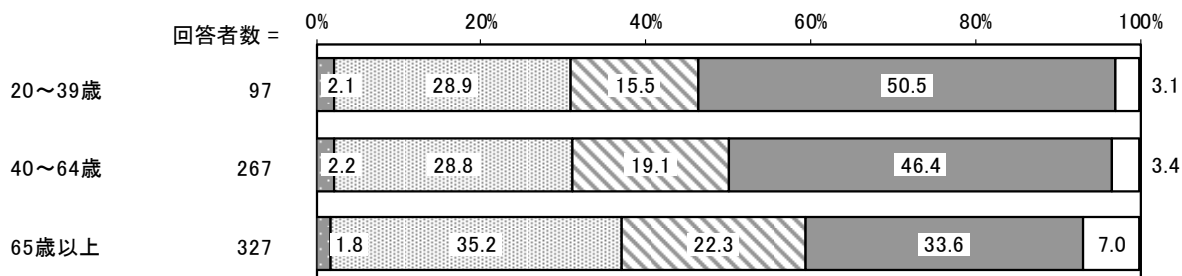
「意識したことがなくわからない」の割合が40.9%と最も高く、次いで「されている」の割合が31.9%、「ほとんどされていない」の割合が20.1%となっています。

平成27年度調査と比較すると、「意識したことがなくわからない」の割合が増加しています。



【年齢別（3区分）】

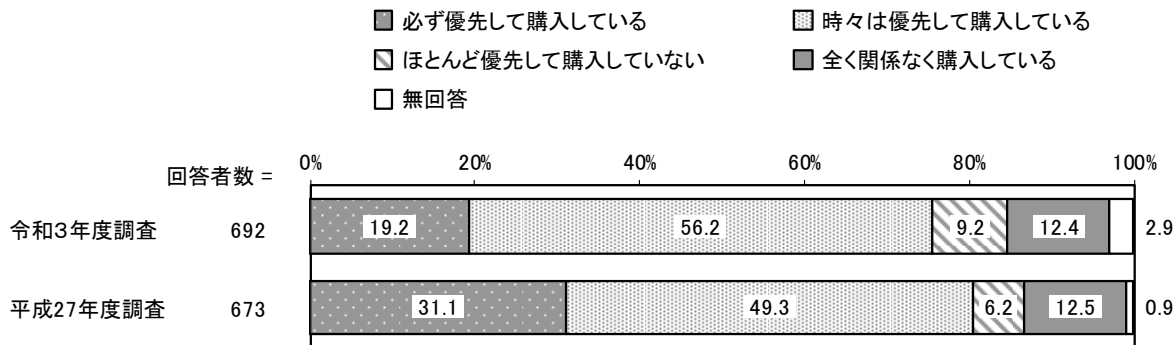
年齢別（3区分）で見ると、他に比べ、20～39歳で「意識したことがなくわからない」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「されている」の割合が高くなっています。



問 26 旬のものや、国産品、地元（兵庫県内）で生産された食材を優先して購入していますか。（○は1つ）

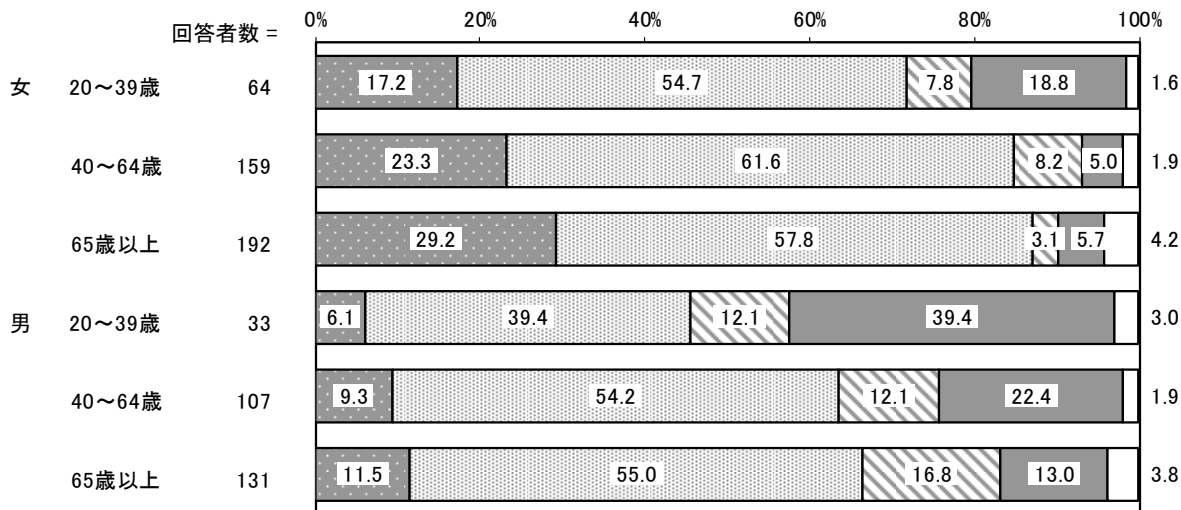
「必ず優先して購入している」と「時々は優先して購入している」を合わせた“優先して購入している”の割合が75.4%、「ほとんど優先して購入していない」と「全く関係なく購入している」を合わせた“優先して購入していない”の割合が21.6%となっています。

平成27年度調査と比較すると、“購入している”の割合が減少しています。



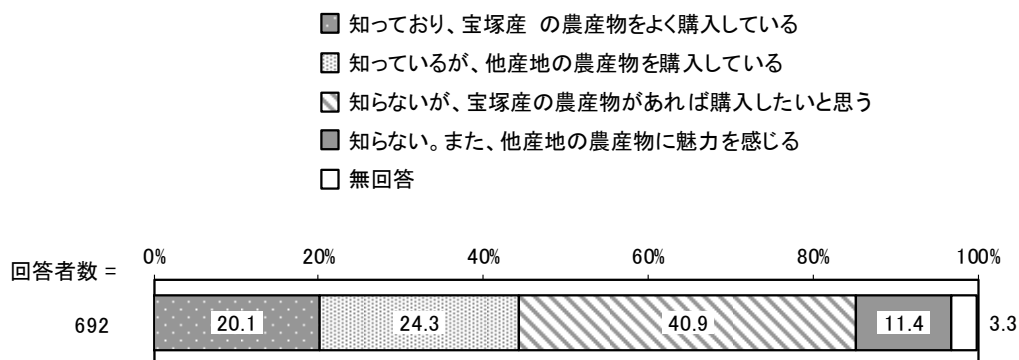
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の65歳以上で“優先して購入している”の割合が高くなっています。また、男性の20～39歳で“優先して購入していない”の割合が高くなっています。



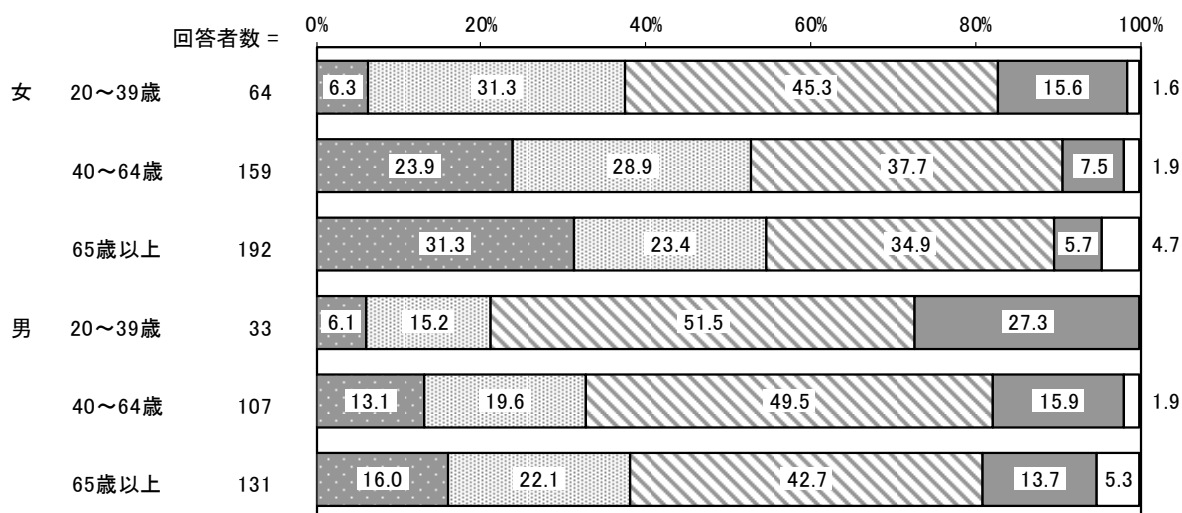
問 27 あなたは、身近で宝塚産の農産物を購入できるお店を知っていますか。
(〇は1つ)

「知らないが、宝塚産の農産物があれば購入したいと思う」の割合が40.9%と最も高く、次いで「知っているが、他産地の農産物を購入している」の割合が24.3%、「知っており、宝塚産の農産物をよく購入している」の割合が20.1%となっています。



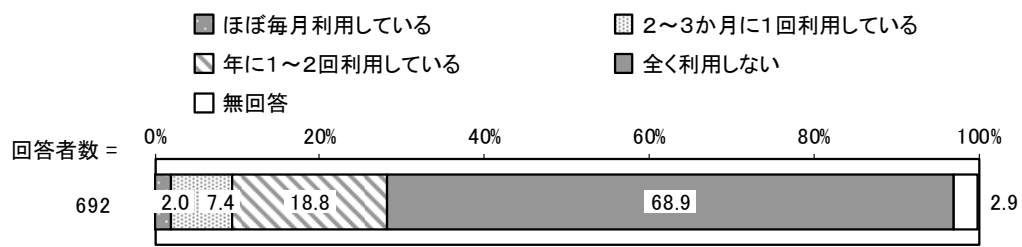
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の65歳以上で「知っており、宝塚産の農産物をよく購入している」の割合が高くなっています。また、男性の20～39歳で「知らない。また、他産地の農産物に魅力を感じる」の割合が高くなっています。



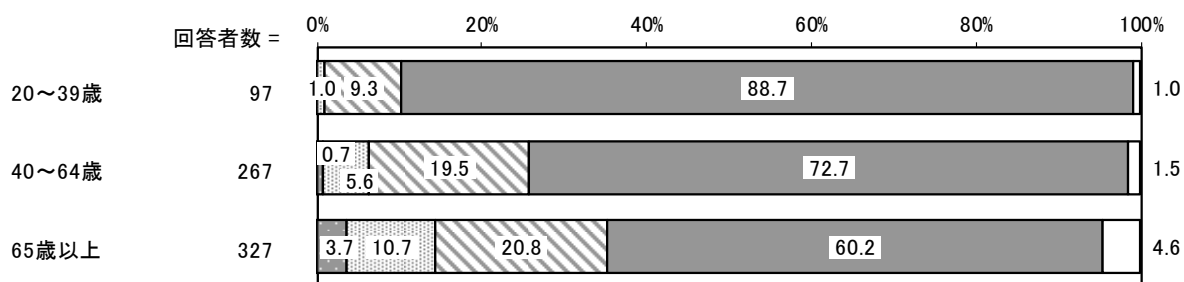
問 28 1年間で農業振興施設「農産物直売所西谷夢市場」をどれくらいの頻度で利用していますか。(○は1つ)

「全く利用しない」の割合が68.9%と最も高く、次いで「年に1～2回利用している」の割合が18.8%となっています。



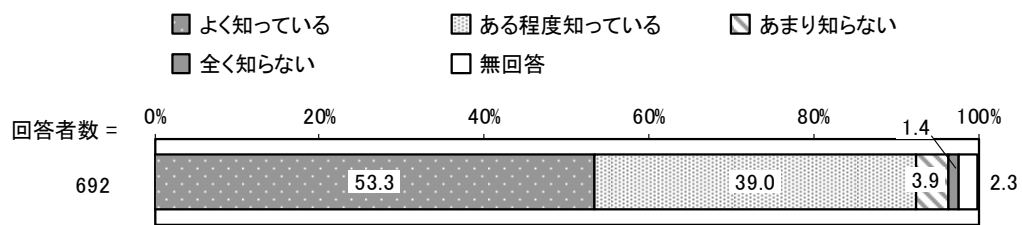
【年齢別（3区分）】

年齢別（3区分）で見ると、他に比べ、20～39歳で「全く利用しない」の割合が高くなっています。また、65歳以上で「2～3か月に1回利用している」の割合が高くなっています。



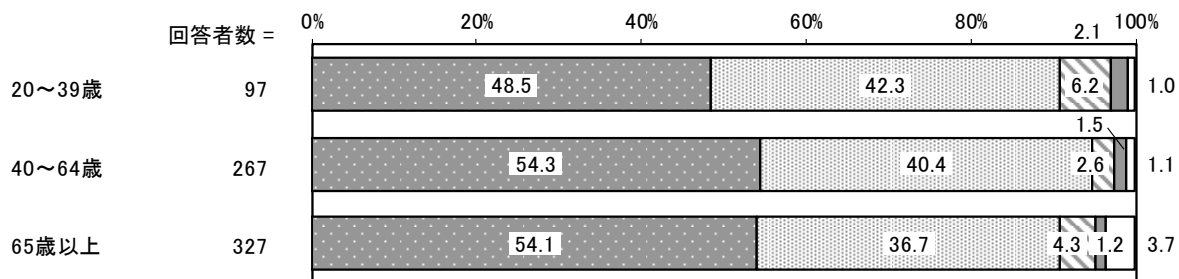
問 29 あなたは、「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。
(○は1つ)

「よく知っている」と「ある程度知っている」を合わせた“知っている”の割合が92.3%、「あまり知らない」と「全く知らない」を合わせた“知らない”の割合が5.3%となっています。



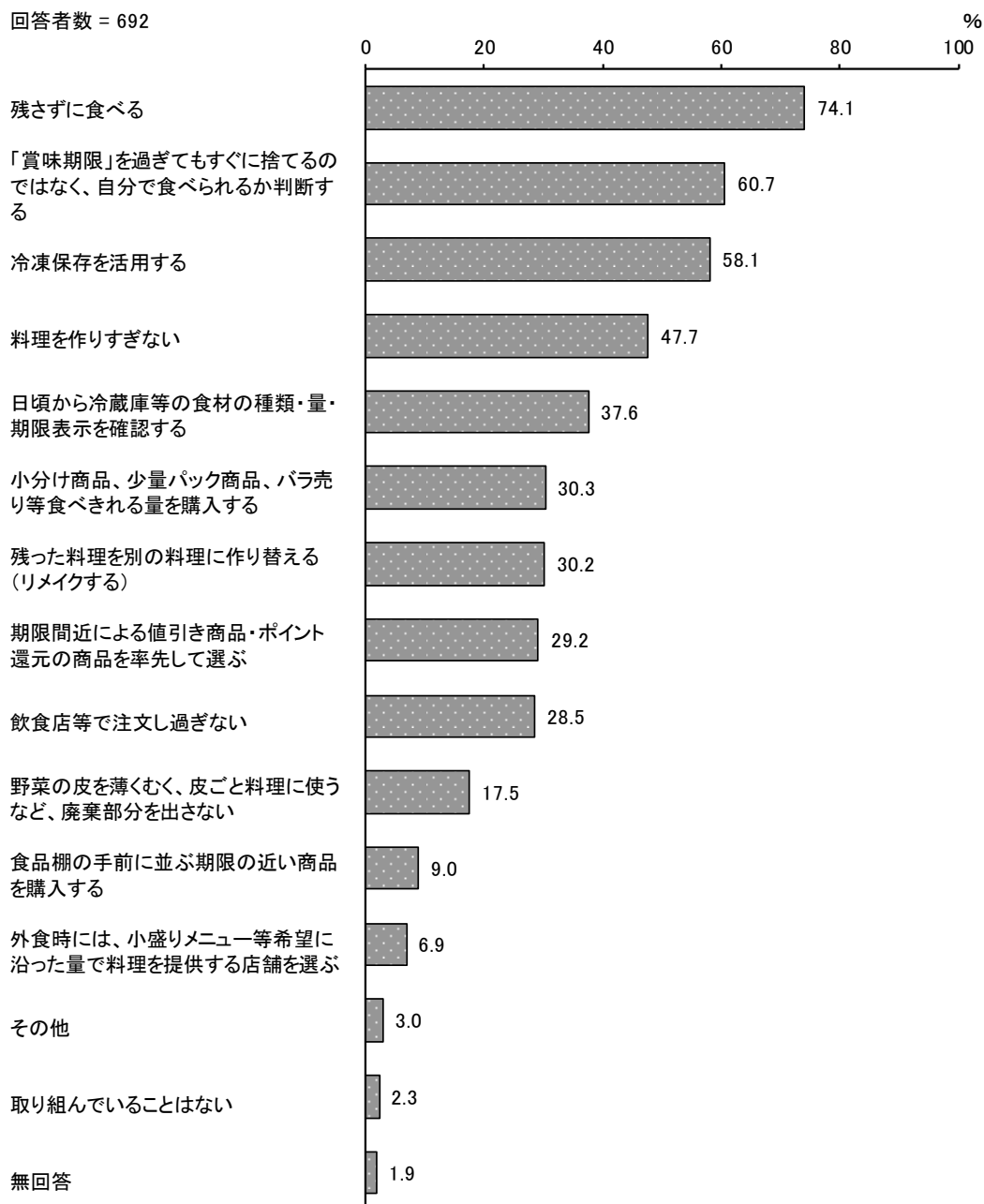
【年齢別（3区分）】

年齢別でみると、大きな差異はみられません。



問 30 あなたは、「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○をつけてください)

「残さずに食べる」の割合が74.1%と最も高く、次いで「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する」の割合が60.7%、「冷凍保存を活用する」の割合が58.1%となっています。



【年齢別（3区分）】

年齢別で見ると、他に比べ、40～64歳で「残さずに食べる」「飲食店等で注文し過ぎない」の割合が高くなっています。

単位：%

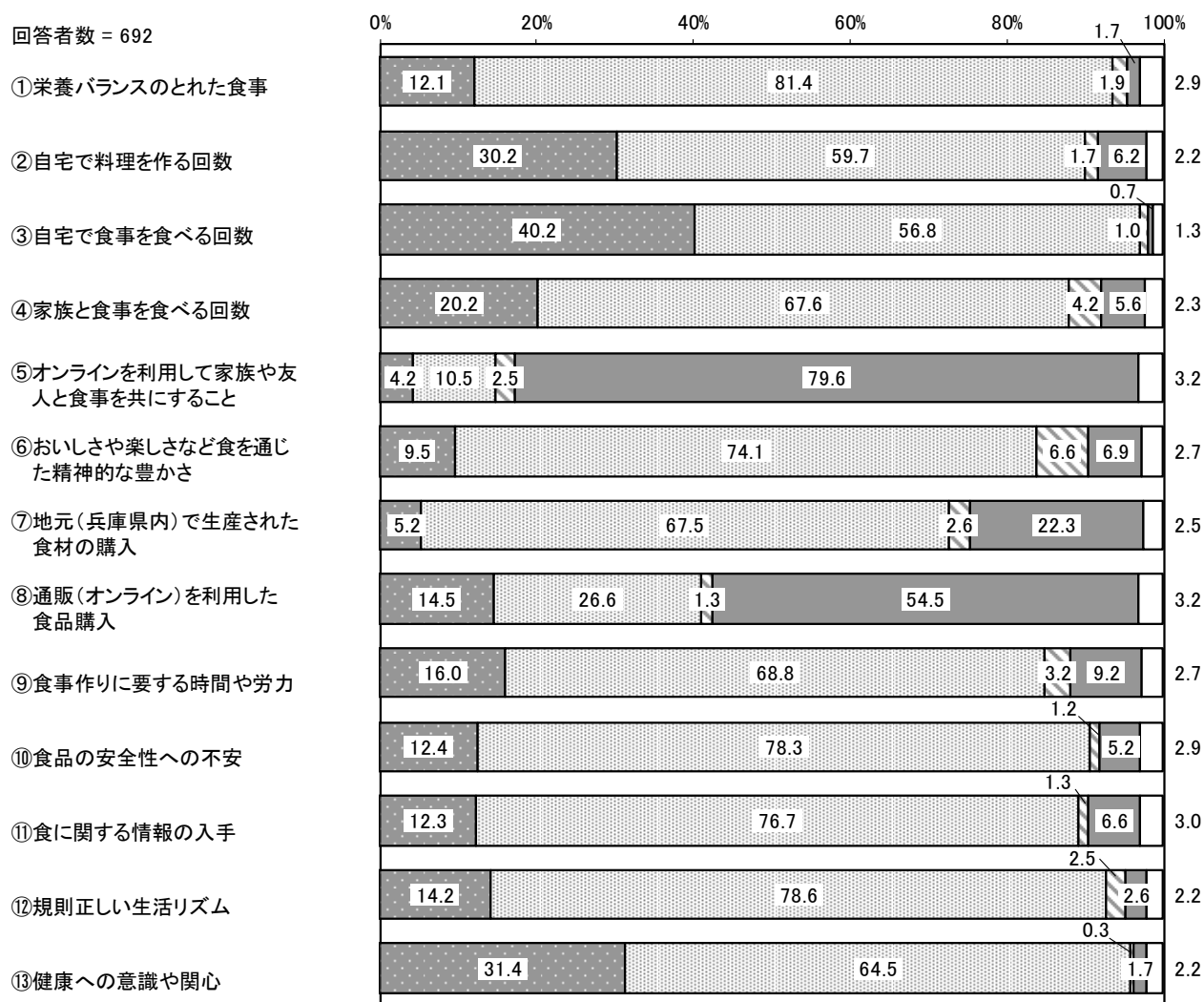
区分	回答者数（件）	残さずに食べる	「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	冷凍保存を活用する	料理を作りすぎない	日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示を確認する	小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べられる量を購入する	残った料理を別の料理に作り替える（リメイクする）	期限間近による値引き商品・ポイント還元の商品を率先して選ぶ	飲食店等で注文し過ぎない	野菜の皮を薄くむく、皮ごと料理に使うなど、廃棄部分を出さない	食品棚の手前に並ぶ期限の近い商品を購入する	外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	その他	取り組んでいることはない	無回答
20～39歳	97	72.2	49.5	56.7	39.2	25.8	20.6	34.0	26.8	23.7	9.3	11.3	5.2	1.0	4.1	1.0
40～64歳	267	79.8	61.4	59.6	47.6	40.4	30.0	32.6	31.5	34.1	19.9	10.9	6.4	3.4	2.2	1.1
65歳以上	327	70.0	63.3	57.2	50.5	38.5	33.3	27.2	28.1	25.4	17.7	6.7	8.0	3.4	1.8	2.8

問 31 あなたご自身の現在の食生活等は、新型コロナウイルス感染症の拡大前に比べて変わりましたか。下記の各質問についてお答えください。
 (①～⑬の質問ごとに、それぞれ○を1つけてください)

他に比べ、『③自宅で食事を食べる回数で「高まった 広がった 増えた」』の割合が高くなっています。また、『⑤オンラインを利用して家族や友人と食事を共にすること』で「もともとない」の割合が高くなっています。

■ 高まった 広がった 増えた □ 変わらない
 ▨ 下がった 狭まった 減った ■ もともとない
 □ 無回答

回答者数 = 692



宝塚市
第3次たからづか食育推進計画策定のためのアンケート調査
調査結果報告書

発行日：令和4年（2022年）2月

発行：宝塚市

編集：健康推進課

〒665-0827

宝塚市小浜4丁目4番1号

TEL 0797-86-0056（代表）
